

2022(令和4年度)

松本市 教育要覧



「おかいこさんとわたし」

松本市教育委員会

松本市子どもの権利に関する条例（平成25年3月制定）

前文

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

まつもと し こ けんり かん じょうれい

松本市子どもの権利に関する条例

松本市子どもの権利に関する条例を守ろう。★

松本市は、子どもの健やかな成長を支えるために、松本市子どもの権利に関する条例を定めて、子どもの権利を守って、いく事を決めました。

★ 4つの大事な権利

- ① 主体的に成長する権利
自分が大切だし感じながら、自分の力で成長する権利。
- ② 安心して生きる権利
いじめなども受けずに、安心して生きる権利。
- ③ 自分らしく生きる権利
自分の考えが受け止められ、自分らしく生きる権利。
- ④ 社会に参加する権利
遊びや学びを通して仲間をつくり、必要な情報を得て、社会に参加する権利。

松本市が目指すすべての子どもに
やさしいまち

- ① どの子どもいのちと健康が守られ、社会の一員として成長できるまち
- ② どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、安心して生きることができるまち
- ③ どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化の中で、のびのびと育つまち。
- ④ どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動するまち
- ⑤ どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- ⑥ どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても、再挑戦できるまち

・条例があると、子どもはどうなるの？

- ・社会に参加できる。自立しやすい
- ・安心して生きられる
- ・困ったとき相談しやすい
- ・自分らしく生きられる

このポスターは、まつもと子ども未来委員会が、条例をたくさんの人に知ってもらいたいという思いをこめてつくりました。



▲まつもと子ども未来委員会

★まつもと子ども未来委員会とは…

- ・子どもたちの意見を大切にするための委員会です。子どもたちが、まちの問題を学び、話し合いをすることで、松本のまちづくりを自分から考えています。





問い合わせ：松本市 こども育成課 (Tel: 0263-34-3291) ~子どもたちに笑顔を 子どもたちから笑顔を そして子どもたちと笑顔に~



松本市市民憲章

昭和52年10月24日 議決
昭和53年やまびこ国体と市制施行
70周年を記念して制定しました

松本市は、北アルプスの山なみと城の風姿に象徴される美しいまちです。
私たちは、このふるさとに誇りをもち、幸せで豊かなまちづくりをめざして、つぎの三つの願いを貫きます。

- 1 松本市民は、おたがいの連帯感をつよめ、自由と自治を尊重しましょう。
- 1 松本市民は、人間性をつちかう教育を重んじ、文化をたいせつにしましょう。
- 1 松本市民は、自然を愛し、まちの緑とすんだ川を守りましょう。

.....

都 市 宣 言

安全都市宣言	昭和37年3月29日宣言
公明選挙都市宣言	昭和38年3月 7日宣言
心身障害者福祉都市宣言	昭和49年6月28日宣言
部落解放都市宣言	昭和51年9月28日宣言
音楽とスポーツ都市宣言	昭和60年9月26日宣言
平和都市宣言	昭和61年9月25日宣言
暴力追放都市宣言	昭和63年2月24日宣言
<献血・献眼・献腎>	平成 9年3月13日宣言
三献運動推進都市宣言	
健康寿命延伸都市宣言	平成25年3月14日宣言

姉 妹 都 市

アメリカ合衆国ユタ州ソルトレークシティ	昭和33年11月提携
神奈川県藤沢市	昭和36年 7月提携
兵庫県姫路市	昭和41年11月提携
岐阜県高山市	昭和46年11月提携
ネパール連邦民主共和国カトマンズ市	平成 元年11月提携
スイス連邦ベルン州グリンデルワルト村	昭和47年 4月提携 (旧安曇村)
	平成17年 5月姉妹都市交流継続に合意

友 好 都 市

中華人民共和国河北省廊坊市	平成 7年 3月提携
---------------	------------

姉妹館 (国宝旧開智学校)

愛媛県西予市開明学校	昭和62年10月提携
静岡県松崎町旧岩科学校	平成17年11月提携

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は国定公園美ヶ原高原につづく地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた「和名類聚抄（わみょうるいじょうしょう）」には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進めてきましたが、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積

位 置	東経 137° 58' 19"	北緯 36° 14' 17"
面 積	978.47 km ²	
広 さ	東西 52.2 km	南北 41.3 km
標 高	592.21m	

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	
平成18年	919.35	91,041	228,422	112,112	116,310	248	平成17年4月四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成19年	919.35	91,574	228,322	112,118	116,204	248	
平成20年	919.35	92,319	228,220	112,015	116,205	248	
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	平成22年3月波田町との合併による
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	中核市に移行する
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	

資料：DX推進本部

目 次

松本市の概要

第1編 松本市の教育

I 教育委員会

- 1 教育長・教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 教育委員会実施状況（令和3年度）・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 総合教育会議の実施状況（令和3年度）・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 4 教育委員会組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 5 教育委員会職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

II 教育の基本計画

- 1 子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本の実現・・・・・・・・ 13
- 2 松本市教育大綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価・・・・・・・・ 17
- 4 学都松本推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 5 令和4年度 教育委員会各課概要及び重点目標の内容・・・・・・・・ 20

III 教育財政

- 1 教育関係予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第2編 子どもの教育の充実（学校教育）

I 学校教育の充実

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 2 重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 3 市立学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 4 学校教職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
- 5 学校基本調査児童・生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
- 6 特色ある学校行事と宿泊をともなう学年行事・・・・・・・・ 46
- 7 各校の研究テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- 8 中学校卒業者の進路状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
- 9 学校保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
- 10 学校施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56

II 学校給食と食育の推進（学校給食）

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- 2 重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- 3 学校給食の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
- 4 施設設備の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
- 5 栄養摂取基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
- 6 学校給食センター再整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

第3編 生涯学習の推進（社会教育）

I 生涯学習の推進（社会教育）

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
- 2 重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
- 3 事業の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
- 4 社会教育施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

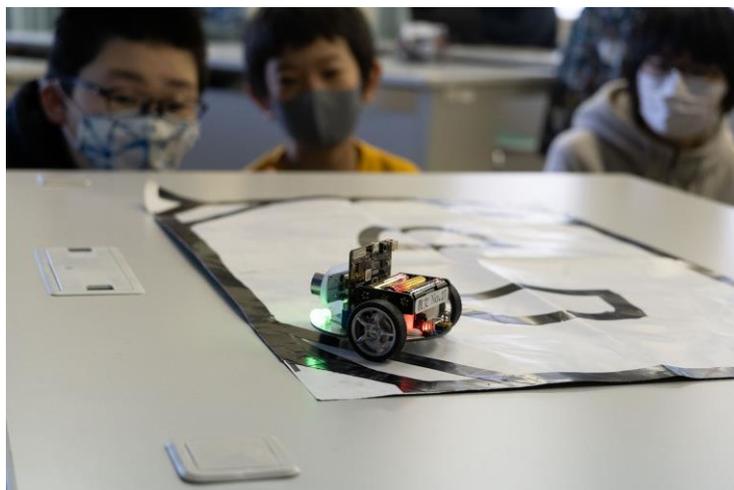
II 公民館の学びを通じた地域づくり

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 2 重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 3 公民館事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 4 公民館施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
- 5 利用状況並びに活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96

Ⅲ 図書館運営の充実	
1 概要	1 0 0
2 沿革	1 0 0
3 重点施策	1 0 0
4 事業の内容	1 0 2
5 施設の概要	1 0 5
6 松本市図書館利用状況	1 0 8
7 団体貸出等利用状況（中央図書館）	1 1 2
第4編 歴史・文化資産の保護と活用（文化財、博物館、松本城）	
Ⅰ 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進	
1 概要	1 1 5
2 沿革	1 1 5
3 重点施策	1 1 5
4 令和3年度の事業内容	1 1 6
5 松本市内の指定・登録等文化財	1 2 2
Ⅱ 博物館事業の推進	
1 概要	1 2 3
2 沿革	1 2 3
3 重点施策	1 2 5
4 事業の内容	1 2 5
5 令和3年度の活動状況	1 2 6
6 松本市立博物館（本館）	1 2 6
7 松本市立博物館（分館）	1 2 8
8 施設利用案内	1 3 5
9 施設観覧者数等	1 3 6
Ⅲ 松本城の保存・整備と活用	
1 概要	1 3 7
2 沿革	1 3 7
3 重点施策	1 3 8
4 事業の内容	1 3 8
5 指定	1 4 2
6 観覧料	1 4 2
7 観覧状況等	1 4 3
資料編	
Ⅰ 教育委員会関係委員名簿	1 4 7
Ⅱ 指定・登録等文化財一覧	1 5 8
Ⅲ ホームページ・SNS	1 6 7
Ⅳ 定期刊行物	1 7 0

第1編

松本市の教育



ICTクラブのプログラミング教室
(教育文化センター)



学都松本フォーラム2022
講演会「活断層が作った松本の生活の場」

I 教育委員会

1 教育長・教育委員

(1) 教育長



伊佐治 裕子
就任 令和3年4月1日
任期 令和6年3月31日（1期目）

(2) 教育委員



教育長職務代理者
小柳 廣幸
就任 令和3年4月1日
任期 令和7年3月31日（1期目）



委員
橋本 要人
就任 平成30年12月26日
任期 令和4年12月25日（1期目）



委員
佐藤 佳子
就任 令和2年12月25日
任期 令和6年12月24日（1期目）



委員
春原 啓子
就任 令和3年12月26日
任期 令和7年12月25日（1期目）

2 教育委員会実施状況（令和3年度）

(1) 教育委員会の開催

- ア 定例教育委員会 毎月1回開催
- イ 臨時教育委員会 不定期開催 10回

(2) 地区の皆さんと語る会等の開催

- ア 地区の皆さんと語る会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- イ 関係団体との懇談会
 - 子どもの権利擁護委員との意見交換会 9月24日
 - スクールソーシャルワーカーとの意見交換会 12月16日
 - 市PTA連合会との意見交換会 中止

(3) 教育委員会の開催経過

第1回定例教育委員会

令和3年4月22日 教育委員室

[議案]

第1号 「新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した学校運営ガイドライン」の改訂について

第2号 松本市博物館協議会委員の委嘱について

[報告] 9 [周知事項] 2

第2回定例教育委員会

令和3年5月20日 教育委員室

[議案] 0

[報告] 7

第3回定例教育委員会

令和3年6月24日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市文化芸術推進基本計画の策定に伴う計画案に対する教育委員会の意見について

第2号 長野県教育委員会と松本市教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

第3号 松本市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

第4号 松本市図書館協議会委員の任命について

[報告] 6

第4回定例教育委員会

令和3年7月29日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市いじめ問題対策調査委員の委嘱について

第2号 松本市公民館運営審議会委員及び松本市Mウイング文化センター運営委員会委員の委嘱について

[報告] 4 [周知事項] 1

第5回定例教育委員会

令和3年8月30日 教育委員室

第1号 松本市指定文化財の指定に係る諮問について【非公開】

第2号 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市立小中学校における対応について

[報告] 2 [周知事項] 1

第6回定例教育委員会

令和3年9月24日 教育委員室

[議案]

第1号 松本市教育文化センター運営委員会委員の委嘱について

第2号 松本市立小・中学校、幼稚園職員服務規程の一部改正について

第3号 松本市登録文化財の登録について

[報告] 1

第7回定例教育委員会

令和3年10月28日 教育委員室

[議案]

- 第1号 松本城公園の活用許可基準について
- 第2号 令和4年松本市成人式の開催について
- 第3号 まつもと子どもの権利ウィーク期間における子どもの博物館入館料の無料化について
- 第4号 令和3年松本市議会9月定例会及び決算特別委員会の結果について
- 第5号 松本市社会教育委員の活動報告について
- 第6号 史跡松本城に適した浚渫工法の選定について【非公開】
- 第7号 指導上の措置について【非公開】

[報告] 2

第8回定例教育委員会

令和3年11月18日 教育委員室

[議案]

- 第1号 「新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した学校運営ガイドライン」の改訂について
- 第2号 松本市指定文化財の指定に係る諮問について
- 第3号 国宝旧開智学校校舎保存活用計画(案)について
- 第4号 教育財産の取得の申出について

[報告] 4

第9回定例教育委員会

令和3年12月23日 教育委員室

[議案]

- 第1号 教育文化センターの再整備事業について
- 第2号 令和3年度松本市公民館活動推進功勞者について
- 第3号 史跡小笠原氏城跡保存活用計画の策定について
- 第4号 松本市指定文化財の指定について

[報告] 9

第10回定例教育委員会

令和4年1月27日 教育委員室

[議案]

- 第1号 教育に係る信州大学全学教育機構と松本市教育委員会との連携協力に関する覚書の締結について
- 第2号 令和4年度市立小中学校の授業日数について
- 第3号 第3次松本市教育振興基本計画の策定について
- 第4号 松本市美術館条例の一部を改正する条例の制定に伴う条例案及び松本市美術館条例施行規則の一部を改正する規則の制定に伴う規則案に対する教育委員会の意見について【非公開】

[報告] 2 [周知事項] 2

第11回定例教育委員会

令和4年2月24日 教育委員室

[議案]

- 第1号 松本市公民館条例の一部改正について
- 第2号 史跡小笠原氏城跡保存活用計画の策定について

[報告] 3

第12回定例教育委員会

令和4年3月24日 教育委員室

[議案]

- 第1号 松本市立小中学校小規模特認校への通学支援実施要綱の制定について
- 第2号 松本市教育委員会事務点検評価委員会の設置について
- 第3号 松本市教育次長及び教育監事務分担等規則の制定について
- 第4号 史跡松本城整備基本計画策定委員会の設置について
- 第5号 松本市教育委員会組織規則の一部改正について
- 第6号 松本市教育委員会職員の職及び職種名に関する規則の一部改正について
- 第7号 松本市教育委員会事務委任、専決、代

- 決規則の一部改正について
- 第 8 号 松本市教育委員会職員の職の兼務に関する規程の一部改正について
- 第 9 号 松本市立小学校及び中学校の通学区域外就学に関する事務取扱要綱の一部改正について
- 第 10 号 まつもと文化遺産保存活用協議会設置要綱の一部改正について
- 第 11 号 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会設置要綱の一部改正について
- 第 12 号 松本市博物館資料等取得に関する取扱要綱の一部改正について
- 第 13 号 松本市立小・中学校職員自家用車の公務使用取扱要綱の一部改正について
- 第 14 号 松本市立小学校、中学校条例施行規則の一部改正について
- 第 15 号 松本市学校給食実施規則の一部改正について
- 第 16 号 松本市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について
- 第 17 号 松本市公民館運営審議会規則の一部改正について
- 第 18 号 松本市成人式について【非公開】
- 第 19 号 地区公民館長の任命について【非公開】
- 第 20 号 松本市指定文化財の指定について

[報告] 7 [周知事項] 1

第 1 回臨時教育委員会

令和 4 月 1 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 教育長職務代理者の指名について

第 2 回臨時教育委員会

令和 3 年 4 月 12 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 第 2 回臨時松本市教育委員会の書面表決について

- 第 2 号 令和 3 年松本市成人式の中止について

第 3 回臨時教育委員会

令和 3 年 8 月 19 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

第 4 回臨時教育委員会

令和 3 年 8 月 24 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 新型コロナウイルス感染拡大に伴う市立小中学校及び放課後児童健全育成事業等における対応について【非公開】

第 5 回臨時教育委員会

令和 3 年 9 月 8 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 新型コロナウイルス感染拡大に伴う市立小中学校における対応について

第 6 回臨時教育委員会

令和 3 年 11 月 29 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 令和 4 年成人式の新型コロナウイルス感染防止対策の強化について

第 7 回臨時教育委員会

令和 3 年 12 月 16 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 安曇小中学校への小規模特認校制度の導入について

[報告] 1

第 8 回臨時教育委員会

令和 4 年 1 月 25 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 第 8 回臨時松本市教育委員会の書面表決
について
- 第 2 号 長野県のまん延防止等重点措置適用に
伴う市立小中学校における対応
について
- 第 3 号 長野県のまん延防止等重点措置適用に
伴う教育委員会所管の社会教育施設に
おける対応について

第 9 回臨時教育委員会

令和 4 年 2 月 1 8 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 第 9 回臨時松本市教育委員会の書面表決
について
- 第 2 号 長野県のまん延防止等重点措置期間延
長に伴う市立小中学校における対応
について
- 第 3 号 長野県のまん延防止等重点措置期間延
長に伴う教育委員会所管の社会教育
施設における対応について

第 1 0 回臨時教育委員会

令和 4 年 3 月 3 1 日 教育委員室

[議案]

- 第 1 号 第 1 0 回臨時松本市教育委員会の書面表
決について
- 第 2 号 松本市教育委員会の所管に係る松本市
公共施設案内・予約システムの利用等
に関する規則の一部改正について

3 総合教育会議の実施状況（令和3年度）

(1) 趣旨

改正地方教育行政法（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」）の施行により、平成27年度から市長が主宰する会議を行うものです。

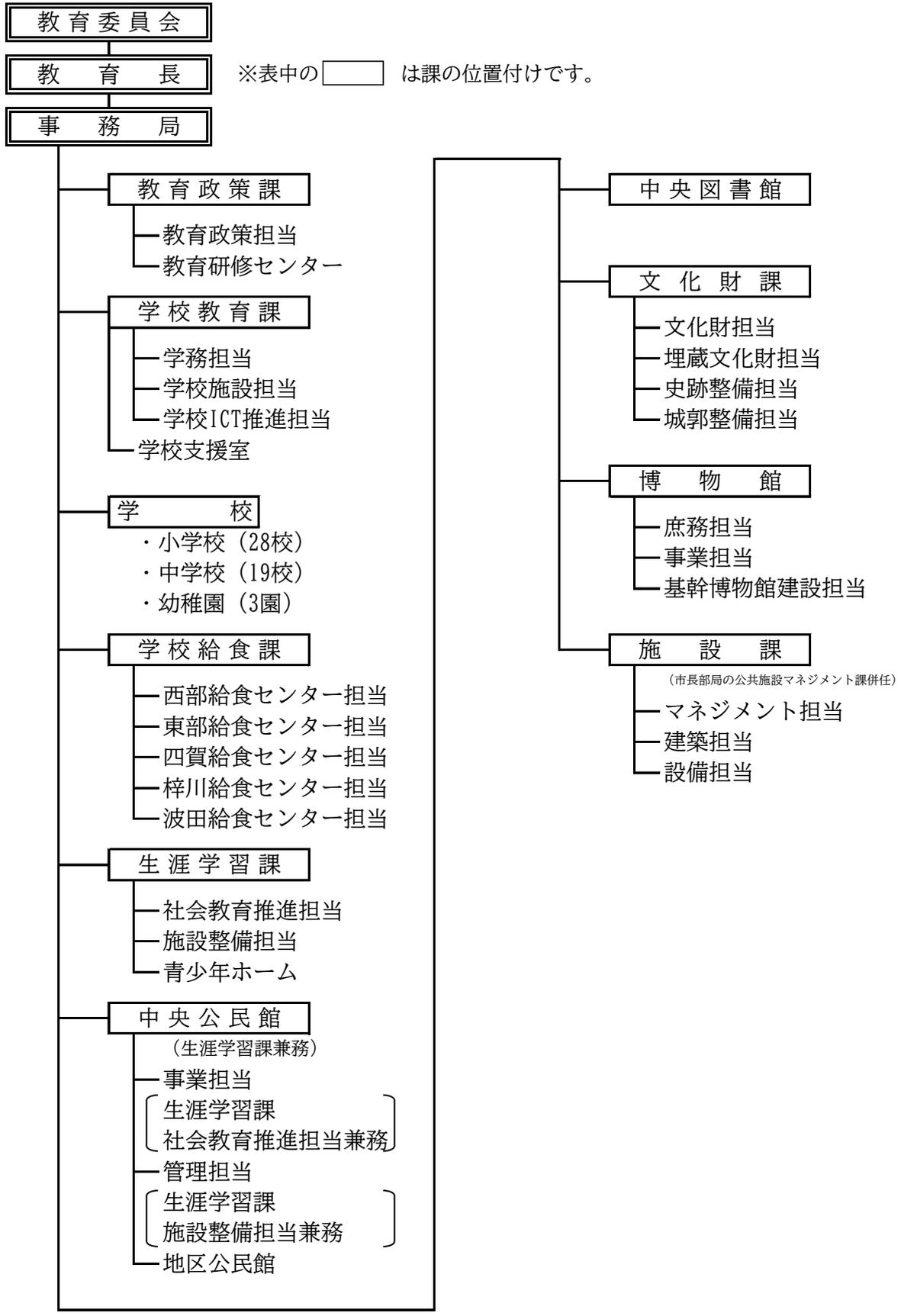
(2) 実施状況

日 程	懇 談 内 容
5月27日(木)	「松本市教育大綱について」
7月12日(月)	「松本市教育大綱の骨子について」
2月14日(月)	「松本市教育大綱（案）について」



子どもが
主人公
学都まつもとの
シンカ

4 教育委員会組織図 (R4.4.1)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育研修センター 教育文化センター	〔 視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
教育支援室 美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 四賀学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

5 教育委員会職員数 (R4. 5. 1 現在)

() 内は市長部局との併任

区 分	教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考	
教 育 長	1									1		
教 育 次 長	1 (1)									1 (1)	()内 総務部長	
教 育 監	1									1		
事 務 局	教育政策課		2		3	4		2		6	17	
	学校教育課		2	3	1			11	1	4	22	
	学校支援室		(1)	1		5				49	55	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事 ()内は教育監事務取扱
	学校給食課		1	4	4	6	14	3	32	118	182	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	4	1	2	1	6		12	27	課長は中央公民館 長兼務
	文化財課		3	3	2	3		12		17	40	会計年度任用職員 3名は研究専門員
	施設課		(1)	(3)	(1)	(2)		(3)	(10)	(2)	(22)	()内 公共施設 マネジメント課
	小 計	3 (1)	9 (2)	15 (3)	11 (1)	20 (2)	15 0	34 (3)	33 (10)	206 (2)	346 (24)	
教 育 機 関	小 学 校						1		9	64	74	職名栄養士、調理 員は技術系
	中 学 校					1	2		3	35	41	小中統合校は全て小 学校に含む
	幼 稚 園			1		4	2	4	3	12	26	幼稚園教諭は事務 系に含む
	中央公民館				2			33		37	72	会計年度任用職員 35名は地区公民館 長
	中央図書館		1	1	2	4		8		46	62	会計年度任用職員 10名は分館長
	博 物 館		2	2	3	2		13		19	41	会計年度任用職員8 名は分館長 係長1名は生涯学習 課係長兼務
	小 計		3	4	7	11	5	58	15	213	316	
合 計	3 (1)	12 (2)	19 (3)	18 (1)	31 (2)	20 0	92 (3)	48 (10)	419 (2)	662 (24)		

派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合				1			1	2	
合 計				1			1	2	

Ⅱ 教育の基本計画

1 子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本の実現

(1) 第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現

ア 計画策定の趣旨

令和4年度に、教育委員会としてのめざすべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

この計画は、各分野の方針ごと【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、この【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 計画の位置づけ

地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に新たに教育大綱を定めました。

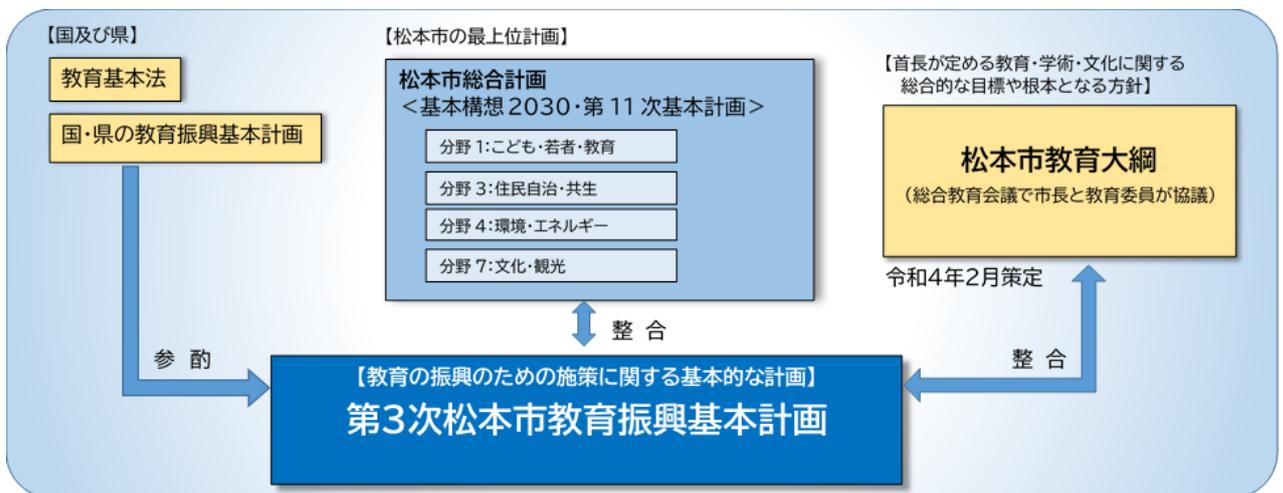
第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、市民アンケート等を基に、市長が定めた教育大綱と整合を図り、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。

ウ 策定経過

策定に当たっては学校教育関係者、社会教育関係者など13名で構成する松本市教育振興基本計画策定委員会を設置して協議を行いました。

日付	会議等	内容
R2. 10. 30 ～11. 30	教育に関するアンケート実施	策定の基礎資料として、児童生徒、保護者、教職員、一般を対象に実施
12. 24	第1回庁内調整会議幹事会	第2次計画の評価・検証、第3次計画の策定方法について協議
R3. 2. 22	第1回策定委員会	アンケート結果報告、第3次計画の策定方法について協議
3. 18	教育委員研究会	アンケート結果報告
29	第2回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
4. 28	第3回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
5. 6	教育委員研究会	教育大綱及び第3次計画の策定について協議
20	第2回定例教育委員会	アンケート結果報告
6. 17	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
21	第4回策定委員会	教育大綱策定に係る市長との意見交換
28	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
7. 21	第5回策定委員会	大綱と計画との整合性、計画の柱について協議

9. 1	第 6 回策定委員会	第 3 次計画の体系図の構成を協議
10. 7	第 7 回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
11. 5	第 8 回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
12. 23	第 9 回定例教育委員会	計画策定の進捗状況を報告
R4. 1. 17	第 9 回策定委員会	方針ごとの「現状と課題」、「施策の方向性」、「主要事業」を協議
27	第 10 回定例教育委員会	計画案を協議
2. 1	庁議	計画案を協議
3. 10	市議会経済文教委員協議会	計画案を協議
3. 11 ~4. 10	パブリックコメント 実施	提出意見 79 件
3. 23	第 10 回策定委員会	市議会意見・パブリックコメント意見を報告、対応案を協議
5. 12	教育委員研究会	計画策定の進捗状況を報告
18	第 2 回定例教育委員会	計画案を協議
30	庁議	計画策定（パブリックコメント結果）を報告
6. 17	市議会経済文教委員協議会	計画策定（パブリックコメント結果）を報告



- (2) 第 3 次松本市教育振興基本計画の基本的理念 ～子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本～
 生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。
 自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。
 すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。
 すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。
 松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。
大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 第3次計画の特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしています。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。

他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。

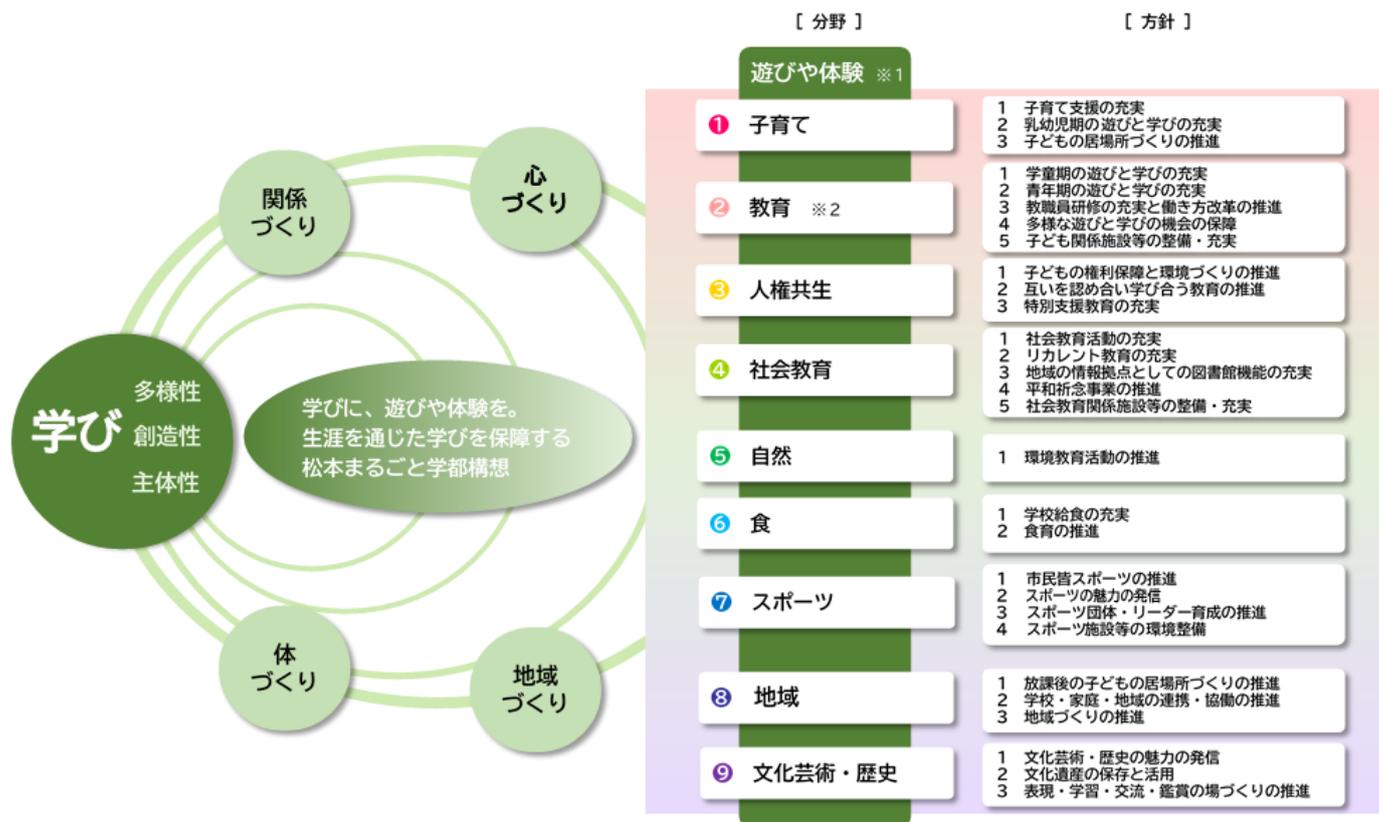
【遊びとは】

「遊び」という言葉には、さまざまな思いが込められています。
山や川、畑や田んぼなど、雄大な自然に囲まれながら遊ぶこと。
鬼ごっこや運動など、ルールを決めて体を動かして遊ぶこと。
おもちゃやゲームなど、道具を使いながら工夫して遊ぶこと。
ワクワクした気持ちで好きなことに向き合い、心を満たすこと。
「遊びどころ」を持って、日々を生きること。

第3次計画の重視する支店の「遊び」には、行政が従来の考え方に捉われることなく、柔軟に対応していくことへの期待も込められています。



(4) 第3次計画の体系図



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に令和3年度第3回松本市総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、市長が松本市教育大綱を策定しました。

(1) 教育大綱と教育振興基本計画の関係

松本市はこれまで、教育振興基本計画の中の目標や施策の根本となる方針の部分教育大綱に位置付けることもできることから、市長が、総合教育委員会において教育委員会と協議、調整し、教育振興基本計画を教育大綱に位置付けていました。

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、市民アンケート等を基に、市長が定めた教育大綱と整合を図り、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。

(2) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(3) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えています。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えています。

松本市は、

「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価に当たっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで、教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価にあたっては令和3年度までは松本市社会教育委員の職務としてきましたが、より専門的な知見で点検評価を実施するため、令和4年度から新たに松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務とすることとしました。

4 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、学都松本推進協議会等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。

学都松本フォーラムの開催や「学びの9月」事業の充実など、あらゆる機会を捉えての「学都松本」の市民周知を通して、生涯にわたっての市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 実施経過

ア 学都松本フォーラム

学都松本推進事業のメイン事業として実施

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2 (日)	第1回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学都松本をめざして (2)実施形態 学都松本フォーラム実行委員会、 予算：350千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、 展示(13)、催事(9)など (4)参加者 1,730人
H25.9.7 (土) 9.8 (日)	第2回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学びでつながる わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2)実施形態 学都松本フォーラム実行委員会→ 学都松本推進協議会(6月から名称変更) 予算：780千円

			(3)内容 基調講演・パネルディスカッション、 展示(12)、催事(18)、同時開催イベント(子ども プレイパーク、サタデーコンサートなど) (4)参加者 1,180人
H26.9.6(土) 9.7(日)	第3回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館など	(1)テーマ 日々の学びへの気づき (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1,020千円 (3)内容 全体会(委員長講話、松商放送部発表、トー クセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、 展示・催事(19)、同時開催イベント(子どもプレイ パーク、サタデーコンサート、サロンあがたの森な ど) (4)参加者 1,943人
H27.9.5(土) 9.6(日)	第4回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館、音楽 文化ホー ル	(1)テーマ “ひとり”から“みんな”の学びへ (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1,450千円 (3)内容 基調講演会:池上彰氏「学び続ける力、伝え る力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学 びのブース(7)、同時開催イベント(子どもプレイパ ーク、サタデーコンサート、秋の気分爽快ウォーク) (4)参加者 2,703人
H28.9.3(土) 9.4(日)	第5回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい! ～ふくらむ つながる ひろがる～ (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1,320千円 (3)内容 基調講演会:高橋源一郎氏(100年後の1 4歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催 事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント(子 どもプレイパーク、サタデーコンサート、秋の気分 爽快ウォーク) (4)参加者 2,577人
H29.9.2(土) 9.3(日)	第6回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館など	(1)年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1,270千円 (3)内容 基調講演会:天達 武史氏(天気の人達が語 る学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由)、 分科会(4)、催事展示(21)、同時開催イベント(子 どもプレイパーク、サタデーコンサート) (4)参加者 2,041人
H30.9.22(土) 9.23(日)	第7回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)年間活動テーマ 「学ぶ」って おもしろい! (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1,320千円 (3)内容 基調講演会:柳田 理科雄氏(考えることは

			楽しい、だから科学はおもしろい)、催事展示 (22)、同時開催イベント (子どもプレイパーク、松本ノーマイカーデー) (4)参加者 1, 036人
R元9.21(土) 9.22(日)	第8回学 都松本フ ォーラム	Mウイン グ・中央 体育館	(1)年間活動テーマ どこにでも学びはある。 (2)実施形態及び予算 学都松本推進協議会(主管)、予 算:1, 230千円 (3)内容 基調講演会:今泉 忠明氏(愛すべき“ざん ねんないきもの”と進化)、催事展示(18)、同時開 催イベント(子どもプレイパーク、第1回博物館ま つり、第1回具だくさんみそ汁コンテスト) (4)参加者 1, 042人
R2.9.19(土) 9.20(日)	第9回学 都松本フ ォーラム	あがたの 森文化会 館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中 止。「学都松本・教育100年を語る会」を3回開催(オ ンライン、動画配信によるもの)
R4.2.12(土), 2.13(日) 2.19(土) 2.20(日)	学都松本 フォーラ ム 2022	勤労者福 祉センタ ー・オン ライン開 催	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大 人誰でも参加できるミニ講演会を開催。

イ 学都松本・教育100年を語る会

年月日	種別	会場	内容
H30.5.27(日)	第1回	あがたの森 2-8(ク ラフトフェア)	①100年前の子どもたちのクラフト ②100年前の先生のことば「最近の若者は元気が 無い!」 話題提供:旧開智学校 遠藤学芸員
H30.7.28(土)	第2回	博物館講堂(お城太 鼓まつり)	「小学校はなにを学ぶところ?」 ~旧開智学校校舎の資料から~ 話題提供:旧開智学校 遠藤学芸員
H30.9.23(日)	第3回	中央公民館(学都松 本フォーラム)	「楽しい学校ってどんなところ?」 話題提供:学校指導課 下平指導主事
H30.11.24(土)	第4回	あがたの森 1-5	「ぼくらは開智国民学校一年生」~戦時下の 奉安殿と教育勅語~ 講師:生涯学習実践者 手塚 英男さん
H31.1.26(土)	第5回	第三地区公民館大会 議室	「教科書で語る戦後」私論 講師:元教育委員長 斉藤 金司さん
H31.3.23(土)	第6回	勤労者福祉センター 2-1	「歴史認識と外交」 講師:学都松本推進協議会長 鈴岡 潤一さん
R元.5.25(土)	第7回	中央図書館3階視聴 覚室	「松本の図書館の今までと今とこれから」~ 図書館のあるまち。だから大好き~ 話題提供:生涯学習実践者 手塚 英男さん

R元.7.27(土)	第8回	勤労者福祉センター2-2会議室	「弘法山古墳～前方後方墳がここにある意味～」 話題提供：文化財課 直井 雅尚さん
R元.9.22(日)	第9回	中央公民館(学都松本フォーラム)	「学都松本・すべての子どもに教育を」～不易なる旧開智学校の理念が脈々と～ 話題提供：赤羽 郁夫前教育長 対談：旧開智学校 遠藤学芸員
R元.11.23(土)	第10回	教育文化センター視聴覚ホール	映画「沖縄スパイ戦史」から学ぶ
R2.1.25(土)	第11回	第三地区公民館大会議室	「オリンピックと戦争」 話題提供：学都松本推進協議会会長 鈴岡 潤一さん
R2.3.28(土)	第12回	勤労者福祉センター	「平和を学ぶ」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
R2.9.19(土)	第13回	あがたの森文化会館講堂 ホール	「日本の教育の現状と課題」 講師：東京大学大学院教育学研究科教授 本田 由紀さん
R2.11.28(土)	第14回	あがたの森文化会館2-8会議室	「ドイツでドイツ人と接して考えたこと」 講師：才能教育研究会業務執行理事 黒河内 健さん
R3.1.30(土)	第15回	あがたの森文化会館講堂 第1会議室	「松本高等学校が地域にもたらしたものは？」 話題提供：松本市立博物館学芸員 本間 花梨さん

5 令和4年度 教育委員会各課概要及び重点目標の内容

(1) 教育政策課

ア 概要

教育行政の総合的な企画・調整を行い、各課との連携を図ります。コロナ禍によって大きく世の中が変容する中、これからの時代を生きるために必要な力は何かなど、社会の変化に対応したこれからの教育のあり方を見定め、「学都松本」のシンカのために、近隣市町村、長野県との連携や、広く市民と協働しながら事務事業を実施し、その成果を広く発信していきます。

イ 重点目標の内容

(ア) 第3次教育振興基本計画に基づく事業推進及び進捗確認

これからの市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次教育振興基本計画を策定します。策定後、今後5年間、計画に位置付ける「施策の方向性」に沿って事業を推進するとともに、教育委員会の事務事業の点検評価と併せ、計画に基づく事業の進捗状況を確認します。

(イ) 情報発信力の強化

教育委員会の透明性を高めるとともに、市民が教育行政の取組みに関心を持ち、理解を深めてもらえるよう、情報をわかりやすく発信します。

(ウ) 人口定常化につなげる教育施策の推進

「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、「すべての子どもにやさしいまち」を目指す取組みを通じて、人口の定常化につなげます。

(エ) 学都松本寺子屋事業の推進

地域の多様な人が関わり、子どもに豊かな学びの機会を提供することにより、子どもたちの学習習慣の定着や、学習意欲・学力・自己肯定感等の向上を図ります。

(オ) 教職員研修の充実

中核市への移行に伴い、市独自の研修計画を策定し、教職員研修を充実させるとともに、地域で子どもたちの勉強・育ちにかかわる学習支援者（寺子屋先生等）等の地域人材を養成し、研修を行うことで、子どもの学びを支えます。

(カ) 教育研修センターの立ち上げ

令和3年4月に「中核市」に移行し、市として目指す教育の姿等をふまえた独自の教員研修を実施できることになりました。これを受け、松本市の教育に係る研修全般を計画・運営する組織として、この4月に「教育研修センター」を設置しました。「松本市教育大綱」に示される「多様性・創造性・主体性を育む学び」を実現する教員を支える研修のあり方を探りつつ、今後の教員研修の指針となる「松本市教員研修計画」を策定するとともに、現場の教育課題に即した研修を企画・実施します。

(キ) 教育文化センター再整備事業

当初、科学館として再整備することとしていた方針を変更し、人材育成拠点とすることに主眼を置き、最先端の知識や情報を活用して探究を続ける力を身につける施設とします。具体的には、「教職員や地域の大人たちが知見や技術を身につけ子どもたちに還元する学び」や「子どもたちの興味関心を高め、わくわくしながら体験をする学び」を実現するため、その事業内容や仕組みづくり、必要となる備品等施設のリノベーションについて検討します。

(ク) 小規模特認校制度

恵まれた自然環境や、少人数の特性を生かした特色ある教育のもとで学校生活を送りたいという就学希望が増えていることから、従来の通学区域は残したままで、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学することができる特認校制度を令和4年4月から安曇小中学校に導入し、小規模特認校に指定しています。

(2) 学校教育課

ア 概要

児童生徒がより良い環境の中で学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設の長寿命化対策を計画的に進めるとともに、設備の改修、校用・教材備品の購入、情報化の推進や整備を図り、学校環境の充実を進めます。

また、就学援助事業など子どもの就学全般にわたる事務事業を進めるとともに、学校における教職員の働き方改革を推進します。

めざす子ども像「たくましく未来を拓く心豊かな松本の子」に向け、「絆の深化」、「学びの進化」を目指して、学校・教職員、児童生徒への支援に取り組みます。

イ 重点目標の内容

(7) 小中学校施設整備事業

教育環境の改善を図る長寿命化改良事業、利便性の向上や汚臭防止及び施設のバリアフリー化の観点から行う学校トイレ整備事業、肢体不自由学級設置（拠点校化）に伴うエレベーター設置等の障害児等施設整備事業などを計画的に進めます。

(イ) 学校教育情報化推進事業

国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、令和3年度から運用を開始した児童生徒の1人1台端末の整備及び運用に取り組むとともに、ICT環境の整備やICT支援員の配置により教育の情報化やICT活用能力の向上に取り組むものです。

(ウ) 要保護・準要保護児童生徒への就学援助制度事業

経済的理由により就学が困難な児童生徒が、等しく教育を受けられるよう、教育費の一部を援助します。

(エ) 学校における働き方改革の推進

教員が児童生徒への指導や教材研究に注力できるよう学校の授業以外の業務をサポートする教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置について取り組みます。

(オ) いじめ防止対策、不登校・引きこもり児童生徒への支援の促進

a 教職員及び児童生徒の人権感覚の醸成、いじめ（SNS、スマホトラブルを含む。）や体罰のない学校づくりを進めます

b 不登校・引きこもり等の児童生徒に対する支援を進めます。

(カ) 学力・体力向上事業

a ICT等を活用しながら、新学習指導要領全面実施における「主体的・対話的で深い学び」の実現を意識した授業づくりにおける教職員の悩みや相談について助言、支援を継続的に行います。

b 地域や関係団体と中学校の部活動改革について検討し、地域でのスポーツ活動として取り組める環境の整備を進めます。

(キ) 特別支援教育推進事業（インクルーシブ教育推進事業）

a 特別支援学校や特別支援学級で学ぶ多様な児童生徒のニーズに応じていくために、学校現場と共に考えながら、特別支援学校から小中学校特別支援学級へ、また特別支援学級から通常学級への学びの場の見直しを柔軟に進めます。

b 特別支援教育推進協議会の提言を受け、教育、福祉、医療等の各機関が連携し、子どもや保護者を支える（仮）総合支援センターの設置に向け、こども部と検討を進めます。

c インクルーシブ教育の推進と特別支援教育の充実、関係機関の連携・協働を通じて、子どもの育ちと学びを切れ目なく支援します。

(3) 学校給食課

ア 概要

学校給食法に基づき、健康な体をつくるために大切な「食」について考える機会を設ける等、正しい食習慣が身につくように給食を通した食育に取り組みます。また、地産地消や季節を大切に食材の使用を進め、より安全で安心な給食の提供を目指します。

また、老朽化した施設・設備については早急に解消できるよう、再整備に向けた取り組みを進めます。

イ 重点目標の内容

(7) 食育の推進

「食に関する指導の全体計画」(毎年度改定)に沿って、計画的な食育に取り組みます。

子どもの痩身や肥満、すべての世代で生活習慣病の増加傾向が見られ、望ましい食習慣を実践していくための支援が必要となっており、児童生徒、その保護者を対象に、バランスのとれた食事を通して、生活習慣病の予防や改善に結びつける取組みを推進します。

(イ) 地産地消の推進

地産地消に取り組み、安全安心な食材を使用します。

地産地消の取組みにより、梱包資材や流通コストの削減、環境へ配慮したゼロカーボンシティの取組みを推進します。

(ウ) アレルギー対応食提供事業

「食物アレルギー対応マニュアル」(令和3年度末改訂)及び「アレルギー対応食提供事業実施要綱」に沿ってアレルギー対応食を提供するとともに、アレルギーに対する理解を深める情報を発信し、対応食解除についての取組みを進めます。

(エ) 安全・安心な学校給食の提供

a 衛生管理、危機管理を徹底し、ノロウイルス等の食中毒や異物混入等の事故を防止します。

b 労働災害を防止するため、事故事例の活用等により職場点検の強化に努めます。(令和2年度11件、令和3年度7件)

(オ) 学校給食センターの再整備事業

波田(昭和46年開設)及び梓川(昭和63年同)学校給食センターは老朽化が著しく建替えの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から20年が経過し、大規模修繕が必要となっています。そのため、学校給食センター全体の再整備の方法について方針を決定し、基本計画を策定します。

(4) 生涯学習課・中央公民館

ア 概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。

地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

イ 重点目標の内容

(7) DXを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業

ウィズ・コロナ、アフターコロナを見据え、DXを活用し、いつでも誰でも学ぶことができる学習機会をさらに充実させ、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティづくりを推進します。

また、デジタル社会ですべての人が活躍し続けるため、ICT活用支援やメディアリテラシー教育の取組みを検討します。

(イ) 松本版コミュニティスクール事業

地域、保護者、学校などが子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働しながら子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進します。

(ウ) 若者の居場所づくりと社会参画事業

若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、ひきこもりの若者支援を含め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会で生きていく力を培うことを支援します。

また、若者が成長し、社会で活躍できるきっかけ作りとして、積極的にまちづくりに取り組む場の提供など、若者の多様な社会参画を関係機関と連携し、推進します。

(エ) 公民館等長寿命化事業

個別施設計画に基づく中間補修及び大規模改修等により、公民館等の長寿命化を図ります。当面は、設備機器（照明・トイレ）の更新をメインとする中間補修を行うこととし、施設の機能維持・回復に努めます。

(オ) 重要文化財旧制松本高等学校校舎耐震事業

平成28年度に策定した保存活用計画等を基に、平成30年度から6カ年の予定で耐震補強工事を実施します。

(5) 中央図書館

ア 概要

図書館は、市民にとって単に本を借りるという場所だけでなく、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心を支え、多種多様な情報や学習機会を提供する生涯学習の拠点施設です。

社会の変化や市民ニーズを踏まえ、地域が抱える様々な課題の解決や暮らしに役立つ資料・情報の収集に努めるとともに、新しいつながりや交流の拠点となるべく、図書館自らが積極的に情報発信、提供を行い、市民の生涯を通じた学びを支える地域の情報拠点としての図書館を目指します。

平成31年2月に策定した第2次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが自由に読書を楽しみ、未来を拓く豊かな心と生きる力を育むための読書環境の整備と読書活動の推進に積極的に取り組みます。

イ 重点目標の内容

(ア) 松本市図書館未来プランの策定

図書館は、これまでに地域課題の解決や市民生活に役立つ資料や情報の収集に努め、市民に期待され、利用される図書館を目指してきました。しかし、市民の図書館利用者カードの登録率や市民一人当たりの資料貸出数は減少傾向にあり、市民の8割は図書館を利用していないという現状があります。

そこで、図書館の現状と課題を改めて洗い出し、目指すべき将来像やその実現を図るための具体的な取り組みと方向性を定め、新たな市民ニーズや社会の要請をふまえた図書館サービスの充実を図るため、「図書館未来プラン」を策定するものです。

(イ) 中央図書館の大規模改修

中央図書館は平成3年の開館から30年が経過し、機械設備等の老朽化、書庫の狭隘化、開架書架の耐震強化、慢性的な駐車場の不足等のハード面での課題が生じています。また、

市民からは明るく開放的で複数の機能と融合した施設を望む声が多く寄せられています。居場所・交流・勉強・趣味など市民ニーズに対応し、利用者の視点に立ったゾーニングを行い、多様な空間の確保に努めることが必要です。安全安心で快適な環境の整備、市民の利便性の向上のための大規模改修を行う時期を迎えています。

(ウ) 電子図書館の導入とICTの利活用

コロナ禍や急速に進むICT化により、電子予約数やメールによる調査・相談が急増しました来館しなくても情報にアクセスできる図書館サービスの充実を早急に進める必要があります。

- a 様々な状況により、図書館の利用や読書が困難な人にも、「電子書籍」を用いた電子図書館サービスを提供することにより、時間や場所に制限されることなく、誰でも気軽に情報へアクセスできる環境を整備します。
- b 市民の情報拠点として、迅速かつ正確で多種多様な情報を提供できる環境の整備に努めます。

(エ) 第2次学都松本子ども読書活動推進計画の推進

令和元年度から5年計画で進める第2次学都松本子ども読書活動推進計画では、子どもが読書に親しめる環境づくりのほか、図書館が中心となって、家庭、地域、団体、学校、施設等、本市の子ども読書活動を担う人材が情報を共有し、交流を深め、協働して活動を高めていくための計画を推進しています。

(6) 文化財課

ア 概要

行政と市民が連携して文化財の保存活用を図り、次世代へ引き継いでいくため、松本文化財保存活用地域計画に位置付けた各種事業を積極的に進めるとともに、その成果を市民に分かりやすく伝える講座や学習会、SNS等による情報発信を積極的に行います。

地域の文化財の中核をなす松本城を後世に確実に守り伝えるため、歴史的遺構や史跡内建造物等に関する調査・研究と復元・整備を計画的に実施するとともに、関連する歴史的資料の収集・保存・研究を進め、その成果を周知、活用します。

歴史や文化を活かしたまちづくりを通じて、市民が地域に愛着や誇りを持ち、観光や産業といった経済振興にもつながるような、魅力ある地域づくりを目指します。

イ 重点目標の内容

(ア) 文化財の魅力を市民に周知し理解を深めるための情報発信

令和3年度から本格的に運用を開始したSNSやYouTube等を活用した情報発信を通じ、文化財の魅力や価値を幅広い世代の市民に周知します。

(イ) まつもと文化遺産活用事業

「松本市歴史文化基本構想」及び「松本市文化財保存活用地域計画」に基づき、住民が地域の文化財を主体的に保存活用する取組みを支援し、地域の活性化につなげるものです。

(ウ) 小笠原氏城館群史跡整備事業

中世に信濃守護を務めた小笠原氏の本拠として国史跡に指定された小笠原氏城跡（井川城跡・林城跡（大城・小城））の保存活用を図るものです。

(エ) 殿村遺跡史跡整備事業

殿村遺跡は、古来信仰の山である虚空蔵山と人々の関わりを示す中世の寺院遺跡と推定されることから、平成22年度から発掘調査や虚空蔵山周辺の総合調査を実施し、地域信仰の遺跡群として史跡指定を目指しています。

(オ) 史跡弘法山古墳再整備事業

3世紀末に築造された東日本最古級の古墳である史跡弘法山古墳について、規模や形状等を確認する発掘調査や周辺古墳群の調査を行い、保存活用計画を策定します。

(カ) 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

白色の温泉水がもたらした特殊な地形（特別天然記念物）を、学びながら安全に見学できるよう、令和6年度の公開に向けて観察路・安全柵・案内板などを整備します。

(キ) 国宝松本城天守耐震対策事業

平成26年～28年度に実施した天守耐震診断の結果と、令和2～3年度に実施した天守台内部地盤や石垣に関する基礎データを取得するための調査等の結果に基づき、松本城の文化財的価値を損なわない耐震補強案を検討したうえで、令和4年度中に耐震対策基本計画を策定し、国庫補助を取り込みながら令和8年度から耐震工事を行うものです。

(ク) 松本城防災設備整備事業

令和2年度から国庫補助を活用し、松本城防災設備の見直しを行うものです。

取組みにあたっては、天守耐震対策事業への影響を考慮し、令和6年度までに建造物等の防災設備の更新・新設を図ります。

(ケ) 黒門・太鼓門耐震対策事業

平成30年度に実施した松本城黒門・太鼓門耐震診断結果と、令和元年度策定の耐震対策基本計画に基づき耐震工事に着手します。なお、事業推進に当たっては、大地震動時の被害が大きい太鼓門が国庫補助対象となることから、先行して工事に着手します。黒門は、天守耐震対策工事の時期との調整となることから、太鼓門耐震工事完了後、来城者等に不都合が生じないように留意しながら事業を進めることとします。

(1) 堀浄化対策事業

歴史的な景観及び快適な環境の維持向上のため、全面的な堀浚渫と浚渫工事後の堀の維持管理に向けた基本計画に基づく工事の実施設計を行ったうえで、令和5年度から国庫補助を活用して松本城堀（内堀、外堀、総堀）の堆積物除去（浚渫）工事を実施するものです。また、日常的に堀の浄化を図るものです。

(2) 松本城南・西外堀復元事業

「松本城及びその周辺整備計画」及び「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、国庫補助を取り込みながら、幕末維新期の姿に南・西外堀の復元を行うものです。

なお、事業の実施に際しては、内環状北線整備事業と一体的に整備を行うものです。

(7) 博物館

ア 概要

博物館は、市域の歴史、民俗、産業、自然等の資料を収集保管し、市民の学習に供することにより松本市の発展に寄与することを目的とする社会教育機関です。平成12年に策

定した「松本まるごと博物館構想」の理念のもと、多くの世代が気軽に学習に利用できる環境を整えるため、新博物館の建設を進めます。また、展覧会や講座のほか多様な情報発信を通して松本について学ぶ機会を提供し、市民の皆さんとともに学びの成果を地域の発展に活かしていきます。

イ 重点目標の内容

(ア) 基幹博物館整備事業

建築工事及び展示製作を進め、それぞれ7月と11月の完成を目指します。また、建物完成後の施設管理や条例等の整備を行います。

(イ) 基幹博物館の開館準備

- a 開館記念特別展（博覧会展及び浮世絵展）の準備を進めます。
- b 外部登用を方針としているコーディネーターの人選を行います。
- c 令和5年秋の開館記念事業を計画します。

(ウ) 国宝旧開智学校校舎保存活用事業

- a 「学都」の礎である国宝旧開智学校校舎を適切に保存活用するための計画を策定するとともに、校舎の耐震対策工事、防災設備整備を行います。
- b 工事休館中は、隣接する旧司祭館のほか、地元公民館等とも連携し、旧開智学校校舎の紹介展示や耐震工事に関する情報発信を行います。

(エ) 博物館施設の管理運営のあり方

- a 分館を法体系に沿って整理し、施設の管理運営のあり方を検討します。
- b 文化財建造物系の施設に建築士を配置する仕組みづくりを検討します。

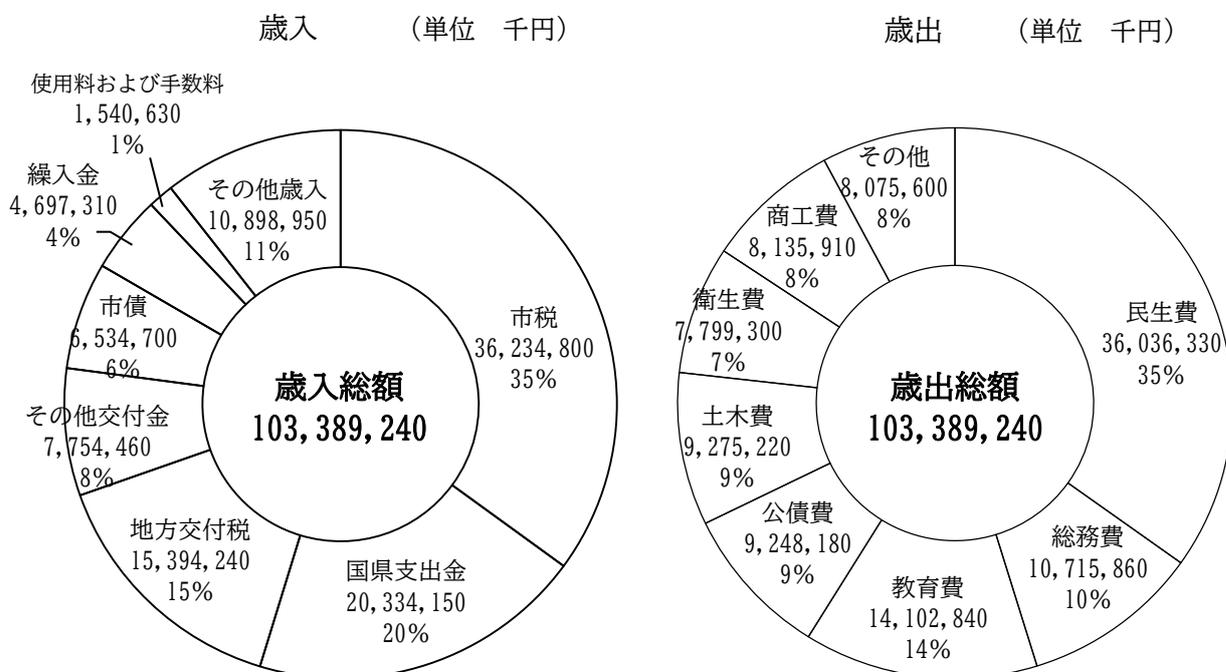
(オ) 現博物館施設の解体準備

個別施設計画に基づき、現博物館施設の解体準備を進めます。

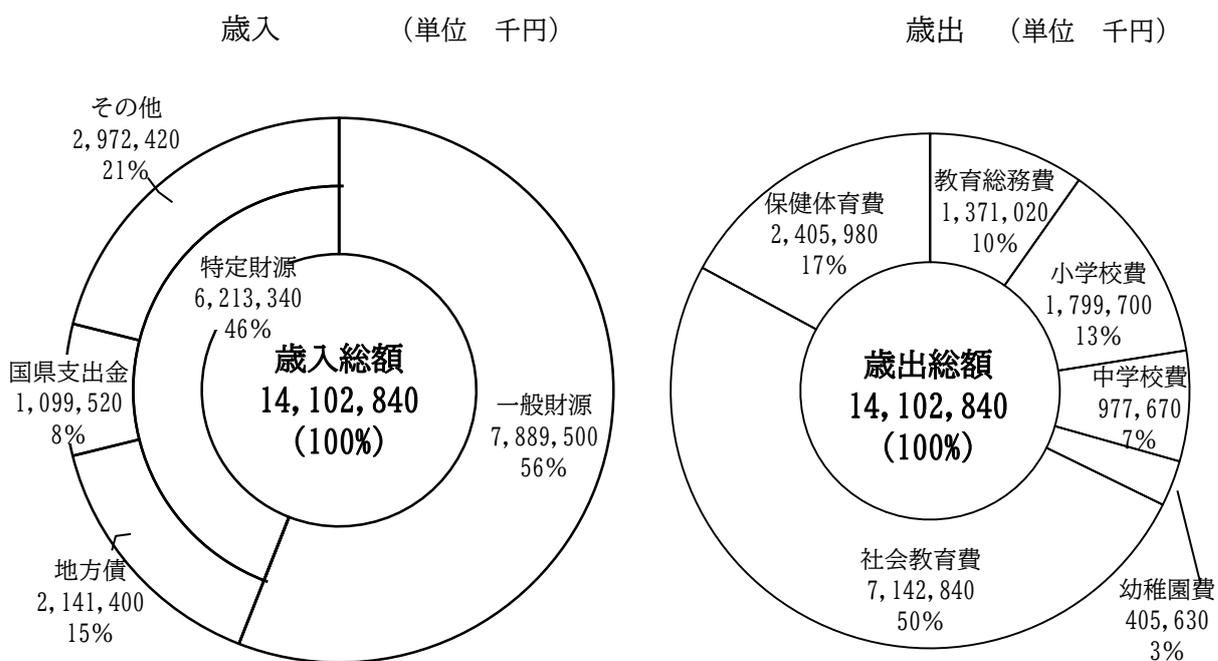
Ⅲ 教育財政

1 教育関係予算の概要（令和4年度 当初予算）

(1) 一般会計予算



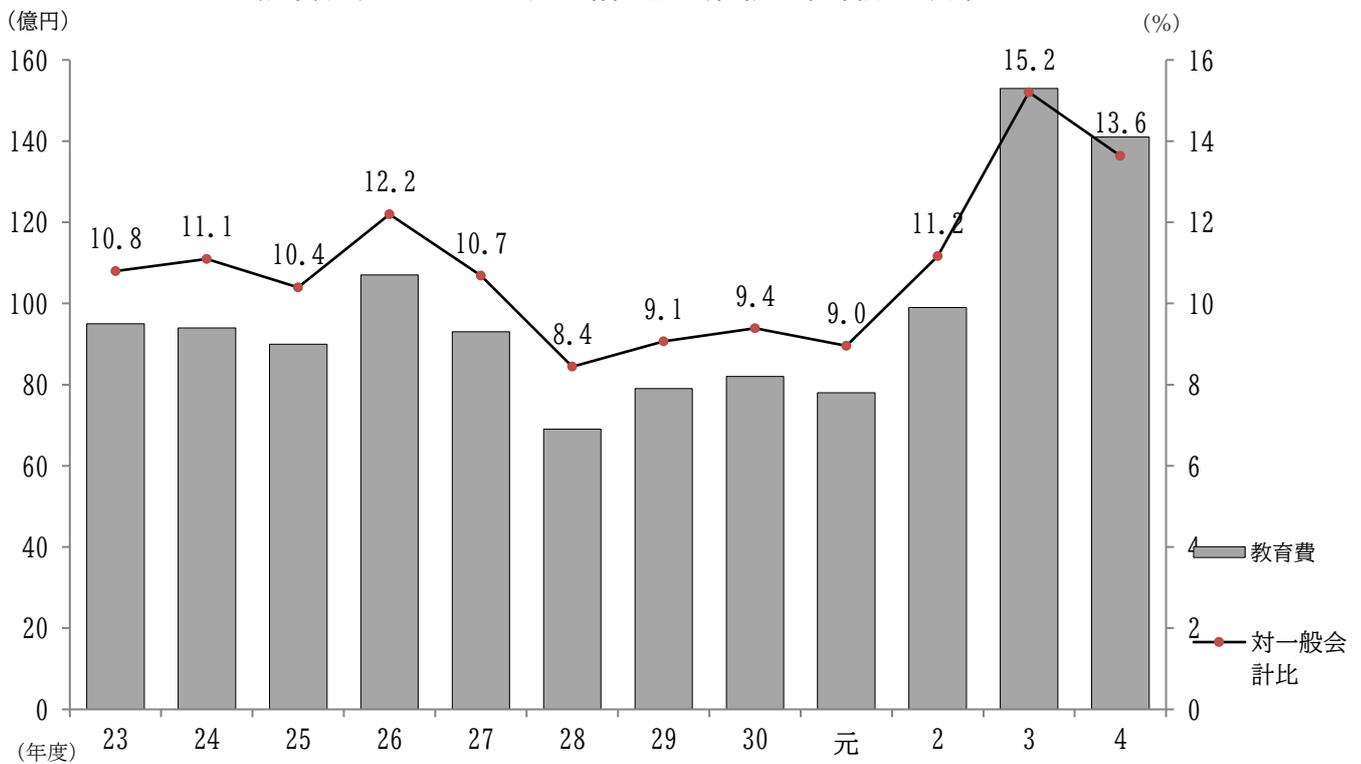
(2) 教育費関係予算



(3) 予算と決算の推移 - 歳 出 -

年度	当初予算額			最終予算額			決算額		
	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	97,123,322	12,156,467	12.5	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	92,697,320	13,156,280	14.2	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	95,215,660	14,228,414	14.9	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	94,942,519	14,058,155	14.8	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	93,518,798	9,682,558	10.4	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	93,964,202	11,203,038	11.9	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	92,736,444	9,617,426	10.4	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	90,428,310	9,994,670	11.1	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	99,049,155	13,629,129	13.8	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	131,580,486	14,508,398	11.0	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2	119,377,332	17,916,264	15.0	110,611,019	16,254,810	14.7
R4	103,389,240	14,102,840	13.6						

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(4) 令和4年度教育費項目別の予算額（令和4年5月1日）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当り	備考
	千円	%	円	
総 額	14,102,840	100		市民一人当り59,596円
教育総務	1,371,020	9.7		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 (報酬、事務局職員給与を含む)
小 学 校	1,799,700	12.8	153,926	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
中 学 校	977,670	6.9	166,809	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
幼 稚 園	405,630	2.9		幼稚園費(職員給与を含む)
社会教育	7,142,840	50.6		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、美術館費、教育文化センター費(教育機関職員 給与を含む)
保健体育	2,405,980	17.1		保健体育総務費、学校給食センター費(給食センター 職員給与を含む)

(注) 1 市人口は令和4年5月1日現在の数による。(236,640人)

2 児童生徒数は令和4年5月1日現在の数による。

小学生 11,692人

中学生 5,861人

計 17,553人

第2編



子どもの教育の充実

(学校教育)



姫路市オンライン交歓会

I 学校教育の充実

1 概要

本市の学校教育は、明治6年の開智学校の開校に端を発し、以来140余年の歴史を刻んでいます。現在幼稚園11（うち国立1、私立7）、認定こども園12（私立12）、小学校31（うち国立1、私立2）、中学校23（うち国立1、組合立1、私立2）、中等教育学校1（私立）、高等学校12（県立7、私立5）、大学5（国立1、私立2、私立短大2）、盲学校1（県立）、ろう学校1（県立）、養護学校2（県立）、その他多くの各種学校があり、学校施設及び設備の充実、教職員の資質向上等に積極的に取り組むことで、伝統ある教育尊重の気風の上に立って、個性を尊重し、人間性豊かな児童・生徒の育成を図っています。

2 重点施策

本年度の重点施策は、次のとおりです。

(1) 学校施設及び設備の充実

ア 主な工事内容

事業名	工事内容	概算事業費等（千円）
学校施設事業	並柳小防火設備更新工事 中山小地下燃料貯蔵タンク内面工事 筑摩野中グラウンド整備工事	33,680
障がい児等施設整備事業	清水小、清水中を拠点校に定め、エレベーターの設置を行うもの 清水小：エレベーター（1基）、いす式階段昇降機（1基）の設置工事	58,630
学校トイレ整備事業	工事：12校 実施設計：12校	776,890
プール整備事業	波田小循環設備改修工事	11,880

イ 長寿命化改良事業

令和2年度は、劣化状況調査を基に、事業着手の順位付けを行い、又改築計画も考慮した「松本市学校施設長寿命化計画（個別施設計画）」を策定しました。

令和4年度は、工事（2校）、実施設計（3校）、耐力度調査（1校）を行います。

事業名	概算事業費（千円）
長寿命化改良事業	712,790

ウ 学校教育情報化推進事業

GIGAスクール構想及び松本市学校教育情報化推進計画のもと、学校におけるICT環境を整備し、教育の情報化の推進を図るもの。

事業名	概算事業費（千円）	
学校教育情報化推進事業	小学校費	476,730
	中学校費	335,170
	合計	811,900

(2) 通学区の弾力化（開始年度 H13年度）（各年度5月1日）

指定校変更申請者 (人)	区 分	H30	R元	R2	R3	R4
	小 学 校	69	70	43	60	57
	中 学 校	28	32	29	28	40
	合 計	97	102	72	88	97

(3) 小規模特認校制度（令和4年5月1日現在）

小規模特認校制度申請者 (人)	区 分	R4
	小 学 校	8
	中 学 校	7
	合 計	15

(4) 令和3年度就学援助費支給状況（令和4年4月30日現在）

区 分		小学校		中学校	
		人 数	金 額	人 数	金 額
学用品費 通学用品費 校外活動費 (宿泊無)	1年	171人	2,227,034円	277人	6,838,003円
	その他	1,179人	17,801,074円	572人	15,375,514円
新入学用品費	小学校 入学予定者	21人	1,072,260円	—	—
	小1	152人	7,691,200円	—	—
	小6	240人	14,400,000円	—	—
	中1	—	—	16人	918,400円
校外活動費（宿泊有等）		261人	585,850円	105人	1,577,103円
修学旅行費		235人	6,312,586円	247人	7,276,003円
学校給食費		1,328人	68,538,325円	816人	48,286,071円
合 計			118,628,329円		80,271,094円

(5) トライやるエコスクール事業（開始年度 H11年度）

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すとともに、学校教育における環境教育の充実を図るものです。

令和4年度事業費（予算額）

区 分	事業費（千円）	1校平均事業費（千円）
小 学 校	8,890	306
中 学 校	10,070	479
合 計	18,960	

(6) 教職員研修の充実

研 修 内 容	回 数
I C T 研 修	各 学 校 1 回 以 上
初 任 者 研 修 市 教 委 研 修 会	年 2 回
性 教 育 研 修 会	年 1 回
人 権 教 育 研 究 協 議 会	年 2 回
教 科 等 指 導 員 の 委 嘱 と 派 遣	随 時

(7) 学校人権教育の推進（人権教育研究）

ブロック	ブ ロ ッ ク 推 進 委 員		
	授 業 公 開 校	ブ ロ ッ ク 推 進 委 員 長 (次 年 度 授 業 公 開 校)	ブ ロ ッ ク 推 進 副 委 員 長 (次 年 度 委 員 長)
A	菅 野 中	鎌 田 小	明 善 中
B	岡 田 小	梓 川 中	四 賀 小

(8) 教育相談の充実及び不登校児童生徒対策

ア 心身障害児の教育相談の充実

(ア) 指導体制

区 分	設 置 年 月	相 談 員
教 育 相 談 室	H 6 年 1 1 月 ~	教 育 相 談 員 5 名

(イ) 教育相談件数

年 度	R 元	R 2	R 3
件 数	3 3 8 件	3 6 5 件	3 1 9 件

イ 中間教室の充実

(ア) 設置場所

山 辺 中 間 教 室	教 育 文 化 セ ン タ ー 内	TEL 3 3 - 1 8 4 5	Fax 3 3 - 1 8 4 5
鎌 田 中 間 教 室	鎌 田 中 学 校 南 別 棟	TEL 2 9 - 1 2 7 5	Fax 2 9 - 1 2 7 6
波 田 あ か り 教 室	波 田 体 育 館	TEL 9 2 - 4 9 3 2	Fax 9 2 - 4 9 3 2

(イ) 指導体制

区 分	設 置 年 月	指 導 員
山 辺 中 間 教 室	H 4 年 4 月 ~	適 応 指 導 員 3 名
鎌 田 中 間 教 室	H 1 0 年 1 0 月 ~	適 応 指 導 員 3 名
あ か り 教 室	H 7 年 1 2 月 ~	適 応 指 導 員 3 名

(ウ) 指導の成果

区 分		R 元	R 2	R 3
在 籍 数	小 学 生	1 9 人	3 3 人	3 9 人
	中 学 生	3 9 人	2 9 人	3 3 人
学 校 復 帰 数 (部 分 登 校 ・ 重 複 登 校 含 む)	小 学 生	4 人	2 8 人	1 7 人
	中 学 生	1 5 人	1 7 人	7 人

(9) 児童生徒へのきめ細やかな支援の充実

平成29年度から、これまでの「小学校適応指導・学習指導改善教員」「中学校適応指導教員」に代え、「自立支援教員」を配置しています。

ア 小・中学校別「自立支援教員」の配置

令和4年度 配置体制 (小学校)	開智小	源池小	筑摩小	旭町小	田川小
	鎌田小	清水小	島内小	中山小	島立小
	芝沢小	菅野小	芳川小	寿小	岡田小
	山辺小	今井小	◇開明小	明善小	本郷小
	二子小	並柳小	四賀小	梓川小	波田小
令和4年度 配置体制 (中学校)	清水中	鎌田中	丸ノ内中	旭町中	松島中
	高綱中	菅野中	筑摩野中	山辺中	開成中
	女鳥羽中	明善中	◇信明中	会田中	梓川中
	波田中	鉢盛中	◇複数配置校		

イ 改変・配置の経過

年度	人数	改変内容
H14	11名	小学校心のケア支援指導員を適応指導・学習指導改善教員へ名称変更
H17	14名	四賀・安曇・奈川・梓川合併により30校に14名を配置
H18	14名	中学校にも適応指導教員を配置
H19	13名	
H20	15名	小学校30校に対して2校に1名の15名配置とする。
H22～	16名	波田地区合併により、小学校(含分室)32校に対して2校に1名の16名配置
H25	16名	四賀4校閉校と四賀小開校に伴う統合ギャップ対応のための特別措置による配置(四賀小2名)
H26～	15名	小学校(含分室)30校に対して2校に1名の15名配置
H28～	13名	小学校(含分室)30校に対して2校に1名の13名配置
H29～	30名	「自立支援教員」を小学校13名、中学校17名配置(鉢盛中含む)
R元	30名	「自立支援教員」を小学校16校に13名配置(うち3名2校兼務)、中学校16校に17名配置
R2～	39名	小学校23校に22名配置(うち3名2校兼務)、中学校17校に18名配置(うち1名2校兼務)※1名は小中兼務
R4	44名	小学校25校に26名配置、中学校17校に18名配置

ウ 学力向上推進教員の配置

学力向上 推進教員	数学(8)	清水中、丸ノ内中、高綱中、菅野中、筑摩野中、山辺中 開成中、梓川中
	理科(3)	女鳥羽中、信明中、会田中
	数学・理科(1)	明善中
	社会(1)	波田中
	英語(4)	鎌田中、旭町中、松島中、鉢盛中

エ 改編の経過 (H20年度からは鉢盛中配置分も含む)

年度	H20	H21	H22 ～	H28	H29 ～	R元	R2	R3	R4
学力向上 推進教員	17名	17名	17名	17名	17名	17名	17名	17名	17名
適応指導 推進教員	9名	10名	11名	24名					
自立支援 教員	—	—	—	—	30名	30名	39名	39名	44名

(10) 小学校35人学級編制事業(各年度5月1日)

少人数授業の実施について、国の学級編制基準を弾力化し、1学級を35人とする県の施策を導入(開始年度 平成14年度)

年度	対象学年 (年生)	通常学級数 (学級)	影響学級数 (学級)
H21	1～6	462	56
H22	1～6	483	56
H23	1～6	472	49
H24	2～6	396	47
H25	2～6	374	45
H26	2～6	365	43
H27	2～6	360	43
H28	2～6	350	32
H29	2～6	362	34
H30	2～6	354	37
R元	2～6	350	38
R2	2～6	346	37
R3	3～6	272	28
R4	4～6	203	21

* 義務教育基準法の改正により平成24年度から小学校1年生、令和3年度から小学校2年生まで、令和4年度から小学校3年生まで35人学級編制となりました。

(11) 中学校35人学級編制事業（各年度5月1日）

少人数授業の実施について、国の学級編制基準を弾力化し、1学級を35人とする県の施策を導入（開始年度 H23年度）

年度	対象学年 (年生)	通常学級数 (学級)	影響学級数 (学級)
H29	1～3	200	28
H30	1～3	194	22
R元	1～3	194	27
R2	1～3	195	25
R3	1～3	194	25
R4	1～3	194	27

(12) 特別支援教育支援員の配置

①医療的ケアが必要な児童生徒、②介護的ケア（歩行補助、トイレ介助等）が必要な児童生徒、③意思疎通が困難で安全確保が必要な児童生徒、④自閉症・情緒障害等の児童生徒への学習指導や生活指導のうち、①～③に該当する児童生徒への支援を行います。①～③の児童生徒への支援を行いながら④の児童生徒への支援も行っています。（開始年度 H19年度）

年度		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
小学校	校数	24	20	22	23	23	22	21
中学校	校数	11	7	8	8	8	9	11

大切にしてい^く学びのあり方

子どもを主人公とする学都松本では、特に大切にしていきたいと考えている
学びの視点が3つあります。

それは、**多様性**、**創造性**、**主体性** です。



3 市立学校一覧

(1) 小学校

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
開智	開智 2-4-51	明治 6 年 5 月	玉水 智香子	谷口 竜介	32-0006
源池	県 3-5-1	明治 37 年 5 月	原 修司	山 嵯 公子	32-0207
筑摩	筑摩 1-8-1	大正 7 年 5 月	熊谷 賢一	野澤 重徳	25-0090
旭町	旭 2-4-4	大正 12 年 6 月	高野 毅	馬場 英晃	32-1124
田川	渚 1-5-34	大正 14 年 4 月	木村 令子	佐藤 伸一	26-1377
鎌田	鎌田 1-8-1	昭和 8 年 4 月	宮下 明浩	高橋 康弘 眞島 紀章	25-0835
清水	清水 2-8-18	昭和 3 年 4 月	伊藤 茂	山本 崇	32-1210
島内	島内 5323	明治 19 年 4 月	今井 俊文	小岩井 浩明	47-1150
中山	中山 3517	明治 22 年 4 月	宮田 恭子	田原 和幸	58-5823
島立	島立 3298	明治 19 年 4 月	齋藤 令子	安藤 隆子	47-2159
芝沢	和田 1118	昭和 46 年 4 月	赤羽 秀明	吉澤 高志	47-0154
菅野	笹賀 3460	昭和 43 年 4 月	井坪 秀明	中林 文広	58-2482
芳川	小屋北 2-5-1	明治 42 年 4 月	松田 真理	高坂 秀樹	58-2030
寿	寿豊丘 1004	明治 33 年 4 月	市川 元彦	滝沢 聖二	58-2106
岡田	岡田松岡 519-1	明治 22 年 4 月	野口 成彦	山本 純子	46-0589
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	〃	中島 勇吾	38-0883
山辺	入山辺 34	昭和 46 年 4 月	青山 康郎	大王 雅喜	32-2619
(美ヶ原)	入山辺 8961-1356	昭和 24 年 4 月	(休校中)		
今井	今井 1616	明治 22 年 12 月	坂口 克夫	中山 由加里	59-2003
開明	宮田 11-41	昭和 45 年 4 月	大槻 久	木船 暁美	25-0485
明善	寿豊丘 813	昭和 49 年 4 月	田中 智之	平林 明彦	58-3244
本郷	浅間温泉 2-9-5	明治 45 年 4 月	唐澤 信好	武田 敦子	46-0495
二子	笹賀 5921	昭和 54 年 4 月	大和 正秀	下平 良洋	27-1648
並柳	並柳 4-9-1	昭和 58 年 4 月	石澤 和人	三木 雅博	29-0869
四賀	会田 1113	平成 25 年 4 月	苅部 あゆみ	山口 弘子	64-1070
安曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	山口 昇一	西村 浩	94-2234
大野川	安曇 3886-1	昭和 22 年 4 月	柳澤 充人	西原 晃司	93-2224
奈川	奈川 2281	明治 30 年 4 月	坪田 利彦	高橋 和幸	79-2002
梓川	梓川梓 755	昭和 48 年 4 月	田中 寛人	千種 周嗣 油井 幸樹	78-2035
波田	波田 10286-1	明治 19 年 4 月	三輪 千子	福与 泰安 染川 あゆみ	92-2044

(2) 中学校

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
清水	清水 2-7-12	昭和 22 年 4 月	山口 真一	上條 雪絵	32-2078
鎌田	鎌田 2-3-56	昭和 22 年 4 月	小松 直彦	小野澤 健	25-1088
丸ノ内	宮渚 3-6-1	昭和 23 年 4 月	宮下 昌史	高橋 あゆ美	32-1962
旭町	旭 3-7-1	昭和 23 年 4 月	三尾 浩幸	関 雅夫	32-2048
桐分校	桐 3-9-4	昭和 30 年 4 月	〃	〃	32-3091
松島	島内 3986	昭和 33 年 4 月	阪口 和彦	土屋 泰生	40-1367
高綱	島立 4416-1	昭和 28 年 4 月	清水 伸行	山田 淳子	47-3929
菅野	笹賀 3475	昭和 24 年 4 月	田中 耕史	重盛 究	58-2056
筑摩野	村井町北 2-11-1	昭和 25 年 4 月	瀧澤 公也	美齋津 昭博	58-2071
山辺	里山辺 3326	昭和 30 年 4 月	本木 善子	五味 誠	32-0267
開成	神田 2-7-1	昭和 36 年 9 月	中川 由香里	小林 博樹	26-1852
女鳥羽	原 1085-2	昭和 26 年 4 月	栢木 藤雄	柳 沢 修	46-0285
あさひ分校	旭 2-11-30	平成 23 年 3 月	〃	中島 勇吾	38-0883
明善	寿豊丘 812-1	昭和 54 年 4 月	幅 誠一郎	池上 篤	86-0044
信明	石芝 3-3-20	昭和 60 年 4 月	津野 尚彦	中島 紀子	25-3848
会田	会田 8923	昭和 30 年 4 月	宮澤 陽子	普明 秀幸	64-2020
安曇	安曇 964	昭和 42 年 4 月	山口 昇一	岡本 千穂	94-2234
大野川	安曇 3886-1	昭和 23 年 4 月	柳澤 充人	西原 晃司	93-2224
奈川	奈川 2281	昭和 22 年 4 月	坪田 利彦	小町谷 聖	79-2002
梓川	梓川梓 800-2	昭和 28 年 4 月	松本 隆	南山 清高	78-2024
波田	波田 10145-1	昭和 22 年 4 月	藤松 輝州	水野 直昭	92-2034
松原分校	波田 4417-5	平成 12 年 4 月	〃	福島 佳之	91-2202

(3) 組合立

校名	所在地	創立年月	校長名	教頭名	電話番号
(組)鉢盛	東筑摩郡朝日村 3332-5	昭和 40 年 4 月	中川 満英	百瀬 顕正	99-2501

(4) 幼稚園

園名	所在地	創立年月	園長名	電話番号
松本	蟻ヶ崎 2-4-50	明治 20 年 4 月	大内 勝	32-0904
本郷	浅間温泉 2-12-15	昭和 42 年 4 月	黒田 陽子	46-1876
本郷南	横田 4-25-2	昭和 50 年 4 月	平林 美江	35-5165

資料：学校教育課

※ 本表中の創立年月は、制度上組合上成立した時期を示す

※ 各校の前身校には、さらに古い創立のものがある

4 学校教職員数 (R4. 5. 1)

区分	校名	校長		教頭		教諭		養護教諭		養護助教諭		講師		(含再任用H)非常勤		事務		栄養職員		その他県費		休職教員数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小学校	小学校計	20	7	23	8	213	301	0	26	0	14	27	81	10	50	14	18	1	10	5	21	32
	開智	1	1	1	1	11	10		1				4		3	1					1	
	源池	1			1	6	8		1			1	2		1	1						1
	筑摩	1		1		7	8				1	2			3		1					1
	旭町	1		1		7	13		1			3		1		1						1
	田川		1	1		8	8		1			4		1		1						1
	鎌田	1		2		11	21		1		1	8		4		1	1					2
	清水	1		1		9	13		1		1	2		4		5	1					1
	内島	1		1		12	20		1		1	2		4		3		1				1
	中山		1	1		3	6		1		1	1		1		1	1					2
	立沢	1		1		5	9		1		1	2		3		2	1					2
	菅野	1		1		5	13		1			3		3		2	1					2
	芳川	1		1		11	13		1			1	2	1	1	1						1
	寿	1		1		12	19		1		1	2	4	3	3	2	1	2	1	2		1
	岡田	1		1		12	13		1		1	2	3	3	3	1	1				1	1
	あさひ分校				1	6	12		1			2	1	1	2	1	1		4	1	1	1
	山辺	1		1		8	16		1			1	2	1	3		1					1
	美ヶ原																					
	今井	1			1	4	4		1				1		1		1					
	開明	1		1		11	17		1		1	2	7		5	1						1
	本善	1		1		10	7		1			1	2		2						1	6
明郷	1			1	8	9		1			1	1		1	1					1		
二子	1		1		4	8		1		1	2	2		1	1	1					2	
並柳	1		1		8	9		1				3		1	1						1	
四賀		1		1	3	4		1				3		3								
安曇	1		1		1	2				1		3		3		1		1			1	
大野川					2	2					1	1		1		1		1			1	
奈川	1		1		2	1		1				1		1		1					1	
梓川	1		2		14	18		1		2	1	4	1	2	2			1			1	
波田		1	1		12	17		1		1	3	4	3	3				1			1	
中学校	中学校計	14	3	15	5	202	150	0	15	0	5	32	42	10	4	5	13	0	0	5	10	17
	清水	1		1	1	13	14		1			1	2	2			1			1		1
	鎌田	1		1		15	9		1			3	3	1	1		1				1	1
	丸ノ内	1			1	11	6		1			1	1		1		1					1
	旭町	1		1		10	7		1			1	4				1				1	1
	桐分校					1																
	松島	1		1		13	9		1			2	1			1				1		
	高綱	1			1	8	8		1				3	1	1	1					1	1
	菅野	1		1		15	11		1			1	1	1	2		2					
	筑摩	1		1		21	14		1		1	3	4	2		2						2
	山辺		1	1		9	6		1			5	2							1		3
	開成		1	1		10	12				1	2	6		1		1					4
	女鳥羽	1		1		11	7		1		1	1	3			1						1
	あさひ分校					1	2				1	2										
	明善	1		1		12	5		1			4	2				1					1
	信明	1			1	10	7		1			1	1			1						1
	安曇		1	1		4	4		1				1			1						
大野川	1			1	2	2					3	1		1							1	
奈川					3	1						1										
梓川	1		1		1	3						2										
波田	1		1		13	14		1				6			1						2	
松原分校	1		1		15	9		1		1	2	1				1				1	1	
鉢盛	1		1		15	10		1			2	2				1					1	

区分	園名	園長		教諭		事務職員		給食調理員		会計年度教員		特別加配		休職職員数								
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
幼稚園	幼稚園計	1	2	0	7	0	3	0	6	1	4	0	18	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	松本郷	1			3		1		2	1			8		1							
	本郷南		1		2		1		2		2		5		0							

資料：学校教育課

(注) 1 「休職教員数」は正規教員の内数です(休職教員数には育児休業者を含む)

(注) 2 中学校計には鉢盛中学校は含まない

(注) 3 部は市費で対応するもの

先の教員以外・市費	事務職員		学校図書館事務職員		養護職員(看護師等)		栄養職員		給食調理員		施設管理職員		特別支援教育支援員等		県費計		市費計		合計	校名	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			男
6	22	0	13	2	26	0	10	1	1	1	3	28	0	1	48	313	536	39	123	1011	小学校計
1	1		1		1							1			3	14	19	1	6	40	開智
1					1							1			1	9	14	2	2	27	池摩
	1				1		3					1			2	10	19	1	7	30	旭田
	1		1		1							1		1	2	10	16	1	4	31	鎌川
	1		1		1							1		1	2	15	38	2	5	60	田水
	1		1		1							1		2	14	25	1	3	43	内水	
	1			1	1							1		2	16	31	2	4	53	山内	
	1				1							1		2	4	12	2	1	19	立山	
	1				1							1		4	7	18	2	3	30	沢立	
	1		1		1							1		1	4	7	22	1	6	36	島芝
	1				1							1		1	16	18	1	4	39	菅野	
	1				1		1					1		3	16	34	1	7	58	芳川	
	1				1							1		4	17	23	1	9	50	寿岡	
					1							1		2	11	23	1	5	40	田岡	
					1							1		2	2	1	0	0	3	あさひ分校	
			1		1							1		3	12	24	1	6	43	山辺	
					1							1			0	0	0	0	0	0	美ヶ原
					1							1		2	5	9	1	4	19	今井	
					1		1					1		5	15	33	1	10	59	開明	
					1							1		2	15	12	1	5	33	善明	
					1							1		3	12	13	1	5	31	本郷	
					1							1		9	9	14	1	2	26	子柳	
					1							1		2	11	15	1	4	31	並柳	
					1							1		1	3	12	1	3	19	賀賀	
					1							1		4	4	7	2	1	14	安野	
					1			1				1		5	5	4	4	2	15	大野	
					1				1		2	1		5	2	2	1	4	12	川奈	
					1		3					1		1	21	29	1	7	58	川奈	
					1							1		19	32	2	2	55	波田		
17	19	0	8	0	16	0	2	0	0	0	0	17	0	8	16	283	247	42	61	633	中学校計
1	1		1		1							1			4	18	19	2	7	46	清水
	2		1		1							1		1	21	16	1	5	43	鎌田	
1	1				1							1		1	13	12	3	3	31	丸ノ内	
	2		1		1							1		2	14	13	1	6	34	旭町	
					1							1		1	1	0	0	0	1	桐分校	
	2				1							1		2	18	12	3	4	37	松島	
2	1				1							1		2	11	14	5	1	31	高綱	
1	1		1		1							1		1	19	16	2	3	40	菅野	
2			1		1							1		1	30	21	4	3	58	筑摩	
	1				1							1			16	11	1	2	30	山辺	
	1				1							1			13	23	2	2	40	開成	
	2				1							1		1	14	14	1	4	33	女鳥羽	
					1							1			4	3	0	0	7	あさひ分校	
	1				1							1			14	10	2	2	28	明善	
2	1		1		1							1		1	16	11	3	4	34	信明	
1	1				1							2		1	5	8	3	3	19	会田	
1	1				1							1			5	5	1	0	11	安曇	
1	1				1							1			4	2	1	1	8	大野	
1	1				1							1			4	3	1	0	8	川奈	
1	1		1		1							1		1	16	22	3	3	44	川奈	
1	1		1		1		2					1		1	21	12	3	8	44	梓川	
					1							1		3	6	0	0	0	6	波田	
					1							1		2	19	15	3	11	48	鉢盛	

																		市費計		合計	園名	
																		男	女			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	40	42	幼稚園計
																		2	14	16	松本	
																		0	13	13	本郷	
																		0	13	13	本郷南	

5 学校基本調査児童・生徒数 (R4. 5. 1)

令和4年度 学級編成

区分	学校名	3.5.1		4.5.1		増減		1年		2年		3年		4年	
		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
小学校	小学校計	518	11,953	517	11,692	-1	-261	63	1,753	64	1,797	65	1,805	65	1,833
	開智池源	22	593	22	581	0	-12	3	98	3	90	3	94	3	91
	源池摩	14	250	13	236	-1	-14	1	32	1	30	2	43	2	40
	旭町	15	356	15	365	0	9	2	62	2	61	2	62	2	50
	田川	19	382	18	356	-1	-26	2	47	2	50	2	50	2	53
	鎌田	16	275	16	271	0	-4	2	44	2	39	2	37	2	42
	清水	34	910	34	905	0	-5	5	154	4	133	5	144	4	133
	清島	24	582	24	595	0	13	3	98	3	96	3	85	3	98
	中山	29	781	30	776	1	-5	4	109	4	124	4	118	4	129
	中島	8	101	8	98	0	-3	1	19	1	15	1	15	1	12
	立沢	16	320	15	301	-1	-19	1	31	2	48	2	43	2	53
	菅野	18	421	19	424	1	3	3	72	2	62	2	56	2	66
	菅野	23	591	23	588	0	-3	3	88	3	89	3	96	3	90
	菅野	31	756	32	786	1	30	4	137	4	106	5	143	4	109
	菅野	28	693	27	679	-1	-14	3	97	4	112	3	100	3	100
	岡田	16	370	17	364	1	-6	2	53	2	64	2	61	2	58
	あさひ分校	2	11	2	9	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0
	山美	23	591	23	571	0	-20	3	75	3	95	3	98	3	94
	今井	8	143	8	148	0	5	1	32	1	23	1	19	1	23
	開明	27	617	27	592	0	-25	3	96	3	88	3	86	3	84
	明善	19	418	18	401	-1	-17	2	55	2	57	2	65	2	57
	本郷	16	346	16	341	0	-5	2	50	2	59	2	48	2	62
	二子	14	236	13	226	-1	-10	1	25	1	29	1	32	2	36
	並柳	15	337	15	313	0	-24	2	43	2	49	2	42	2	63
四賀	8	131	8	124	0	-7	1	12	1	25	1	20	1	18	
安曇	3	20	5	29	2	9	1	7	1	7	1	2	3	3	
大野川	3	23	4	20	1	-3	1	4	3	3	1	6	1	4	
奈川	3	14	3	11	0	-3	0	0	1	2	0	0	1	5	
梓川	31	823	30	761	-1	-62	3	92	4	114	3	106	4	135	
波田	33	862	32	821	-1	-41	4	121	4	127	4	134	4	125	
中学校	中学校計	251	5,874	256	5,861	5	-13	63	1,787	63	1,840	68	1,885		
	清水	17	365	18	349	1	-16	4	106	4	111	4	112		
	鎌田	18	462	19	482	1	20	5	164	4	126	5	160		
	丸ノ内	11	226	12	251	1	25	3	80	3	73	3	80		
	旭町	14	330	14	321	0	-9	3	95	3	102	4	109		
	桐分校	1	4	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4		
	松島	15	355	16	397	1	42	5	145	4	114	4	121		
	高綱	14	354	13	327	-1	-27	3	80	4	118	4	116		
	菅野	19	470	18	445	-1	-25	4	126	5	157	4	130		
	筑摩	26	711	25	699	-1	-12	6	205	7	219	7	241		
	山辺	12	340	13	334	1	-6	3	91	3	106	4	117		
	開成	15	368	16	375	1	7	4	112	4	134	4	106		
	女鳥羽	14	326	14	330	0	4	4	109	3	92	4	108		
	あさひ分校	2	10	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0		
	明善	10	222	11	221	1	-1	2	48	3	79	3	77		
	信明	13	328	14	326	1	-2	3	98	4	107	3	98		
	会田	5	61	5	55	0	-6	1	19	1	14	1	18		
	安曇	3	16	3	15	0	-1	1	3	1	6	1	6		
大野川	2	6	2	9	0	3	1	5	3	3	1	1			
奈川	2	8	2	10	0	2	1	3	4	4	1	3			
梓川	19	468	19	461	0	-7	5	153	5	145	5	141			
波田	17	437	17	432	0	-5	5	145	4	127	4	132			
松原分校	2	7	2	8	0	1	0	0	1	3	1	5			
鉢盛	20	459	18	416	-2	-43	4	114	5	147	4	125			
幼稚園	幼稚園計	9	162	10	152	1	-10	4	58	3	42	3	52		
	松本	3	57	4	53	1	-4	2	22	1	17	1	14		
	本郷	3	50	3	48	0	-2	1	19	1	13	1	16		
本郷南	3	55	3	51	0	-4	1	17	1	12	1	22			

は複式学級対応

(注) 1 幼稚園については、1年を3歳児、2年を4歳児、3年を5歳児に読み替える。

(注) 2 桐分校は本科生

学級数	5年		6年		通常学級計		特別支援計		学年別総数							学校名
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
	70	1,900	68	1,848	395	10,936	122	756	1,854	1,933	1,930	1,947	2,050	1,978	11,692	
小学校計																
3	94	3	87	18	554	4	27	102	95	98	94	97	95	581	開智	
2	38	1	36	9	219	4	17	32	34	44	48	42	36	236	源池	
2	51	2	59	12	345	3	20	68	65	64	50	58	60	365	筑摩	
2	56	2	56	12	312	6	44	53	57	58	56	68	64	356	旭町	
2	46	2	39	12	247	4	24	47	43	40	45	52	44	271	田川	
5	148	5	152	28	864	6	41	163	139	152	139	154	158	905	鎌田	
3	101	3	79	18	557	6	38	104	106	92	101	105	87	595	清内	
5	148	4	115	25	743	5	33	113	134	125	134	153	117	776	島水	
1	17	1	15	6	93	2	5	20	16	16	12	18	16	98	中山	
2	51	2	56	11	282	4	19	32	51	46	57	55	60	301	島立	
2	63	3	77	14	396	5	28	74	68	62	70	68	82	424	芝沢	
3	91	3	104	18	558	5	30	91	94	99	93	101	110	588	菅野	
4	122	4	124	25	741	7	45	145	117	153	114	130	127	786	芳川	
4	114	4	114	21	637	6	42	104	122	104	107	117	125	679	寿	
2	62	2	37	12	335	5	29	58	70	67	61	67	41	364	岡田	
0	0	0	0	0	0	2	9	0	0	0	2	3	4	9	あさひ分校	
3	80	3	93	18	535	5	36	77	99	110	99	90	96	571	山辺	
1	16	1	30	6	143	2	5	33	24	20	24	16	31	148	美ヶ原	
4	106	3	76	19	536	8	56	104	98	97	88	115	90	592	今井	
2	59	3	72	13	365	5	36	60	62	68	65	70	76	401	開明	
2	56	2	42	12	317	4	24	54	62	55	67	58	45	341	明善	
2	40	2	40	9	202	4	24	27	33	36	42	43	45	226	本郷	
2	49	2	52	12	298	3	15	44	50	43	66	55	55	313	二子	
1	24	1	16	6	115	2	9	13	26	20	20	25	20	124	並柳	
1	4	1	6	5	29	0	0	7	7	2	3	4	6	29	四賀	
1	1	2	4	20	0	0	4	3	6	4	1	2	20	20	大野川	
1	1	3	3	11	0	0	0	2	0	5	1	3	11	11	奈川	
4	132	4	127	22	706	8	55	102	121	112	147	143	136	761	梓川	
4	130	5	139	25	776	7	45	123	135	141	134	141	147	821	波田	
中学校計																
				194	5,512	62	349	1,919	1,959	1,983					5,861	清水
				12	329	6	20	112	117	120					349	鎌田
				14	450	5	32	176	139	167					482	丸ノ内
				9	233	3	18	86	81	84					251	旭町
				10	306	4	15	102	104	115					321	桐分校
				1	4	0	0	0	0	4					4	松島
				13	380	3	17	151	117	129					397	高綱
				11	314	2	13	84	124	119					327	菅野
				13	413	5	32	135	171	139					445	筑摩
				20	665	5	34	213	237	249					699	山辺
				10	314	3	20	101	109	124					334	開成
				12	352	4	23	118	143	114					375	女鳥羽
				11	309	3	21	122	96	112					330	あさひ分校
				0	0	2	10	5	4	1					10	明善
				8	204	3	17	61	80	80					221	信明
				10	303	4	23	108	115	103					326	会田
				3	51	2	4	19	16	20					55	安曇
				3	15	0	0	3	6	6					15	大野川
				2	9	0	0	5	3	1					9	奈川
				2	10	0	0	3	4	3					10	梓川
				15	439	4	22	161	151	149					461	波田
				13	404	4	28	154	139	139					432	松原分校
				2	8	0	0	0	3	5					8	鉢盛
				13	386	5	30	121	162	133					416	幼稚園計
				10	152			58	42	52					152	松本
				4	53			22	17	14					53	本郷
				3	48			19	13	16					48	本郷
				3	51			17	12	22					51	本郷南

6 特色ある学校行事と宿泊をともなう学年行事（コロナウイルス感染症対策のため変更有）

(1) 小学校

学校名	特 別 活 動	宿泊をともなう行事		
	特色ある学校行事	旅 行	キャンプ	臨海学習他
開 智	児童会開智まつり、「礎タイム」（朝読書・ドリル・体力づくり、児童会発表、全校集会）、開智読書の日（保護者・地域ボランティアによる読み聞かせ）、松本城周回マラソン大会、旧開智学校校舎清掃、公民館・福祉施設等との交流（学級単位、金管バンド演奏）	6年 山梨・静岡	5年 美ヶ原	
源 池	「みどり教育」の充実、ノーチャイム、マラソンタイム、ドリルタイム、大相撲源池場所、「源池子ども大学」（職業体験総合的な学習の時間発表等）、マラソン記録会、源池の森コンサート（子ども会）、源池祭（子ども会）読書ボランティアによる読み聞かせ	6年 山梨県	5年 美ヶ原 今年度は登山のみ実施	
筑 摩	児童会を中心にしたあいさつ運動、たてわり活動（たてわりグループによるレク集会、朝や業間休み、たてわり班による清掃）、「かえで祭」（児童委員会ごとの企画 年1回）、自主活動（朝の時間を中心にして）、合唱団、金管バンド、陸上クラブ、持久走大会	6年 東京	5年 美ヶ原 今年度は登山のみ実施	
旭 町	松本盲学校・院内学級との交流、地域の方を講師にお願いする「とことん講座」（クラブ活動）たてわり清掃（年2回、2週間ずつ実施）全校で取り組む花壇づくり、児童会を中心にしたあいさつ運動、朝のあいさつマラソン、読書ボランティアによる読み聞かせの実施、保護者を講師に招いてのお仕事講座（キャリア教育）、日常的な地域の方との交流拠点としての「あさひカフェ」、地域行事への参加（プラスバンド）、陸上クラブ	6年 東京	5年 美ヶ原 （登山）	
田 川	8の字跳び、全校マラソン、全校読書、児童会主催行事（全校ドッジボール大会 他）、集会活動（金曜日2校時）、たてわり清掃、「読み聞かせボランティア」「地域の方を講師に招いてのクラブ活動（1講座）」「見守り隊」「福祉ひろばとの交流」など地域の方とのつながり、田川夏まつり（PTA・地域とともに）ニコワクデー（1年生の子どもと職員が月一回水曜日の放課後に一緒に遊ぶ）	6年 新潟県	5年 美ヶ原	
鎌 田	姉妹学級による交流活動、地域の縦割り班による集団登校、「はげもう」（朝ドリル）、「よもう」（清掃終了後10分間読書）、ランランカードを用いた日常的な持久走の習慣作り、連学年体育・なわとび検定等による体力向上プランの実施 毎月2日・12日・22日は「あいさつーの日」の実施 読書ボランティアによる読み聞かせ、金管バンド、合唱部の活動	6年 新潟		
清 水	「せせらぎ（学校ピオトープ）」を中心とした総合的な学習の時間や観察会・栽培活動の実施、せせらぎサポートの会の活動、全校マラソンによる体力づくり、地域の方々と共に活動する地域活動の日、読書ボランティアの方による読み聞かせ、合唱部・金管バンド部の活動	6年 県北部 新潟方面	なし	
島 内	静の時間（清掃開始前）、PTA親子作業、朝の読書活動「ブックタイム・読書ボランティアによる読み聞かせ」、島内っ子応援団地域ボランティア運営委員会（学習、読み聞かせ、生活、安全、環境）による学校支援の充実、地域の福祉ひろば（お年寄り）との交流体験、島フェス（6年生主催による児童祭り）	6年 東京	5年 美ヶ原 今年度はハイクとして実施	

学校名	特別活動	宿泊をともなう行事		
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	臨海学習他
中山	アルミ缶集め、縦割り班活動（地域や文化を知る縦割り遠足、薬草採り、姉妹学級清掃、中山祭、集会等）、手づくり教室（地域の老人としめ縄作りや縄ない）、地域の方を講師に招いてのクラブ活動（6講座）、地域の方々による読み聞かせ、地域民踊保存会の方の指導による踊り	6年 隣県か県内	5年 美ヶ原	
島立	福祉ひろばとの交流、地域の伝統行事の学習、米作り・「島立キュウリ」の体験を含めた学習、環境学習、島立っ子応援団の方によるボランティア事業（読み聞かせ、放課後学習教室、地域めぐり）で地域の方々の応援により進める学習、児童会主催の「光子祭」	6年 静岡	5年 美ヶ原登山（日帰り）	
芝沢	「ものぐさ太郎祭り」、地域の方々から学ぶ学習（米作り、茶道、書道絵画、読み聞かせ等）、保育園との交流、老人施設との交流、松本大学との交流、窪田空穂記念館での学習、文化財の清掃活動、PTAで維持管理する芝生の上での体力作り・運動会、重点目標に迫る各種強化週間	6年 東京	5年 美ヶ原（宿泊なし）	
菅野	姉妹学級での読み聞かせや遊び交流、清掃交流、児童会オリエンタリング、笹賀子ども安全サポーター・神林地区子ども見守り隊との交流会、元気すがのっ子マラソン（通年）、信州スカイパークでの持久走大会、同好会「おはなしすがの」による読み聞かせ、家庭読書（毎週水曜日）、農業体験や笹賀オシドリザクラ挿し木など、学校応援団（学校支援ボランティア）の方と学ぶ学習	6年 山梨	5年 美ヶ原 泊無し 登山・キャンプ ファイヤー	
芳川	芳川の「人・こと・もの」との出あい・ふれあい・高めあいを通して心身共に健やかな子どもの育成を願っている。その願いを受けて食と農業の大切さや伝統産業を学ぶスクールファームの活動として、3年がジュース用トマト、4年がホウキキビ、5年がイネを、スクールファーム支援会の方々の指導を受けながら栽培、収穫している。4年は収穫したホウキキビで野溝地区の伝統である箒を制作している。	6年 隣県か県内	なし （5年 美ヶ原 散策日 帰り）	
寿	令和4年度、寿小学校のあいとことばに「さあ、やってみよう」を位置付けた。「ひろげようなかまのわ」「きたえようこころとからだ」「つたえようわたしのことば」を重点に据え、心身共に健康で、より良い人間関係を築き、自ら課題を見出し学ぶ子の育成を目指している。地域の方々からも「子どもは寿の宝」として多くの場面で支援をいただいている。30aの菜園での栽培活動、財産区での里山体験学習、福祉施設訪問、福祉ひろばとの交流のほか、クラブ活動で伝統芸能体験をとおした活動を行うなど地域の方を講師に取り組んでいる。	6年 愛知 長野		
岡田	縦割班単位で行うウォークラリー形式の全校縦割り遠足、「みどりの少年団」の活動を通して学ぶ環境教育、児童会がすすめる「岡田小夏祭り」、2・3年スケート教室、4～6年スキー教室、年間通しての花の栽培活動、地域講師と学ぶ米作りや野菜作り・クラブ活動、「お話の会」による定期的な読み聞かせ、スクールファームでの栽培活動 ウォーターフィールドで行う高学年のマラソン大会	6年 東京		
山辺	わくわくタイム（計6回実施、地域から講師を招いて14講座を開講）、山辺特産ぶどう栽培（6年、地元JAの方に教えていただきながら、ワイン用ぶどうと食用ぶどうを栽培、姉妹学級の1年生と収穫を行う）、米作り（5年、地域の方に教えていただく）、姉妹校交流（戦争時の学童疎開を縁に世田谷区立中里小学校とメッセージの交換等を実施）	6年 東京方面	5年 美ヶ原	

学校名	特別活動	宿泊をとまなう行事		
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	臨海学習他
今井	全学年による松本養護学校との交流活動・福祉ひろばとの交流、今井四郎兼平に因んだ遠足や「兼平太鼓」の演奏、今井小学校学習公園での自然体験学習、道の駅「今井恵みの里」体験農場での5年米づくりと3年リング栽培、中庭リンク（PTA作業で作成）での1・2・3年スケート学習	6年 静岡県 山梨県	5年 美ヶ原	
開明	生活科や総合的な学習の時間充実のため、栽培活動や開明自然の森に関わる活動を実施。児童会を中心にしたあいさつ運動、読書読み聞かせの実施、大縄跳びや校内のコースを活用したマラソンへの取り組みによる体力づくり	6年 山梨 (県内案 も検討)	5年 美ヶ原 高原散策	
明善	牛伏寺川自然体験、米作り・野菜作りを通じた食育・体験学習、昼の一斉読書と読み聞かせ活動、松本ろう学校・寿台養護学校との交流活動、福祉ひろばとの交流活動、地域講師を招いての昔の遊び等の学習 寿財産区きずなの森での里山学習	6年 東京 ・多方面 も検討中	5年 美ヶ原登山 (泊なし)	
本郷	本郷の時間（生活科・総合的な学習の時間）、生活科遠足、福祉交流温泉体験学習、持久走大会、女鳥羽川自然観察、野菜作り（松本一本ねぎ、大豆など）、『松本てまり』学習、雅楽演奏会、竹ランタンづくり、10分間読書、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、いいあいさつの日の実施	6年 栃木県・ 群馬県	5年 美ヶ原学 習 泊なしで 飯盒炊さ ん実施	
二子	連学年による活動（1・2年 校歌を伝える会、2・3年 うさぎの飼育、3・4年 太鼓の引き継ぎ会、5・6年 児童会活動の引き継ぎ会）、全校による富士山マラソン児童会によるあいさつ運動、「お話あ・ん・と」の皆さんによる読み聞かせ、10分間読書、地域講師を招いてのクラブ活動	6年 東京	5年 美ヶ原日 帰り登山	
並柳	校内の畑での野菜作り（1～4年）、松本一本ねぎ栽培（4年）、大豆栽培と味噌作り体験（2年）、栽培活動、児童会主催「並柳祭」、スクールバンド、陸上クラブ、PTAによるボランティア読み聞かせ（おはなしなみなみ）、地域ボランティア（給食・あいさつ運動・行事引率・託児など）	6年 東京	5年 美ヶ原 日帰り 登山	
四賀	耕地内の畑での栽培活動（1～6年） 地域の方々との米づくり体験学習（5年） そば作り体験（1, 2年） 福祉ひろば交流（3年） 地域の方との大菊栽培（6年）小菊栽培（4年） 夢おはなしの会の皆さんによる読み聞かせ 全校道徳 持久走大会 全校縦割り活動 そり・スキー教室（全校）	6年 東京		5, 6年 南知多 日間賀島
安曇	小中合同で行う運動会・音楽会・安曇タイム・走る会・安曇駅伝 ウェストン祭碑前祭参加（献花と合唱）（4年～6年）、上高地学習（1～6年）、スキー教室（全校）、稲核菜栽培、養蚕体験（3年）、3校交流学习（各学年）、保育園交流（1、2、5年）上高地清掃遠足（全校）	6年 東京	5年乗鞍 乗鞍ベー ス	
大野川	自然保護活動、わらびとり遠足、地域ゴミ拾い、乗鞍大野川町会合同運動会、鷹の渡り観察会、中学校文化祭「乗峰祭」・音楽会への参加、乗鞍散策、スキー教室、乗鞍まつり、信濃学園分室との交流、東京大学学生によるサマースクール、大学生の授業研究など受け入れ、アルプホルンの演奏、和太鼓の演奏、アルペンスキー大会クロスカントリースキー大会、小中合同入学式卒業式、三校交流会	6年 東京	5年乗鞍 いがやキ ャンプ場	

学校名	特別活動	宿泊をとまなう行事		
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	臨海学習他
奈川	わらび採り、ふるさと学習（奈川渡ダム・奈川木工所見学）、地域清掃、音楽会（小・中合同）、三校交流、スキー学習（3回）、運動会（小・中合同）、パラスポーツ交流会、ワシ・タカの渡り観察、とうもろこしづくり、異年齢ホームルーム、全校カホン学習	6年 東京	5年 乗鞍 いがや キャンプ 場	
梓川	りんご栽培（3年）、栽培活動（全学級）、メディアリテラシー講話（5・6年）、非行防止教室（5年、特別支援学級）、創立50周年式典（全校）、スキー教室（3・4年）、スケート教室（2年）、姉妹学級なかよし清掃（1・6年）、マラソンへの取組み（全校）	6年 北陸地方 （上越） （金沢）	5年 高遠青少 年自然の 家	
波田	「まつかぜタイム」（総合的な学習の時間）、全校一斉朝の朝学習の時間、信濃学園分室との交流、ボランティアによる年間通しての「読み聞かせ」、全校マラソン、松を守る活動（松のこも巻き、松葉掃き）水の学習（3年）、梓川のごみ拾い	6年 富山		5年 南知多 日間賀島

(2) 中学校

学校名	特別活動	宿泊をとまなう行事			
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	登山	臨海学習他
清水	全校奉仕活動（女鳥羽川清掃含む）、立志式（2年）、街めぐりや書写指導など地域公民館との連携学習、消防団との合同防災訓練、校歌発表会、芸術館での音楽祭、親子作業・親子レク（1年）、ピンクシャツ・デーの活動、中高大連携学習	3年 京都 奈良	1年 上高地 高山		
鎌田	アルミ缶回収、ペットボトルキャップ回収（毎週金曜日）、職場体験学習、農業体験学習、自然体験学習、KMDタイム（総合的な学習）での学級毎による探究活動、しらかばの日①（KMDタイム発表、体育祭）しらかばの日②（音楽会）	3年 京都 奈良			
丸ノ内	学校公開週間、学芸発表会、「地域」との連携をキーワードにした学年毎の総合的な学習の時間、日帰り乗鞍岳登山（2年）、日帰り上高地自然学習（1年）、ペットボトルキャップ回収、大縄跳び大会、クラスマッチ、通年縦割り清掃、環境整備作業（年3回）、松本城城西花壇花植え、ホームケアセンター訪問（本年度は見送り）、職場体験学習（本年度は見送り）	3年 奈良 京都			
旭町	松本盲学校・桐分校との交流活動、三つの伝統「挨拶・歌声・清掃」の発展・伸長のために挨拶運動・学年の時間・縦割り清掃への取組み、地域学習・東北信旅行・修学旅行と関連づけた平和学習、アルミ缶収集やごみ拾い登校などのボランティア活動、3年間を見通した進路学習	3年 広島		1年 乗鞍岳 上高地	
松島	音楽会、登校中ゴミ拾い活動、職業講話・職業体験講座（2年）、全校地域奉仕作業、親子作業（1年）、コミュニティスクール運営委員と中学生の語る会、地域づくりセンターと連携した防災学習、地区文化祭やおまつりへの参加アルミ缶、ペットボトルキャップ・切手収集（Tポラ）	3年 京都 奈良	1年 上高地		2年 東京 （県内案 も検討）

学校名	特別活動	宿泊をとまなう行事			
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	登山	臨海学習他
高 網	学校花壇（サルビア園）づくり、職業講話・職業体験講座（2年）、地域との交流活動・貢献活動、地区の防災訓練への参加、PTA作業、高網中生と語る会（生徒と地域の方の討論会）、ボランティアによる読み聞かせ	3年 長野県内	1年 上高地		
菅 野	<u>りんご摘果体験（2年）、職場体験学習（2年）、縦割り清掃（各学期に設定）、歌声交換会、小運動会、全校企画ひだまりの里訪問、松本保育園訪問（保育実習）、牛乳パック・エコキャップ収集、読み聞かせ（朝読書）、地域講師による放課後学習支援、地区文化祭への参加（合唱部、吹奏楽部）、公民館行事への協力（部活動、生徒会）</u> ※ <u>線部は感染レベルにより変更あり</u>	3年 奈良 京都			2年 山梨キャリア学習
筑摩野	コミュニティスクールふたむら（地域の方との活動）、ちくわの会（保護者・地域の支援者による読み聞かせ）、学舎ちくまの（地域講師による放課後学習支援）、ラボちくまの（地域講師による放課後体づくり支援）、健康教育（地域講師・支援者による地域食材を使った餃子づくり 感染状況により変更あり）、筑輪の日（体育祭）	3年 京都 奈良	1年 国立信州 高遠青少年自然の家		2年 戸狩農業体験宿泊学習
山 辺	「山辺ドリーム大学」（「生花」・「香道」等13学科を講師と生徒が共に学ぶ）、「山辺ドリーム」（ぶどう栽培体験学習）、「学年ドリーム」（職場体験学習、進路指導）、学校花壇作り、アルミ缶・牛乳パック回収、朝読書での読み聞かせ、3年朝学習に地域講師参加	3年 京都 奈良	1年 乗鞍上高地自然体験学習		2年飛騨高山学習（本年度宿泊なし）
開 成	開成タイム（1年 地域での奉仕活動）、職場体験学習（2年）、防災学習（3年 フィールドワーク、避難所設営体験）、ボランティアの方による読み聞かせなど地域の方々とかかわる学習。三つの宝（あいさつ、清掃、歌声）	3年 京都 奈良	1年 上高地（日帰り）	2年 乗鞍岳（日帰り）	
女鳥羽	自問教育（自問清掃、自問ノート、自問集会）、強歩大会、女鳥羽地域ボランティア活動、老人ホームとの福祉交流活動、職場体験学習	3年 京都 奈良		1年 乗鞍岳 上高地	
明 善	地域に根ざした総合的な学習の時間「チャレンジめいぜん」（1年：地域学習、2年：職場体験学習、3年：福祉体験学習）、いじめ追放宣言について考える集会、アルミ缶回収を通じた福祉活動、4地区公民館行事への参加・応援・連携（音の花束コンサート）	3年 京都 奈良	1年 高遠青少年自然の家		2年 宿泊学習 白馬
信 明	「おらがしんめい」運営委員会、地域出前講座、親子綱引き大会、松本一本ねぎの栽培、歌声づくり、地域一斉清掃、こもれびの会（地域住民による読み聞かせ）、キャリアアップin八ヶ岳（2年）	3年 県内 東北信			2年 キャリアアップin八ヶ岳農業体験宿泊学習
会 田	四賀地区の自然や町並み、特産品等に目を向けテーマを設定し、縦割りで活動するパノラマタイム（総合的な学習の時間）、里山体験学習（学有林にかかわる活動）、公共施設の清掃活動、デイサービスセンターとの交流、地域行事への参画・参加（四賀夏まつり・四賀コンサート等）	3年 京都 奈良			

学校名	特別活動	宿泊をともしなう行事			
	特色ある学校行事	旅行	キャンプ	登山	臨海学習他
安曇	運動会・音楽会・安曇祭・安曇タイム・走る会・安曇駅伝（以上小中合同）奥穂高岳登山、ウェストン山行およびウェストン祭参加、松崎町訪問、スキー教室、三校交流、福祉施設訪問、ごみ出しボランティア、上高地清掃遠足、上高地での職場体験学習	3年 京都 奈良		1・2年 奥穂高岳 （隔年）	1・2年 静岡県松 崎町訪問 （隔年）
大野川	スイスグリンデルワルト村との交流、乗鞍語ろう会、自然保護活動、わらび採り、奥穂高岳登山・松崎町訪問交流（隔年実施）、運動会（小・中学校・地域合同）、卒業生の生き方に学ぶ会（キャリア講演会）、音楽会（小・中学校・PTA合同）、スキー教室（2回）、大阪教育大付属天王寺中学校との交流、乗鞍PR活動（2回）、小中合同入学式卒業式、三校交流、	3年 京都 奈良		1・2年 奥穂高岳 登山（隔 年R5実施 予定）	1・2年 松崎町訪 問交流（ 隔年R4実 施）
奈川	わらび採り、ふるさと学習（木工製作）、地域清掃、二番粉（そば）を使った製品開発、音楽会（小・中合同）、三校交流、スキー学習（2回）、運動会（小・中合同）、パラスポーツ交流会、異年齢ホームルーム、全校カホン学習	3年 京都 奈良		1・2年 常念岳登 山（隔年 R4実施）	1・2年 東北信旅 行（隔年 R5実施）
梓川	りんごの摘果作業、梓荘訪問 各学級とボランティア委員会で奉仕作業や交流活動、加工トマトの収穫、アルミ缶回収、各学年ごとテーマを決めた輝きの時間、学校花壇づくり、全校トイレ縦割り清掃	3年 飛騨 高山			2年東北 信旅行 1年白馬 体験学習
波田	登校町キレ活動（毎月）、あいさつ運動（毎月）、谷浜水難慰霊式（7月）、職場体験学習（7月連続5日間）、牛乳パック回収（7月）、地域貢献活動（地域の清掃美化、地域での花壇作り、地域行事での奉仕活動、児童センターや福祉施設訪問等	3年 京都 奈良		今年度 実施しな い	
鉢盛	自転車通学生徒9割以上のため地域の方を講師に招いて行う交通安全教室、りんごの摘果作業、地域講師に学ぶ総合的な学習の時間（1学年「地域めぐり」、2学年「職業講話」「職場体験学習」、3学年「講座別学習」）地域の福祉施設・老人介護施設・松本養護学校との交流、3市村合同防災訓練、「いじめ追放宣言」に基づくいじめ追放集会	2年 京都 奈良			1年 高山・上 高地

(3) 幼稚園

園名	特別活動
松本	園外保育（自然に触れ社会体験をする）、栽培活動（野菜・草花等）、お茶会（挨拶や感謝の心を学ぶ会、年8回）、絵手紙教室、親子遠足（年1回）、誕生会（発表の場として）、夏まつり、園まつり（学習発表会・音楽会）、サッカー教室、運動会、季節の行事（七夕会、おたのしみ会、もちつき会、お別れ会等）、情操教育（観劇・音楽鑑賞・伝統の遊び）、近隣の小・中・高との交流、たんぼぼ広場（未就園児）、保育参加（保護者による絵本の読み聞かせ・保育体験）
本郷	園外保育（自然に触れ社会体験をする）・野菜、花の栽培活動・染物体験・サッカー教室・お茶会・親子遠足・誕生会・運動会・保護者のサークル活動によるお話の会・ひよこ教室（未就園児）・季節の行事（夕涼み会（夏祭り）、もちつき会、園まつり、まゆ玉作り、豆まき会等）・小動物の飼育・保育参加（絵本の読み聞かせ、保育体験）・情操教育（観劇、音楽鑑賞、独楽遊び）・小学校、近隣の保育園との交流・地域との交流活動（遊ばる野球教室、親子陶芸教室、紙芝居の読み聞かせ、温泉体験）
本郷南	園外保育（自然に触れる・社会体験をする）、花・野菜の栽培、収穫物の調理体験、お茶会、遊ばる野球教室、サッカー教室（地域の教育力を借りて）、風の子広場（未就園児）、近隣の保育園児・小学生との交流（地域との交流活動）、季節の行事（七夕会、夏祭り、運動会、親子遠足、お楽しみ、豆まき会、もちつき会、お別れ会、誕生会）、保育参加（絵本の読み聞かせ、保育体験）、情操教育（音楽鑑賞、観劇会、伝承遊び、母親コーラスコンサート）、保護者による『はじめてのお買い物体験』

7 各校の研究テーマ

(1) 小学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
開智	自分らしさを出し合い、ともに学び合う子ども
源池	子どもが主体となり、学びを広げ深めていくことができる授業の創造
筑摩	「主体的・対話的で深い学びをしていく子ども」を支える教師
旭町	自己を表現する子ども
田川	願いをもち 自ら追究する 授業づくり
鎌田	子どもたちが主体的につながり合う学習を求めて ～対話的な学びの視点を取り入れて～
清水	感じ、考え、響きあい、ひとりだちに向かう子ども
島内	自ら考え、共に認め合いながら、学びを深める子ども
中山	自ら願いをもち、「人」「もの」「こと」との関わりを深め、主体的・対話的に学ぶ子ども～自らのことばで表現するふり返りを大切にした授業展開～
島立	自ら学び、共に学び合いながら、わかる喜びを実感できる子どもの育成
芝沢	「学び きたえる やさしい子」の育成 ～自ら学び、たくましく、人間性豊かな子どもの育成～
菅野	主体的に考え、対話する授業のあり方
芳川	自分の願いをもち、友とかかわりながら 学びを深める子ども
寿	人・もの・こととつながる中で自らの問いや願いをもち、わたしのことばを表現していく子ども
岡田	主体的に「考える力」「伝える力」をのぼす授業づくり
山辺	友と関わりながら自ら考え、学びをつなげる子どもの育成 ～言語活動の充実に焦点を当てて～
今井	「自ら課題を持ち、豊かに表現する今井の子」
開明	一人ひとりが学ぶ喜びを感じ、力をのぼす授業のあり方 ～聞きあい、学びあう授業を通し、評価（見取り）を大切に～
明善	子どもが課題解決にむけて粘り強く追究する力を育む授業のあり方
本郷	ねがいをもち「人・もの・こと」と関わり、追求していく子ども
二子	ともに関わりあいながら、自ら学び、自ら考える子どもの育成
並柳	「学んで楽しいね」と思える学習活動のあり方
四賀	なかまとの対話的な学びを通して、主体的に粘り強く追究する子ども
安曇	児童生徒が自ら問いを持ち、主体的・対話的に解決する授業の創造
大野川	小中併設、小規模校において、友とかかわりながら高め合っていく1単元、1時間のあり方 ～異学年集団での学び～
奈川	学びをつなげ深める授業づくり
梓川	自ら問いをもち、課題を見だし、共に学び合う子どもの育成 ～子ども主体の授業づくり～（2年次）
波田	自ら学び、関わり合いながら学びを深めていく子ども

(2) 中学校

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
清水	表現力が育つ～すべての活動を通して～
鎌田	多様な生徒に多様な学びの場を保障する学校（3年次） ～生徒に学びを委ねる授業づくり（授業のユニバーサルデザイン化）～
丸ノ内	生徒の資質・能力を高める「協働的な学び」のあり方
旭町	生徒同士が主体的に自分の考えを表現し合い、学習を深める授業のあり方

松 島	学習への興味・関心を高め、自ら学ぼうとする生徒を育むことのできる学習指導 ～生徒一人一人の納得した明るい笑顔を求めて～
高 綱	生徒の主体性を引き出す活動はどうあったらよいか
菅 野	子どもと教師が自ら学ぶ授業を求めて ～あの子が主体的・対話的に学ぶ授業の在り方～
筑摩野	学びの連続性を生み出す教師 ～ICTを用いて伝える・つなげる・次に生かす～
山 辺	※全校研究テーマは設けず、個人で研究テーマを設定し追及していく。 (本年度、全校研究テーマ検討・作成中)
開 成	「自らの学びの舵を取る生徒の育成」 ～「探究する力」をつける授業～
女鳥羽	対話と協働を通して学びを深める学習 ～友の考えを参考に自分の考えやイメージを深め、表現する力を磨く～
明 善	主体的に学び共に育つ喜びがあふれる学校 ～わかる・できる・かかわる喜びが実感できる指導のあり方～
信 明	生徒同士が支え合いながら「わかる・できる・活かせる・学びたくなる」授業の創造
会 田	自学×対話=∞ ～自らに問い、仲間と関わり、自己決定する生徒の育成～
安 曇	児童生徒が自ら問いを持ち、対話的に解決する授業の創造
大野川	小中併設、小規模校において、友とかかわりながら高め合っていく1単元、1時間のあり方 ～異学年集団での学び～
奈 川	学びをつなげ深める授業づくり
梓 川	主体的な学びを引き出す授業づくり
波 田	「自ら考え続ける生徒」～教えられるから学ぶへの変革～
鉢 盛	自らを表現できる授業づくり

(3) 幼稚園

学校名	研究の基本方針（学校研究テーマ）
松 本	一人一人の自立に向けて、個やクラスの育ちを支える保育のあり方はどうあったらよいか ～子どもの興味関心(内面)を探りながら、子ども達自身が活動を作り出すための教師の手立てと環境構成～
本 郷	『今、どんな気持ち?』子どもの思いを支える ～「明日もやりたい」を目指して～
本郷南	心を動かしながら、友達と夢中になって遊ぶための保育の手立てはどうあったらよいか

8 中学校卒業者の進路状況（令和3年度）

校名	卒業者			進学者			就職者			就職・進学者			家居			左記以外		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,937	1,008	929	1,919	1,000	919	1	1	0	2	2	0	8	3	5	7	2	5
清水中	123	64	59	122	64	58	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
鎌田中	162	79	83	161	79	82	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
丸ノ内中	56	32	24	56	32	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旭町中	108	60	48	107	59	48	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
松島中	112	60	52	112	60	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高綱中	114	52	62	113	52	61	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
菅野中	163	85	78	163	85	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑摩野中	228	130	98	226	130	96	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
山辺中	107	56	51	104	54	50	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0
開成中	111	51	60	111	51	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女鳥羽中	120	69	51	117	67	50	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0
明善中	60	31	29	58	30	28	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
信明中	113	62	51	110	60	50	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1
会田中	25	15	10	25	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安曇中	4	2	2	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大野川中	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈川中	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梓川中	169	78	91	168	78	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
波田中	159	80	79	159	80	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉢盛中	168	82	86	168	82	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：学校教育課

（注）総数に鉢盛中学校は含まない

中学校卒業者の就職状況（令和3年度）

	計	男	女
卒業生総数	1,937 (168)	1,008 (82)	929 (86)
就職者総数	1 (0)	1 (0)	0 (0)
就職率 (%)	0.05% 0.00%	0.10% 0.00%	0.00% 0.00%
第一次産業			
(県内)			
(県外)			
第二次産業			
(県内)	1	1	
(県外)			
第三次産業			
(県内)			
(県外)			
上記以外のもの			
(県内)			
(県外)			

資料：学校教育課

（注）総数に鉢盛中学校は含まない。（）内：鉢盛中学校就職状況

9 学校保健

(1) 児童生徒の体位（令和3年度）

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)	
		男	女	男	女
6才 (小1)	市	109.1	107.8	21.2	21.0
	県	117.2	116.2	21.7	21.2
7才 (小2)	市	116.1	110.4	24.0	23.5
	県	123.0	121.9	24.6	23.8
8才 (小3)	市	118.5	119.8	27.0	26.3
	県	128.6	127.8	27.8	26.9
9才 (小4)	市	124.0	125.5	30.7	30.3
	県	133.8	133.9	31.4	30.4
10才 (小5)	市	130.4	129.0	34.3	34.3
	県	139.3	140.6	35.1	34.6
11才 (小6)	市	135.0	135.8	38.8	39.4
	県	145.4	146.9	39.1	39.3
12才 (中1)	市	159.9	149.4	45.9	42.8
	県	153.4	151.9	45.1	43.9
13才 (中2)	市	158.7	149.9	49.2	45.7
	県	160.5	154.9	50.1	47.5
14才 (中3)	市	161.9	152.7	53.2	48.5
	県	165.5	156.3	54.9	50.0

資料：学校教育課

※ 市は松本市、県は長野県の平均（県は6月30日現在未集計のため令和2年度の数値）

(2) 長期欠席児童生徒数（30日以上）の欠席

項 目	区 分	H29		H30		R1		R2		R3	
		人数	割合								
病 気	小学校	20	0.2%	21	0.2%	20	0.2%	28	0.2%	41	0.3%
	中学校	67	1.0%	71	1.1%	73	1.2%	71	1.2%	99	1.7%
経済的理由	小学校	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	中学校	0	—	0	—	0	—	0	—	1	—
不 登 校	小学校	121	1.0%	160	1.3%	189	1.5%	221	1.8%	217	1.8%
	中学校	274	4.3%	292	4.6%	270	4.3%	236	4.0%	304	5.2%
そ の 他	小学校	25	0.2%	33	0.3%	51	0.4%	50	0.4%	76	0.6%
	中学校	15	0.2%	0	0%	4	0.1%	10	0.2%	33	0.6%
合 計	小学校	166	1.3%	214	1.7%	260	2.1%	299	2.5%	334	2.8%
	中学校	356	5.5%	363	5.7%	347	5.5%	317	5.4%	437	7.4%

資料：学校教育課 学校支援室

※ %欄は、全児童生徒数に占める割合を小数点以下2桁で四捨五入したもの

(3) 令和3年度不就学児童生徒数

	就学免除	就学猶予
小学校	0	2
中学校	0	1

資料：学校教育課

10 学校施設

(1) 校地校舎保有面積 (R4. 5. 1)

区分	学校名	一般校舎					屋内運動場				
		R	S	W	計	り一面人積当	R	S	W	計	り一面人積当
小学校	総計	141,821	5,037	166	147,024	12.59	2,710	24,468	1,050	28,228	2.42
	開智	5,858	32		5,890	10.14			1,050	1,050	1.81
	源池	4,355			4,355	18.45		1,010		1,010	4.28
	筑摩	5,634	10		5,644	15.46		1,010		1,010	2.77
	旭町	6,430			6,430	18.06		1,017		1,017	2.86
	田川	6,324			6,324	23.34	133	895		1,028	3.79
	鎌田	6,686	250		6,936	7.66		1,060		1,060	1.17
	清島	5,888	62		5,950	10		1,009		1,009	1.7
	島内	6,802	259		7,061	9.1		1,066		1,066	1.37
	中山	3,442			3,442	35.12		1,010		1,010	10.31
	中島	4,397	16		4,413	14.66		1,050		1,050	3.49
	芝沢	4,299	78	53	4,430	10.45		1,058		1,058	2.5
	菅野	6,139	259		6,398	10.88		975		975	1.66
	芳川	7,542	392		7,934	10.09		1,032		1,032	1.31
	寿	6,592	552		7,144	10.52		1,155		1,155	1.7
	岡山	3,839			3,839	10.55		1,010		1,010	2.77
	山辺	6,234	259		6,493	11.37		980		980	1.72
	(美ヶ原)		(201)		(201)			(98)		(98)	
	今井	3,174	225		3,399	22.97		1,010		1,010	6.82
	開明	6,918	17		6,935	11.71		1,008		1,008	1.7
	明善	5,741	984		6,725	16.77		1,096		1,096	2.73
	本郷	4,725	27	40	4,792	14.05		1,050		1,050	3.08
	二子	4,673	56		4,729	20.92		1,064		1,064	4.71
並柳	4,744	335		5,079	16.23		1,010		1,010	3.23	
四賀	3,009	9		3,018	24.34		1,038		1,038	8.37	
安曇	1,948	18	73	2,039	70.31	463			463	15.97	
大野	2,125			2,125	106.25	258			258	12.9	
奈川	1,536	58		1,594	144.91	0	442		442	40.18	
梓川	6,396	902		7,298	9.59	0	1,413		1,413	1.86	
波田	6,371	237		6,608	8.06	1,856			1,856	2.26	
中学校	総計	94,775	1,652	1,396	97,823	16.75	2,987	18,119		21,106	3.61
	清鎌	4,923		1,153	6,076	17.41		1,220		1,220	3.5
	丸ノ内	7,218	263		7,218	14.98		1,073		1,073	2.23
	旭町	5,127			5,390	21.47		1,209		1,209	4.82
	松島	5,679	51		5,679	17.69		1,300		1,300	4.05
	高綱	5,413			5,464	13.76		1,220		1,220	3.07
	菅野	4,647	268		4,915	15.03		1,010		1,010	3.09
	摩野	5,872	164		6,036	13.56		1,660		1,660	3.73
	筑山	7,395			7,395	10.58		1,498		1,498	2.14
	山辺	4,512	104		4,616	13.82		1,010		1,010	3.02
	開成	5,779	244	0	6,023	16.06		1,220		1,220	3.25
	女鳥	5,290	68		5,358	16.24		1,010		1,010	3.06
	明善	4,884	237		5,121	23.17		1,010		1,010	4.57
	信明	5,366	84		5,450	16.72		1,010		1,010	3.1
	会田	4,459			4,459	81.07		1,296		1,296	23.56
	安曇	1,142			1,142	76.13	383			383	25.53
大野	2,976	28		3,004	333.78	13	985		998	110.89	
奈川	1,282	10		1,292	129.2		388		388	38.8	
梓川	6,049		243	6,292	13.65	1,219			1,219	2.64	
波田	6,762	131		6,893	15.96	1,372			1,372	3.18	
鉢盛	6,786	123		6,909	16.61	133	1,553		1,686	4.05	
幼稚園	総計	1,055	1,146	8	2,209	14.53					
	松本	636	328	8	972	18.34					
	本郷	419	195		614	12.79					
	本郷南		623		623	12.22					

資料：学校教育課

凡例：(R) 鉄筋コンクリート (S) 鉄筋その他造 (W) 木造

※ 本表は公立学校施設台帳作成提要に基づき作成

※ 美ヶ原分校の面積は総計に含まない

単位：㎡

校			地			学 校 名
校 舎 敷 地	動 屋 外 場 運	そ 実 の 習 他 地	総 面 積	借 用 地	り一 面人 積当	
345,478	311,689	25,600	682,767	2,805	59	総計
12,336	10,599		22,935		39	開智
9,458	9,061		18,519		78	源池
9,856	14,623	819	25,298		69	筑摩
10,480	6,399	0	16,879		47	旭町
8,395	6,435		14,830		55	田川
12,461	4,916		17,377		19	鎌田
7,876	8,624	0	16,500		28	清水
14,878	9,717		24,595		32	島内
7,520	11,064	198	18,782	2,478	217	中山
11,584	12,797	496	24,877		83	中島
13,071	18,689	1,152	32,912		78	芝沢
15,864	15,024	0	30,888		53	菅野
18,559	13,920		32,479		41	芳川
12,772	11,396	1,135	25,303		37	寿
11,831	8,617		20,448		56	岡田
15,492	12,872	2,899	31,263		55	山辺
(1,319)	(1,630)		(2,949)			(美ヶ原)
10,263	14,360	5,654	30,277		205	今井
16,965	10,868	0	27,833		47	開明
17,142	17,448		34,590		86	明善
8,911	11,210	685	20,806		61	本郷
10,102	15,920		26,022		115	二子
9,487	14,161	1,360	25,008		80	並柳
11,040	8,197		19,237		155	四賀
2,956	8,896	636	12,488		431	安曇
12,078		1,625	13,703		685	野川
5,300	10,176	3,318	18,794	327	1,738	大奈
22,452	14,973	1,814	39,239	0	52	梓川
26,349	10,727	3,809	40,885		50	波田
220,242	253,234	51,009	524,485	7,719	91	総計
14,694	11,099	200	25,993		74	清水
11,387	13,294		24,681		51	鎌田
12,048	12,040	233	24,321		97	丸ノ内
20,155	23,058		43,213		135	旭町
10,950	13,259	821	25,030	2,378	69	松島
12,902	16,448		29,350		90	高綱
14,595	17,470	1,230	33,295	0	75	菅野
13,240	25,583		38,823	4,971	63	筑摩
11,479	13,489	196	25,164		75	山辺
10,407	19,385	12,503	42,295		113	開成
10,147	10,207	248	20,602		62	女鳥
17,487	12,190		29,677		134	明善
11,462	14,411	1,570	27,443		84	信明
9,365	15,440	26,395	51,200		931	会田
4,155		636	4,791		319	安曇
8,161	8,088	1,131	17,380		1,931	大野
4,700	1,300	1,380	7,380	370	775	大野
13,202	14,877		28,079		61	梓川
9,706	11,596	4,466	25,768		60	波田
24,482	20,191	4,200	48,873		117	鉢盛
4,416	2,078	317	6,811	2,509	61	総計
2,912	1,052		3,964		75	松本
1,504	1,026	317	2,847		59	本郷
				2,509	49	本郷

(2) 教室及びその他の室数 (R4. 5. 1)

区分	学校名	普通教室	特別教室											多目的	校長室	事務室	職員室	応接室	会議室
			理科	音楽	図工	技術	家庭	コンピュータ	視聴覚	図書	生活科	特別活動	教育相談						
小学校	総計	524	42	45	26	0	34	26	23	30	7	72	28	16	27	34	13		
	開智	22	2	2	1		2	1	1	1		3	1	3	1	1			
	源池	13	1	1	1		1	1	1	1	1	5	1	3	1	1			
	筑摩	15	2	2	1		1	1	1	1		5	2		1	1	3		
	旭町	18	2	2	1		1	1	1	1		5	1		1	1	0		
	田鎌	16	1	2	1		1	1	1	1	1	4	1	4	1	1	1		
	清島	34	2	2	1		2	1	1	1		4	2	1	1	2			
	中島	24	2	2	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1			
	山立	30	2	2	1		2	1	1	1		3	2	1	1	1			
	芝菅	8	1	1	1		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1		
	菅野	15	1	1	1		1	1	1	1		3	1	1	1	1	1		
	寿	19	1	2			1	1	1	1		0	1	1	1	1	1		
	山	23	2	2	1		1	1	1	2		5	1	1	1	2	1		
	美ヶ原	32	2	2	1		2	1	1	1		5	2	1	1	2	1		
	井	27	2	2	1		2	1	1	1	1	4	1	1	1	1	0		
	柳	17	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1			
	賀	3																	
	野	23	2	2	1		1	1	1	1		2	1	1	1	1			
	大奈	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1			
	梓	27	2	2	1		2	1	1	1	1	4	2	1	1	2	2		
	波	18	2	2	1		1	1	1	2		2	0	1	1	1	1		
	16	2	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	13	1	1	1		2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1			
	15	2	1	1		1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1			
	8	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2				
	6	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	6	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	30	2	2	1		1	1	1	1	1	3	1	1	1	2	1			
	31	2	2	1		2	1	1	2		2	1	1	1	1				
中学校	総計	259	37	26	20	32	39	20	12	18	0	37	36	12	18	23	18		
	水内	18	2	2	1	2	2	1		1		3	1		1	1	1		
	丸内	19	2	2	1	2	2	1		1		8	3		1	2	1		
	旭町	12	2	1	1	1	2	1	1	1		2	2	1	1	1	2		
	桐分	14	2	2	1	1	2	(1)	(1)			3	1	1	(1)				
	松島	16	2	2	1	2	2	1	1	1		2	2	1	1	1			
	高網	13	2	1	1	1	2	1	1	1		1	2	1	1	1	1		
	菅野	18	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2	1	1	1	1		
	筑野	25	3	2	2	2	2	1	1	1		2	4	1	1	1	1		
	山辺	13	2	1	1	2	2	1	1	1		1	1	0	1	1			
	開成	16	2	1	1	2	2	1	1	1		5	1	1	1	1	2		
	女羽	14	2	2	1	2	2	1	1	1		2	1	1	1	1	2		
	あ明	2	1				2	1	1			1	1	1	1				
	信善	11	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1			
	会安	14	2	2	1	2	2	1	1	1	1	2	2	6	1	1			
	野	5	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	1	1	2	2		
	大奈	3	2				2	1					1	1	1	2	1		
	梓	3	1		1	1	2	1		1	1	1	1	1	1	2	1		
	波	19	2	1	2	2	2	1	1	1		1	2	1	1	2	1		
	松原	17	2	2	1	2	2	1	1	1		1	2	1	1	2	1		
	分校	3	1	1	1	1	2	1	1	1		1	2	1	1	1	1		
鉢盛	18	2	2	2	2	2	1	1	1		2	4	1	1	2				
幼稚園	総計	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1		
	本郷	7												1		1			
	本郷南	4												1		1			
	4												1		1				

資料：学校教育課

- (注)1 中学校計には旭町中学校桐分校、鉢盛中学校は含まない
(注)2 更衣室、便所及びコンテナ室は室数に含めない
(注)3 幼稚園の多目的は遊戯室を示す
(注)4 安曇・大野川・奈川の中小併設校では共用している室がある

保 健 室	放 送 室	教 材 室	資 料 備 室	準 備 室	学 習 室	そ の 他	計	学 校 名
28	28	28	106	41	15	1,193	計	智池摩町川田水内山立沢野川田ひ辺(美ヶ原)井明善郷子柳川川田
1	1	1	5	1		50	開源	智池
1	1		4			37	旭	摩町
1	1		5	4	0	47	田	川
1	1	1	4	5	5	49	鎌	田
1	1	1	5	1		46	清	水
1	1	1	5	2		63	島	内
1	1	1	3			46	中	山
1	1	1	4	3		55	島	立
1	1	1	3			31	芝	沢
1	1	1	4			35	菅	野
1	1	1	4		0	50	芳	川
1	1	4	4	1	2	58	岡	田
1	1	3	4			59	あ	ひ
1	1	1	4		4	36	山	辺
1	1	1	4		1	7	(美ヶ原)	井
1	1	1	4	4		4	今	明
1	1	1	4	2		29	開	善
1	1	1	4	7		58	明	郷
1	1	2	4	2	1	47	本	子
1	1	1	4	2		42	二	柳
1	1	1	2	4		35	並	
1	1	1	4	5		41	四	
1	1	1	4			26	安	
1	1	3	2			19	大	川
1	1	1	1			18	奈	川
1	1	1	4		1	15	梓	田
1	1	1	4		1	51	波	
1	1	1	4		1	54	波	
保 健 室	放 送 室	教 材 室	資 料 備 室	準 備 室	学 習 室	そ の 他	計	学 校 名
18	17	3	152	17	8	821	計	水田内町校島綱野野辺成羽ひ善明田曇川川田
1	1		10			48	清	水
1	1	1	8			57	鎌	田
1	1		9			42	丸	内
1	1		8	3		45	旭	町
1	1		8	(2)		(6)	桐	校
1	1		8	2		46	松	島
1	1		9	1	1	42	高	綱
1	1		9			47	菅	野
1	1		9	3		62	筑	野
1	1		7			37	山	野
1	1		12			52	開	辺
1	1		7		1	42	女	成
1	1		7	1		7	あ	羽
1	1		7	4		41	明	ひ
1	1	0	8			48	信	善
1	1		10	3		36	会	明
1	1		2			13	安	田
1	1	1	4		2	21	大	曇
1	1		4			16	奈	川
1	1		10			49	梓	川
1	1		10			48	波	田
1	1	1	1		1	22	松	原
1	1		9	2		54	鉢	盛
3	0	0	0	0	3	28	計	計
1					1	11	松	本
1					1	8	本	郷
1					1	9	本	南

(3) 小・中学校水泳プール設置状況 (R4.5.1)

区分	学校名	設置年月日	水槽規格(単位m ³)	付帯設備・備考 (※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯)
小 学 校	開智小学校	昭40.7	0.90 0.60 25X15.4X1.10 14X 6X0.80	更衣室、便所、足洗場
	源池小学校	平元.11	1.15 25X 13X1.25 10X 6X0.60	
	筑摩小学校	平25.3	1.00 0.60 25X 12X1.20 10X 10X0.70	
	旭町小学校	昭36.7	1.00 25X 10X1.25 10X 5X0.70	(平4 本体改修) (平2 2 本体改修)
	田川小学校	平14.3	1.20 0.70 25X 10X1.30 8X 10X0.80	
	鎌田小学校	平27.6	0.90 0.60 25X11.6X1.10 8X 10X0.70	更衣室、便所、倉庫
	清水小学校	平13.3	1.20 0.70 25X 13X1.30 10X7.5X0.80	
	島内小学校	平2.7	1.20 0.70 25X 13X1.30 13X 7X0.80	更衣室、便所
	中山小学校	平8.1	1.20 0.70 25X 13X1.30 10X7.5X0.80	更衣室、便所
	島立小学校	平4.7	1.20 0.65 25X 13X1.30 15X 5X0.75	更衣室
	菅野小学校	平29.3	0.90 0.60 25X13.6X1.10 12X 10X0.70	更衣室、便所、倉庫
	芝沢小学校	昭48.8	1.10 0.60 25X11.8X1.20 10X 8X0.70	(平2 本体改修)
	寿 小学校	平24.6	0.90 0.60 25X13.6X1.10 12X10X0.70	
	岡田小学校	平10.7	1.20 0.70 25X 13X1.30 10X7.5X0.80	便所
	今井小学校	昭52.5	1.20 25X13.5X1.25 13X 9X0.70	(平2 5 設備改修)
	開明小学校	昭46.7	0.85 0.50 25X11.8X0.95 8X 10X0.55	(平2 6 本体改修) (平2 9 設備改修)
	芳川小学校	昭50.4	1.20 0.70 25X13.6X1.30 13.6X 5X0.80	(平2 7 本体改修)
	山辺小学校	昭50.4	1.00 0.65 25X13.6X1.15 15X4.5X0.70	更衣室、便所 (平2 3 設備改修)
	本郷小学校	平9.3	1.20 0.70 25X 13X1.30 12.5X 6X0.80	
	明善小学校	昭49.7	1.25 0.50 25X13.6X1.45 14X 8X0.55	(平2 5 本体改修)
	二子小学校	昭54.7	1.10 0.60 25X13.6X1.25 12X 10X0.70	更衣室、便所 (平2 9 設備改修)
	並柳小学校	昭58.7	1.15 0.75 25X 13X1.25 13X 7X0.80	更衣室、便所
	四賀小学校	平25.4	0.90 0.60 25X 13X1.20 10X7.5X0.70	更衣室、便所
	安曇小学校	平9.8	1.10 25X10.6X1.30 25X2.5X0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器 可動式上屋
大野川小学校	平8.8	1.10 25X14.3X1.30 25X2.5X0.70	自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋	
奈川小学校	昭60.6	1.00 0.50 25X 10X1.20 10X 6X0.65	更衣室、便所	
梓川小学校	昭48.4	0.90 0.60 25X12.6X1.20 12.6X7.5X0.80	更衣室、便所 (H2 4 本体改修)	
波田小学校	昭60.7	1.00 0.60 25X 14X1.20 20X 13X0.80	更衣室、便所 (H2 4 本体改修)	

区分	学校名	設置年月日	水槽規格(単位m ³)	付帯設備・備考 (※洗眼、シャワー、浄化装置、上水道は全学校に付帯)
中 学 校	清水中学校	令元.3	1.10 25X 15X1.30	更衣室、便所、倉庫
	鎌田中学校	平15.3	1.20 25X 15X1.40	更衣室、便所
	丸ノ内中学校	平14.3	1.20 25X 15X1.40	更衣室、便所
	旭町中学校	平12.2	1.20 25X 15X1.40	更衣室、便所
	松島中学校	平9.6	1.20 25X 15X1.40	更衣室
	高綱中学校	平17.3	1.20 25X 15X1.45	更衣室
	菅野中学校	平18.3	1.20 25X 15X1.40	便所
	筑摩野中学校	平30.3	1.10 25X15.0X1.30	更衣室、便所、倉庫
	山辺中学校	昭36.8	25X11.8X1.15	更衣室、便所(平23本体改修)
	開成中学校	平7.7	1.30 25X 15X1.40	更衣室、便所
	女鳥羽中学校	平3.9	1.10 25X 15X1.40	
	明善中学校	昭54.8	1.30 25X 15X1.40	更衣室、便所(平22本体改修) (平成28設備改修)
	信明中学校	昭60.7	1.10 25X 15X1.40	更衣室、便所
	会田中学校			
	安曇中学校	平9.8	1.10 25X10.6X1.30	25X2.5X0.70 自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	大野川中学校	平8.8	1.10 25X14.3X1.30	25X2.5X0.70 自動火災報知器、更衣室、便所、足洗場、 電話、温水器、拡声機器、インターフォン、暖房機 器、可動式上屋
	奈川中学校	昭60.6	1.00 25X 10X1.20	0.50 10X 6X0.65 更衣室、便所
	梓川中学校	昭37.7	1.10 25X 15X1.30	洗体槽(平8改修)更衣室、便所
波田中学校	昭61.7	1.00 50X 17X1.20	更衣室、便所(平28本体改修) (令2濾過機更新)	
鉢盛中学校	昭42.8	1.10 25X 13X1.20	(昭62本体改修)更衣室、便所	

資料：学校教育課

(注) 安曇小中学校、大野川小中学校、奈川小中学校はそれぞれ小学校と中学校で共用

(4) 柔剣道場設置状況 (中学校)

学校名	設置年月	柔剣道場面積	附帯施設	備考
高綱中学校	H 5. 3	25m×14m=350 m ²	器具庫	
信明中学校	H 5. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鉢盛中学校	S 56. 3	28 ×18 =504	器具庫 更衣室 便所	剣道場
筑摩野中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
明善中学校	H 6. 3	25 ×14 =350	器具庫	
鎌田中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
松島中学校	H 6. 12	25 ×14 =350	器具庫	
丸ノ内中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
山辺中学校	H 7. 12	25 ×14 =350	器具庫	
清水中学校	H 8. 12	25 ×14 =350	器具庫	
開成中学校	H10. 3	25 ×14 =350	器具庫	
女鳥羽中学校	H11. 2	25 ×14 =350	器具庫	
旭町中学校	H12. 3	25 ×14 =350	器具庫	
菅野中学校	H16. 3	27 ×18 =486	器具庫 便所	旧南体育館

(5) 市立外の学校等

ア 国立

(R 4. 5. 1)

学校名	所在地	校長名	本務 教員 数	児童 生徒 数	学級 数	電話番号
信州大学教育学部 附属松本小学校	桐 1-3-1	宮下 昭夫	18	432	12	37-2216
信州大学教育学部 附属松本中学校	桐 1-3-1	宮下 昭夫	23	461	12	37-2212

イ 県立

(R 3. 5. 1)

学校名	所在地	校長名	本務 教員 数	児童 生徒 数	学級 数	電話番号
長野県松本盲学校	旭 2-11-66	関 昌浩	22	22	12	32-1815
長野県松本ろう学校	寿豊丘 820	五味 重栄	42	24	12	58-3094
長野県松本養護学校	今井 1535	渡邊 和幸	146	236	59	59-2234
長野県寿台養護学校	寿豊丘 811-88	麻田 正明	101	149	42	86-0046

資料作成：学校教育課

(注) 本務教員数は、校長、教頭及び教諭（養護教諭含む）講師（非常勤除く）の合計

ウ 私立

(R4.5.1)

学校名	所在地	校長名	教員数	児童生徒数	学級数	電話番号
才教学園小学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	25	241	14	58-0311
才教学園中学校	村井町北 2-14-47	小松 崇	13	110	6	58-0311
松本秀峰中等教育学校	埋橋 2-1-1	小宮山 淳	38	508	18	31-8311
松本国際中学校	村井町南 3-6-18	永原 経明	10	87	4	88-0047
インターナショナル スクールオブ長野 小学部	五常6387番 地1	栗林 梨恵	11	66	6	87-8418

資料作成：学校教育課

(注) 1 教員数は、校長、教頭及び教諭、講師の合計

エ 幼稚園

(R4.5.1)

幼稚園名	設置者別	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
信州大学教育学部 附属幼稚園	国立	桐 1-3-1	宮下 昭夫	12	96	4	37-2214
鈴蘭幼稚園	私立	県 1-4-23	古川 千尋	12	47	3	36-2094
聖テレジア幼稚園	私立	丸の内 9-32	白木 信一	11	70	3	33-8206
白百合幼稚園	私立	村井町南 4-6-4	青木 知子	15	92	4	86-1084
松本青い鳥幼稚園	私立	寿豊丘 606 番地 1	中島 公子	29	242	12	58-2887
松本南幼稚園	私立	野溝木工 2-6-31	幾嶋 肇	51	339	16	28-4888
松本いずみ幼稚園	私立	桐 1-4-7	田所 賢二	11	44	3	33-2553
松本神映幼稚園	私立	神林 3682	竹内 成子	23	200	9	26-7850
計				164	1,130	54	

資料作成：保育課

オ 認定こども園

(R4.5.1)

幼稚園名	所在地	園長名	教員数	園児数	学級数	電話番号
幼保連携型 認定こども園深志	深志 2-4-27	海野 暁光	22	15	3	35-9187
幼保連携型 ささべ認定こども園	笹部 3-13-25	川崎 ひろみ	34	68	6	25-0150
幼保連携型 認定こども園ふたご	笹賀 4992-1	武田 典子	25	19	3	58-2196
幼保連携型 やよい認定こども園	南原 2-11-5	大久保 葉子	16	11	4	27-3377
幼保連携型 認定こども園聖十字幼稚園	開智 1-6-25	岡野 尚子	19	80	7	32-4688
幼稚園型 認定なぎさこども園	渚 1-1-9	吉澤 曹典	10	12	3	25-0632
幼稚園型 認定こども園松本光明幼稚園	女鳥羽 1-9-16	西片 紀美子	15	104	5	33-7763
幼稚園型 認定こども園松本中央幼稚園	蟻ヶ崎 4-4-10	野川 大卓	15	68	5	36-0737
幼稚園型 松本短大幼稚園	寿台 7-4-1	銭坂 久紀	22	63	7	58-6563
地方裁量型 松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	波田 10371-3	神澤 真江	7	11	1	070-4082-0852
地方裁量型 認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 南松本キャンパス	南松本 1-22	中島 由布子	15	14	3	87-5971
地方裁量型 認定こども園インターナショナル スクールオブ長野 島内キャンパス	島内 7779-1	前島 千咲	8	24	2	88-6562
計			208	489	49	

資料作成：保育課

(注) 園児数は、幼稚園部分の数値

カ 高等学校

県立

(R4.5.1)

学校名	所在地	校長名	教員数	生徒数			電話番号
				総数	男	女	
松本深志高等学校	蟻ヶ崎 3-8-1	石川 裕之	58	917	478	439	32-0003
松本県ヶ丘高等学校	県 2-1-1	金井 繁昭	85	967	450	517	32-1142
松本蟻ヶ崎高等学校	蟻ヶ崎 1-1-54	鳥谷越 浩子	52	840	337	503	32-0005
松本工業高等学校	筑摩 4-11-1	高嶋 邦夫	52	554	522	32	25-1184
松本美須ヶヶ丘 高等学校	美須ヶ 2-1	志津 享	52	833	422	411	33-3690
松本筑摩高等学校 定時制午前部 定時制午後部 定時制夜間部 通信制	島立 2237	平林 洋一	(36)	(225)	(143)	(82)	47-1351
(11)			(103)	(60)	(43)		
[20]			(16)	(11)	(5)		
[832]			[490]	[342]			
梓川高等学校	波田 10000-1	腰原 英徹	29	321	165	156	92-2119

私立

(R4.5.1)

学校名	所在地	校長名	教員数	生徒数			電話番号
				総数	男	女	
松商学園高等学校	県 3-6-1	長野 雅弘	71	1,326	616	710	33-1210
松本国際高等学校 // 通信制	村井町南 3-6-25	永原 経明	41 [2]	584 [652]	299 [332]	285 [330]	88-0033
エクセラン高等学校	里山辺 4202	西沢 宏	29	317	175	142	32-3701
松本第一高等学校	浅間温泉 1-4-17	今井 秀幸	37	635	341	294	46-0555
信濃むつみ高等学校	南松本 1-13-26	水野 尚哉	[15]	[447]	[244]	[203]	27-3700

資料作成：学校教育課

(注) ()内は定時制 []内は通信制

(6) 大学・短大

(R4.5.1)

名 称	所在地	学(部)長氏名	教員 数	職員 数	生 徒 数			電話 番号
					総数	男	女	
信州大学本部	旭 3-1-1	学 長 中村 宗一郎	10	200	—	—	—	35-4600
信州大学 人文学部		学部長 早坂 俊廣	39	9	704	323	381	
信州大学 経済学部		学部長 廣瀬 純夫	36	11	2	2	0	
信州大学 経法学部					790	537	253	
信州大学 理学部		学部長 吉田 孝紀	59	13	868	685	183	
信州大学 医学部		学部長 中山 淳	195	39	1,339	621	718	
松本大学	新村 2095-1	学 長 菅谷 昭	88	74	1,883	1,112	771	48-7200
松本大学 松商短期大学部			14	18	450	143	307	
松本大学 大学院			23		16	9	7	
松本看護大学	笹賀 3118	学 長 上條 節子	18	5	154	23	131	58-4417
松本短期大学		学 長 木内 義勝	28	10	316	68	248	

資料作成：学校教育課

(注) 1 信州大学本部は、事務局の数

(注) 2 信州大学医学部には、医学部附属病院の教職員を含まない

(7) 特別支援教育

(R4.5.1)

校別		知的障害	情緒障害	難聴	肢体 不自由	病虚弱	信大院内 学級
小学校	学校数	25	26	1			1
	学級数	42	78	1			1
	児童数	224	524	1			7
中学校	学校数	16 (1)	17 (1)	1	1	1	1
	学級数	24 (3)	34 (2)	1	1	1	1
	生徒数	132 (20)	182 (10)	1	1	1	1
計	学校数	41 (1)	43 (1)	2	1	1	2
	学級数	66 (3)	112 (2)	2	1	1	2
	児童 生徒数	356 (20)	681 (10)	2	1	1	8

資料：学校教育課

(注) ()内は鉢盛中学校

(8) 松本市美ヶ原少年自然の家

所在地	松本市大字入山辺8961番地1358				電話	31-2052		
建築年度	平成8年度							
開設期間	4月25日～10月31日							
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修棟 研修室4室(和室34畳) 研修室1室(和室7.5畳) 厨房、浴室、ホール ・ 屋外施設 炊飯棟、屋外食卓、キャンプファイヤー場 							
使用料	大人(高校生以上)730円/日 (中学生以下の宿泊・日帰り使用及び大人の日帰り使用は無料)							
利用状況	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	小人	2,217	2,180	2,192	2,145	2,030	—	527
	大人	1,202	468	431	491	484	—	96
	合計	3,419	2,648	2,623	2,636	2,514	—	623
一般利用率	39.5%	32.4%	37.5%	42.5%	42.5%	—	37.5%	

(注1) 一般利用率とは、市内小中学校(キャンプ)以外の利用者の割合

(注2) 令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊を不可としました。

Ⅱ 学校給食と食育の推進（学校給食）

1 概 要

本市では、昭和7年に学校給食が開始されました。センター方式での学校給食は、昭和43年に鎌田に建設された給食センターからの提供に端を発し、以降、児童・生徒数、給食内容の見直し及び施設の老朽化等により、平成13年に野溝西地籍に西部学校給食センター、平成21年に原地籍に東部学校給食センターに移転し、市内小・中学校を2分し配送しています。

また、平成17年以降合併により梓川学校給食センター、波田学校給食センター、四賀学校給食センターが加わり、市内5カ所の学校給食センターから小学校25校、中学校16校に1日当たり約19,000食の安全・安心でおいしい給食を提供しています。（安曇・奈川地区の3校では、自校給食を継続しています。）

2 重点施策

(1) 食育の推進

「食に関する指導の全体計画」（毎年度改定）に沿って、計画的な食育に取り組みます。

子どもの痩身や肥満、すべての世代で生活習慣病の増加傾向が見られ、望ましい食習慣を実践していくための支援が必要となっており、児童生徒、その保護者を対象に、バランスのとれた食事を通して、生活習慣病の予防や改善に結びつける取組みを推進します。

(2) 地産地消の推進

地産地消に取り組み、安全安心な食材を使用します。

地産地消の取組みにより、梱包資材や流通コストの削減、環境へ配慮したゼロカーボンシティの取組みを推進します。

(3) アレルギー対応食について、「食物アレルギー対応マニュアル」（令和3年度末改訂）及び「アレルギー対応食提供事業実施要綱」に沿ってアレルギー対応食を提供するとともに、アレルギーに対する理解を深める情報を発信し、対応食解除についての取組みを進めます。

(4) 安全・安心な学校給食の提供

ア 衛生管理、危機管理を徹底し、ノロウイルス等の食中毒や異物混入等の事故を防止します。

イ 労働災害を防止するため、事故事例の活用等により職場点検の強化に努めます。

（令和2年度11件、令和3年度7件）

(5) 学校給食センターの再整備事業について、波田（昭和46年開設）及び梓川（昭和63年同）学校給食センターは老朽化が著しく建替えの必要があり、また、西部学校給食センターは建設から20年が経過し、大規模修繕が必要となっています。そのため、学校給食センター全体の再整備の方法について方針を決定し、基本計画を策定します。

3 学校給食の実施状況

(1) 給食実施校と人数(給食数)(令和4年5月1日)

資料：学校給食課

施設	区分	対象	学校数	学級数	児童 生徒数	教職 員数	計	栄養 士	調理員数	
									正規 ・ 2類	3類 ・ 4類
西部 学校給食センター	小学校	11	224	5,148	429	5,577	6	49	13	
	中学校	6	100	2,500	234	2,734				
東部 学校給食センター	小学校	11	209	4,769	406	5,175	5	47	13	
	中学校	7	103	2,357	251	2,608				
梓川 学校給食センター	小学校	1	30	761	58	819	2	10	4	
	中学校	1	19	461	44	505				
波田 学校給食センター	小学校	1	32	821	55	876	2	10	3	
	中学校	1	17	432	44	476				
四賀 学校給食センター	小学校	1	8	124	19	143	2	5	0	
	中学校	1	5	55	19	74				
小 計		41	747	17,428	1,559	18,987	17	121	38	
奈川小学校		1	3	11	12	23	1	2	0	
奈川中学校			2	10	8	18				
安曇小学校		1	5	29	14	43	1	0	民間 委託2	
安曇中学校			3	15	11	26				
大野川小学校		1	4	20	15	35	1	2	0	
大野川中学校			2	9	8	17				
小 計		3	19	94	68	162	3	4	2	
合 計		44	766	17,522	1,627	19,149	20	125	35	

(2) 給食費及び給食日数(令和4年5月1日)

ア 学校給食センター

区分	対象	内 訳(円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
		主食費	副食費	牛乳費	日額		
西部・東部 学校給食センター	小学校	33	186	61	280	54,320	194
	中学校	41	228	61	330	62,700	190
梓川 学校給食センター	小学校	33	186	61	280	56,280	201
	中学校	41	228	61	330	65,340	198
波田 学校給食センター	小学校	31	188	61	280	55,440	198
	中学校	38	231	61	330	64,350	195
四賀 学校給食センター	小学校	30	189	61	280	55,160	197
	中学校	36	233	61	330	66,000	200

イ 自校給食

区分	内 訳 (円)				年間給食費 (円)	給食日数 (日)
	主食費	副食費	牛乳費	日額		
奈川小学校	27	217	61	305	59,780	196
奈川中学校	30	239	61	330	64,680	196
安曇小学校	24	225	61	310	62,310	201
安曇中学校	26	246	61	333	66,933	201
大野川小学校	30	222	61	313	61,035	195
大野川中学校	33	247	61	341	66,495	195

※ パン・米飯・牛乳・給食原材料費は保護者負担

※ 人件費、維持管理費（光熱水費を含む。）は市負担

※ 年間給食費（円）は、日額×給食日数（日）で算出

※ 各学校給食センター・自校とも、5～2月末の各月10回分を同額徴収し、3月末徴収分を年間給食費に合うよう調整額とする。（年間11回で徴収し、4月末の徴収は行わない。）

(3) 給食内容

小学生から中学生にかけては体が一番成長する年代であり、一生のうちでも最も栄養量を必要とする時期です。このため、この成長期にある児童生徒の食事内容について、次の5つの点に重点をおき給食を実施しています。

- ・栄養についての配慮
- ・豊かで多様な献立の配慮
- ・地産地消や季節を大切にされた食材の購入
- ・より安全で安心な食事の提供
- ・ていねいな調理の工夫

ア 主食（令和4年4月1日）

(ア) 学校給食センター

		西部・東部 学校給食センター	梓川 学校給食センター	波田 学校給食センター	四賀 学校給食センター
米 飯	回数	週4回	週4回	週4回	週4回
	米 重 量	小学校低学年 50g	小学校低学年 60g	小学校低学年 60g	小学校低学年 60g
		中学年 70g	中学年 70g	中学年 70g	中学年 70g
		高学年 90g	高学年 85g	高学年 85g	高学年 90g
中学校 100g	中学校 100g	中学校 95g	中学校 100g		
内容	金芽米	金芽米	金芽米	金芽米	
パ ン	回数	週1回	週1回	週1回	週0.5回
	小 麦 粉 重 量	小学校低学年 50g	小学校低学年 50g	小学校低学年 50g	小学校低学年 50g
		中学年 60g	中学年 60g	中学年 60g	中学年 60g
		高学年 70g	高学年 70g	高学年 70g	高学年 70g
中学校 80g	中学校 80g	中学校 80g	中学校 80g		
内容	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	脱脂粉乳 3%	
麵	回数	—	—	—	週0.5回

	小麦粉重量	—	—	—	小学校低学年 80g 高学年 90g 中学校 110g
--	-------	---	---	---	-----------------------------------

(1) 自校給食校

		安曇小中学校	奈川小中学校	大野川小中学校
米飯	回数	週4回	週4回	週4回
	米重量	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 90g	小学校低学年 60g 中学年 70g 高学年 85g 中学校 100g	小学校低学年 70g 中学年 80g 高学年 90g 中学校 100g
	内容	大麦5%	—	—
パン	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g	小学校低学年 50g 中学年 60g 高学年 70g 中学校 80g
	内容	脱脂粉乳3%	脱脂粉乳3%	脱脂粉乳3%
麺	回数	週0.5回	週0.5回	週0.5回
	小麦粉重量	小学校低学年 115g 中学年 130g 高学年 155g 中学校 180g (麺重量)	小学校低学年 140g 中学年 160g 高学年 180g 中学校 200g (麺重量)	小学校低学年 135g 中学年 155g 高学年 175g 中学校 200g (麺重量)

イ 副食

(7) 地域食材を積極的に使用し、行事食、郷土食、季節感のある献立の配慮により、食文化を大切にした献立の工夫を行っています。

(イ) 揚げ物、焼き物、蒸し物、炒め物、あえ物、煮物等の調理形態を考慮した献立を提供しています。

(ウ) 栄養摂取の面で特に、ビタミン類、カルシウム、鉄、食物繊維の摂取に配慮しています。

ウ アレルギー対応食提供事業

(7) 本市では、食物アレルギーをもつ児童・生徒に対して平成11年1月から、個々の症状に応じたアレルギー対応食を提供しています。

西部学校給食センター	68人	安曇小中学校	2人
東部学校給食センター	44人	奈川小中学校	0人
梓川学校給食センター	14人	大野川小中学校	0人
波田学校給食センター	15人	R4.5.1現在 (西部・東部の小学校新1年は7月から対応)	
四賀学校給食センター	4人		

- (イ) 事業の実施にあたっては、「松本市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱」に基づき、学校・保護者・学校給食課との事前協議を行い、教育委員会で審査の後、給食を提供しています。
- (ウ) アレルギー専用調理室において、除去すべき食材が混入しないよう細心の注意を払い調理をします。
- (エ) 専用の容器に盛りつけ、専用ケースで各学校へ配送しています。
- (オ) 安全な給食提供のため、保護者、学校、学校給食課の連携強化をさらに図ります。

4 施設設備の概要

(令和4年4月1日現在)

施設名称	所在地	敷地面積 (延床面積)	建物構造	工事費
西部学校給食センター	野溝西 3丁目6番1号	6,969.21 m ² (3,587.61 m ²)	鉄骨造 2階建て	28億7,300万円 (用地費) 5億4,739万円 (工事請負費) 17億6,578万円 (備品購入費他) 4億7,173万円 (厨房除害施設) 8,715万円
東部学校給食センター	大字原7番地1	7,705.90 m ² (4,062.46 m ²)	鉄骨造 2階建て	26億3,038万円 (用地費) 3億7,197万円 (工事請負費) 20億6,246万円 (備品購入費他) 1億9,595万円
梓川学校給食センター	梓川梓 755 番地	1,140.55 m ² (820.55 m ²)	鉄骨造 平屋建て	2億 200万円
波田学校給食センター	波田 10286 番地1	波田小学校 敷地内 (546.35 m ²)	鉄骨造 平屋建て	1,922万円 (当初建設費) 9,513万円 (増改築費)
四賀学校給食センター	会田 1113 番地	四賀小学校 敷地内 (393 m ²)	鉄骨造 平屋建て	2億4,192万円

5 栄養摂取基準(令和4年度)

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

成分項目	児童(6~7歳)の場合	児童(8~9歳)の場合	児童(10~11歳)の場合	生徒(12~14歳)の場合
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%			
脂 質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%~30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム(mg)	290	350	360	450
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
鉄(mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA(μgRAE)	160	200	240	300
成分項目	児童(6~7歳)の場合	児童(8~9歳)の場合	児童(10~11歳)の場合	生徒(12~14歳)の場合
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

6 学校給食センター再整備事業

松本市には西部学校給食センター、東部学校給食センター、波田学校給食センター、梓川学校給食センター、四賀学校給食センターの5つのセンターで約19,000食の給食を提供しています。

これらのセンターのうち、四賀を除く4つのセンターは建設から年数が経過し、老朽化が進んでいます。とりわけ、波田センターは建築後50年、梓川センターは建築後33年が経過しており早急に対応を検討しなければならない状況にあり、また西部センターも大規模改修の時期にきています。

これらのことから、学校給食センターの再整備基本計画の策定に向けての基本的な考え方について検討しました。

(1) 再整備基本方針(案)

松本市の学校給食センター再整備に向けて、昨年度以来、複数の再整備プラン案をもとに検討を重ね、市民説明会の意見等を反映したうえで再整備基本方針案を策定しました。

ア センター方式での再整備 最新の設備・効率的な調理導線を備えた高機能センターを整備

(ア) 最大調理能力6,000食の高機能中規模センターを適地に2施設建設しリスク分散

(イ) パススルー方式のスチームコンベクションオープン等の高機能調理機を導入し効率的な調理を実施

(ウ) 東部センターを新センターと同様な機能を持つ、6,000食規模のセンターに大規模改修

(エ) 1カ所目のセンターを建設後波田学校給食センター、梓川学校給食センターを廃止

イ 質の高い学校給食の実現 波田・梓川学校給食センターの給食提供の質を維持

(ア) 2本献立(2コース)を1,500食4ライン調理にすることにより、調理時間に余裕を持たせる

(イ) 調理時間の短縮により、調理前の手作り作業の時間を増やし、メニューの多様化(手捏ね、野菜の手切り、焼き物の味付け、手作りソース等)

- (ウ) 調理食数を1,500食にすることにより、地元で採れた野菜・果物などの使用増
- (エ) 栄養士増員により食育をさらに充実させ、新入児童のアレルギー対応食の提供を7月から5月へ

ウ 運営方法 安全・安心な給食提供の継続

- (ア) 昭和43年2月に最初の学校給食センターを開設
- (イ) 現在まで児童・生徒に安全・安心な給食を提供
- (ウ) 今後も公設・公営を継続

エ 建設地 建設用地の早期選定

- (ア) 配送区域等諸条件にあった適地を選定
- (イ) 再整備計画に遅れが出ないように早期選定
- (ウ) 調整区域を含めた市内全域を対象に調査

(2) 今後の進め方

ア 市議会経済文教委員協議会に諮り、承認後早急に用地選定に取り掛かります。

イ 建設位置が決まった段階で、基本方針に基づく基本計画を策定し、新センターの建設に取り掛かります。

第3編



生涯学習の推進 (社会教育)



公民館研究集会 Zoomによるハイブリッド
開催（生涯学習課）



図書館書庫ツアー（図書館）

I 生涯学習の推進（社会教育）

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市生涯学習基本構想の精神（「学びの森づくり」）を踏まえ、松本市教育振興基本計画に掲げる、「学都松本」としてめざすまちの姿の実現に向け、学習の場である施設の整備を進めるとともに、コミュニティ活動施設と関係機関の連携による地域ごとの学習システムの確立や、住民の豊かな個性を伸ばす自発的な学習活動等への支援を通じて、地域住民が主体となって自治能力を高める学習活動の推進と生涯学習による地域づくりをめざします。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「II 公民館」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

ア 生涯学習基本構想

平成 6年3月 松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定

平成17年3月 第2次松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」策定

平成24年3月 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」へ継承

イ 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど130講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和3年度実績 277回 13,462人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

ウ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(ア) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報

b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

エ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

[登録数]（令和3年度末現在）

指導者 159名、グループ 390団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和3年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会教育施設	里山辺公民館整備事業	老朽化し、狭あいな里山辺公民館を隣接地へ移転新築し、あわせて出張所・福祉ひろばを集約しました。	450,186
	Mウイング整備事業	個別施設計画に基づき、中間補修（改修）の実施設計を行いました。	13,257
	奈川文化センター夢の森（奈川公民館）中間改修工事		6,366

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げ、解体補助(補助率1/2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和4年度）

区 分		補 助 率	限 度 額	
建 物	新 築	未設置町会等	2/3	1,000万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1/2	1,000万円（福祉関連含む）
	改 築	1/2	1,000万円（福祉関連含む）	
	増 築	1/2	600万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400万円	
	改 修	2/3	一般改修（500万円）	
		2/3	福祉関連・耐震補強（500万円）	
	既設置建物取得	1/2	800万円	
未設置建物取得	2/3	1,000万円		
土 地	敷 地 取 得	2/3	1,000万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1回のみ	
			借 地 ・ 借 家	1/2
	解 体 除 却	1/2	200万円	

※ ただし、2館目以降の限度額は、上記の金額の8割とする

(イ) 補助金交付件数

年 度	新築	改築	増築	改修	解体	取 得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
元	1	2	0	86	-	0	3	21	1	36	3	153	109,308
2	0	1	1	79	-	0	1	11	0	38	3	134	84,167
3	0	2	0	76	3	0	1	7	1	36	3	129	97,053

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成26年度～平成27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実設計を行いました。平成30年度から講堂、本館の順に6年間の計画で耐震補強工事を進めています。

(イ) 今後の取組み

令和2年度に本館I期工事に着手し、令和5年度まで工区毎部分休館で耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

- ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施
- イ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」の実施
- ウ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所として「若者カフェ」の実施
- エ 若者が主体となり、若者が住んでみたいまちの魅力をつくり出す「松本若者会議」の実施
- オ ヤングスクール、キャリアアップセミナーの実施
- カ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援
- キ ヤングキャリアメンターによる、若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業
- ク 新成人で構成する実行委員会で成人式の企画、運営の実施
- ケ 成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方を、高校生、新成人等の若者からの意見を取り入れながら、検討

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
元	342	27.3	294	5,895	2,740	3,155
2	198	27.5	297	4,304	1,565	2,739
3	178	27.9	296	3,570	1,564	2,006

(5) 松本市成人式(令和5年1月からは「ハタチの記念式典」)

新成人の門出を祝い励ますため、若者の今後の活躍を期待して毎年開催しています。平成29年度(平成30年松本市成人式)から、教育委員会が担当で取り組んでいます。

ア 年度別参加者

年度	平成30年 (平成31年成人式)	令和元年 (令和2年成人式)	令和2年 (令和3年成人式)	令和3年 (令和4年成人式)
参加者	1,860人	1,938人	803人※1	1,801人

※1 令和3年成人式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としましたが、開催を求める声が多数寄せられ、令和4年8月に「令和4年成人のつどい」として開催。

イ 成年年齢引き下げについて

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和5年1月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年4月2日からその年の4月1日までに20歳になる方を対象としています。

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	<p>あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧制松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された旧松本高等学校校舎は、昭和25年から信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。</p> <p>現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)</p>		
沿 革	<p>大正7年 松本市に高等学校設置決定</p> <p>大正8年4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校</p> <p>大正9年8月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成、2年後に講堂が建てられ全校舎落成</p> <p>昭和24年 松高校舎を信州大学文理学部校舎として使用。後に、学部再編後は人文学部校舎となる</p> <p>昭和48年4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される</p> <p>昭和52年3月 松本市は建物及び敷地の一部を約7億円で国から買い取り、文化財として保存と活用を決め、以後施設の補修等実施</p> <p>昭和54年10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設</p> <p>昭和56年2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される</p> <p>平成19年6月 本館及び講堂は重要文化財に指定される</p>		
文化財の種類	重要文化財	重要文化財指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (㎡)	備 考
ホ ー ル	1	350	353	
大会議室	4	80~100	460	
中会議室	10	30~50	691	
小会議室	5	25	188	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 人	利用総件数 件	減免団体利用件数 (減免団体数) 件	使 用 料 円
元	64,520	3,105	2,600 (266)	2,860,270
2	24,867	2,366	1,936 (244)	1,876,640
3	26,951	3,093	2,626 (228)	2,287,590

※ 耐震補強工事のため令和元年度は講堂全室を貸館停止、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月中旬～6月下旬まで貸館停止、耐震補強工事の影響で4月の講堂貸館を停止

※ 令和3年度は本館南棟について耐震補強工事の影響で部分的に貸館を制限した期間があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用を自粛した期間あり(9月上旬～下旬、1月中旬～2月下旬)

(2) 松本市教育文化センター

——宇宙や科学にふれて学べる空間——			
科学、天文、ICT（プログラミング、機械制御）について楽しみながら学べる施設です。			
位 置	松本市大字里山辺2930番地1 (旧里山辺小学校跡地)	電 話	32-7600
概 要	教育活動の中心機関として学校教育、社会教育相互に連携を図りながら児童生徒、市民に学習の場を提供しています。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建 (一部地下1階塔屋2階)	建 物 延面積	4,135.45㎡
総工費	1,338,700千円	開 館	昭和58年10月1日
休館日	月曜日(祝日の場合はその翌日)・12月29日～翌1月3日		
管理運営	昭和58年10月 財団法人松本市教育文化振興財団へ管理運営を委託 平成9年4月 松本市が直営		

ア 施設内容

	区 分	部屋数	面積(㎡)	備 考
一階	山 辺 中 間 教 室	6	212.87	・相談室(2室)、遊戯療法室、観察室、検査室、待合室
二階	教 育 館	5	189.05	・中会議室(51人収容)、小会議室(12人×4室)
	大 会 議 室	1	117.27	・75人収容
	小 会 議 室	1	87.00	・12人収容
三階	科 学 博 物 館	3	476.82	・プラネタリウム(90人収容)、科学展示室、天体観測室(塔屋2階)
	視 聴 覚 セ ン タ ー	7	765.53	・視聴覚ホール(168人収容)、研修室(42人、8人)、教材制作室(2室)、科学スタジオ(1室)

イ 使用料及び冷暖房料

室 名	区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～ 午後	午後～ 夜間	全 日	収容 人数
		円	円	円	円	円	円	人
視 聴 覚 ホ ー ル	料 金	4,400	5,440	6,600	9,340	11,430	14,790	168
	冷 暖 房	3,240	3,240	3,240	6,480	6,480	9,720	
大 会 議 室 206	料 金	1,670	1,880	2,200	3,370	3,870	5,170	75
	冷 暖 房	1,150	1,150	1,150	2,300	2,300	3,450	
中 会 議 室 201	料 金	1,150	1,360	1,570	2,380	2,780	3,670	51
	冷 暖 房	830	830	830	1,660	1,660	2,490	
小 会 議 室 200、202～ 205	料 金	310	410	520	680	880	1,110	12
	冷 暖 房	310	310	310	620	620	930	

※ 入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用する場合は、当該区分に定める額の100の200に相当する額とする

ウ 観覧料

(ア) プラネタリウム

区 分	大人	小人：中学生以下	備 考
個 人	520 円	無料	投映日及び時間 ・土曜日、日曜日、祝日 10:00～、11:15～、13:30～、14:45～ ・小中学校の長期休業中（月曜日を除く） 10:00～、11:15～
団 体 (20名以上)	410	無料	

(イ) 科学展示室

区 分	大 人	小人：中学生以下	備 考
個 人	無料 円	無料	平成27年4月1日から無料
団 体 (20人以上)	無料	無料	

エ 利用実績

年度	区分	会 議 施 設 等		プラネタリウム (天体観測室含)		科 学 展 示 室	
		件 数 (件)	使 用 料 (円)	観覧者数 (人)	観 覧 料 (円)	観覧者数 (人)	観 覧 料 (円)
元	有料	109	1,480,290	2,404	1,225,350	—	—
	無料	146	—	12,205	—	6,070	—
	計	255	1,480,290	14,609	1,225,350	6,070	—
	備考	延利用人数 29,476人		延投映日数 一般投映 特別投映	210日 153日 57日	延開館日数 285日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	
2	有料	112	1,281,520	1,319	683,240	—	—
	無料	126	—	4,918	—	2,339	—
	計	237	1,281,520	6,237	683,240	2,339	—
	備考	延利用人数 10,312人		延投映日数 一般投映 特別投映	201日 146日 55日	延開館日数 263日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	
3	有料	165	1,346,420	1,961	1,010,150	—	—
	無料	241	—	10,070	—	5,097	—
	計	406	1,346,420	12,031	1,010,150	5,097	—
	備考	延利用人数 22,746人		延投映日数 一般投映 特別投映	244日 213日 31日	延開館日数 308日 ※教文学習等の昼休み展 示室開放人数を除く。	

(3) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内10番31号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前9時～午後9時	敷地面積	1,038.74㎡
施設面積 (建物)	居 宅 122.60㎡ 茶 室 16.52㎡	施設面積 (庭園)	茶 庭 約95.75㎡ 日本庭園 約216.00㎡
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12月29日～翌1月3日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成19年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成23～28年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成29年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	円	円	円	円	円	円
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1台1回410円					

イ 利用実績

年度	開館 日数	利用 日数	利 用 内 訳				使用料 円
			公的団体等	文化団体	そ の 他	総 数	
	日	日	件	件	件	件	
元	309	170	22	113	50	185	173,100
2	307	104	1	71	40	112	66,450
3	311	145	0	57	83	140	178,620

(4) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した施設となっている「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇4855番地100	電 話	93-1122
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成15年3月31日	開 館	平成15年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度から指定管理者制度を導入 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額
施設	多目的ホール	1日1回	円 1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
元	23	184	207	533	3,456	3,989	46,200
2	6	102	108	58	1,131	1,189	15,640
3	11	135	146	100	1,707	1,807	27,080

(5) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。			
位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土、文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456 m ²
施設面積	2,448.61 m ²	建設費	1,199,300 千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

区分	9:00～17:00 (1時間につき)	17:00～21:00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	円 3,300	円 3,840	円 33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
更衣室	320	440	3,300
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の100分の130に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
元	8	172	180	36	5,185	5,221	5,400
2	1	209	210	10	3,562	3,572	440
3	8	432	440	77	3,635	3,712	3,300

「看板を切り口に、まちの未来を考える」
松本看板学講座 #6 Season2

2021年 11/5(金), 11/19(金), 12/3(金)
 全3回 18:30▶20:30 ◆対面講座&まち歩き
 会場：松本市Mウイング(中央公民館) ※新型コロナウイルス感染症による感染対策レベル5の対応はZoomによるオンライン講座となります。



◎参加費：無料 ◎定員：20名 ◎お申込み締切：11/2(火)
 ◎お申込み先：松本市役所生涯学習課 中央公民館 gakushu@city.matsumoto.lg.jp
 都市計画課 toshikei@city.matsumoto.lg.jp

※6年ほど前より看板学講座。このSeason11.12は、このSeason2の開催です。
 ※対面講座、Zoomによるオンライン講座による開催となります。状況により対面講座とZoomによる開催とを併用する場合があります。状況により対面講座とZoomによる開催とを併用する場合があります。状況により対面講座とZoomによる開催とを併用する場合があります。

今日のお題は「看板トラベル・創造編」

①11月5日(金) 18:30-20:30 Mウイングにて対面講座+看板巡検(雨天決行)
 ・対面講座：看板トラベルの歴史、看板の種類、看板のデザインについて
 ・看板巡検：まち歩きをします。スマホ、デジタルカメラを持参してください。

②11月19日(金) 18:30-20:30 Mウイングにて対面講座+トラベル企画会議
 ・対面講座：看板トラベルの歴史、看板の種類、看板のデザインについて
 ・トラベル企画会議：グループでの企画会議を行います。

③12月3日(金) 18:30-20:30 Mウイングにて看板トラベル学会発表
 ・学会発表：グループでの発表を行います。

松本看板学講座 募集チラシ (中央公民館)

令和4年度 中央公民館 中級者向け手話教室

手話で学ぶ手話教室



手話専任養成テキストを修了した程度の中級者向け教室です。
 通訳者を介さずに、ろう者とのコミュニケーションができるレベルを目指します。
 講師は松本市聴覚障害者協会のみなさんです。

令和4年 5月18日(水)~10月5日(水)
 Mウイング4階 4-4会議室 ほか

日時 水曜日 全10回 ※スケジュールは裏面参照
 星の部 午前9時30分~午前11時30分
 夜の部 午後6時30分~午後8時30分

定員 昼/夜 各15名 ※ご都合のよい時間帯をお選びください。 ※全10回の参加が原則です。

受講料 資料代 3,000円 ※初回の教室受付時にお受けします。

申込み 5月6日(金) 受付開始
 ①希望する部 ②氏名 ③住所 ④連絡先 をご連絡ください。
 電話 0263-32-1132
 FAX 0263-37-1153
 メール gakushu@city.matsumoto.lg.jp

その他 中央公民館併設の駐車場は有料(30分150円)です。ご了承ください。公共の交通手段をご利用ください。申込みが多い場合は先着順です。

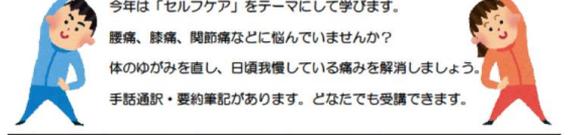
【主催】松本市聴覚障害者協会 【共催】松本市中央公民館

手話教室 募集チラシ (中央公民館)

令和3年度

聴覚障害者と学ぶ成人学校

～痛みを解消するエクササイズ～



今年「セルフケア」をテーマにして学びます。
 腰痛、膝痛、関節痛などに悩んでいませんか？
 体のゆがみを直し、日頃我慢している痛みを解消しましょう。
 手話通訳・要約筆記があります。どなたでも受講できます。

※定員30名(定員になり次第、締め切りさせていただきます。)
 持ち物：ヨガマットまたはバスタオル/動きやすい服装でご参加ください。

聴覚障害者と学ぶ成人学校 申込書

ふりがな					
氏名					
住所					
連絡先	FAX:	TEL:			
	E-mail:				
出席希望日に「○」をしてください	①	②	③	④	⑤
	10月21日	11月18日	12月16日	1月20日	2月17日
該当する番号に「○」をしてください	通訳は	1. 手話通訳が必要 2. 要約筆記が必要 3. 不要			
備考					

★問合せ・申込み★ 9月1日(水)から受付します。
 中央公民館(Mウイング2階) 担当：宮下 朝日香
 TEL 0263-32-1132 FAX 0263-37-1153
 E-mail gakushu@city.matsumoto.lg.jp

募集チラシ (中央公民館)

무료 일본어 클래스 / 免費的 日語班 / Free Japanese Class

日本語教室 無料です

日本語を学びたいひと 大募集

木曜・午前ボランティア日本語教室
 毎週木曜日 10:00▶11:30
 中央公民館 Mウイング3F [3-2会議室]

木曜午前ボランティア日本語教室 募集チラシ (中央公民館)

Ⅱ 公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和4年度中央公民館主要事業計画

	項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
全 市 対 象 事 業	第37回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)		2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
		町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(2つのブロックに分けて開催、7月) ・ブロック別研修会(8月～11月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)
		公民館報編集委員研修会	12月	公民館報編集委員の役割と意義について研修
	地 域 交 流 ・ ま ち づ くり 事 業	戦後を問う会・まつもと	通年	「人権・平和」を身近な視点でとらえなおし実践につなげる学びの場として開催
聴覚障がい者と学ぶ成人学校		10月～2月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業	
手話教室		6月～3月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催	

	項目	主な事業名	実施時期	事業内容	
全市対象事業	地域交流・まちづくり事業	第12回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会	
		工芸の五月ワークショップ	5月	身近な生活道具の製作を通じて、「工芸」に親しむワークショップ	
		日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ（原発・憲法）等について学ぶ事業	
		日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
		木曜午前ボランティア日本語教室		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
		松本市ヤングにほんご教室		通年	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援
		松本みんなのにほんご教室		4月～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
		松本版コミュニティースクール事業		通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）
		市民教育講座		3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
		松本市出前講座		通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
		第22回松本手まり時計まつり		5月	Mウイング公益施設及び利用団体と伊勢町商店街がタイアップして実施
	文化活動		芸術文化祭	4月～1月	第63回松本市芸術文化祭
			公民館活動発表会	5月	第44回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
			お城盆踊り	8月	第74回お城盆踊り
	広報活動		公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
			資料集等の作成	通年	公民館活動資料
			人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
	町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助	

(2) 令和4年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4月 ～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4月 ～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4月 ～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
体育活動	4月 ～3月	体育活動を通し、健康の保持、体育の向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民体育大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4月 ～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4月 ～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4月 ～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4月 ～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4月 ～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4月 ～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中央公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館(事務室のみ)として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館(あがたの森公民館)として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東部公民館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城北公民館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大手公民館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城東公民館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田川公民館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2F	昭和 56年度	平成 26年度	平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 昭和 34 年 4 月 同上 令和 4 年 4 月 教育文化センター内から移転	1,107.37
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	同上	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈川公民館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906.68
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 一公民館設置基準面積一

1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5,000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1F	平成 9年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 13年度		平成 13年度	
出張所 体育館	RC 2F	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 8年度		平成 25年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2F	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサー ビスセンター 体育館 南部屋 内庭球場	RC 2F	平成 4年度		平成 18年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	RC 2F	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	S 1F	平成 21年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	RC 2F	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	令和 4年度		令和 4年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所 図書館	RC 2F	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	RC 3F	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2F	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落セン ター
	RC 2F	昭和 52年度			
	RC 2F	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	SRC 2F	昭和 50年度		平成 9年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		Mウイング文化センター	
	利用件数	利用人数	利用件数		利用件数	利用人数
元	件 5,795	人 84,980	件 5,190	人 77,183	件 605	人 7,797
2	3,153	35,993	2,721	33,486	432	2,507
3	3,628	77,003	3,274	71,272	354	5,731

(2) 中央公民館の活動状況

年 度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
元	事業 3 人 240	0	1 220	9 4,882	4 526	0	2 160	28,119
2	事業 2 人 180	0	0	7 2,908	2 78	0	1 79	6,480
3	事業 2 人 54	0	-	7 1,456	3 196	0	3 5,220	- 5,094

(3) 地区公民館活動状況の変移

年度	利用件数				利用人数			
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数(貸館分)				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②件	①=A+B	A	B	②件	C	D	E
元	52,368	45,768	704	45,064	6,600	15,655	2,862	3,362
2	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095
3	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
820	1,502	97 9,384	1 413	44 748	0 0	47,014
0	0	80 1,598	1 108*	25 268	0 0	11,699
200	200	78 1,932	1 300	27 208	0 0	14,860

利用人数								
公民館活動利用人数							公民館 活動以 外の利 用人数 (貸館 分)	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C~K人	④	③+④
3,598	11,495	5,274	17,795	34,963	38,107	133,111	452,073	585,184
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568

(4) 令和3年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数					利用人数		
	利 用 総件数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活 動の利用 件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
	①+②件	①=A+B 件	A 件	B 件	② 件	成 人	女 性	高 齢 者
					C 人	D 人	E 人	
第一地区公民館	71	0	0	0	71	379	0	100
第二地区公民館	1,250	1,131	32	1,099	119	669	45	300
第三地区公民館	1,361	1,240	23	1,217	121	15	0	179
東 部 公 民 館	1,237	1,195	6	1,189	42	1,014	0	0
城 北 公 民 館	1,455	1,279	8	1,271	176	0	78	0
大 手 公 民 館	1,541	1,258	0	1,258	283	672	10	0
安原地区公民館	1,463	1,264	26	1,238	199	1,009	13	0
城 東 公 民 館	2,669	2,629	1	2,628	40	240	0	24
白板地区公民館	832	810	1	809	22	259	0	0
田 川 公 民 館	1,266	1,018	6	1,012	248	568	0	0
庄内地区公民館	2,381	2,289	1	2,288	92	40	0	0
鎌田地区公民館	2,604	2,540	41	2,499	64	410	0	0
松南地区公民館	3,416	3,206	84	3,122	210	674	0	71
島 内 公 民 館	1,551	1,440	0	1,440	111	379	0	15
中 山 公 民 館	492	433	1	432	59	175	514	679
島 立 公 民 館	905	845	9	836	60	17	0	0
新 村 公 民 館	339	57	5	52	282	965	662	0
和 田 公 民 館	430	373	4	369	57	88	19	35
神 林 公 民 館	655	602	0	602	53	384	0	0
笹 賀 公 民 館	901	888	1	887	13	0	0	0
芳 川 公 民 館	1,449	1,214	51	1,163	235	0	0	225
寿 公 民 館	591	591	8	583	0	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,102	1,044	1	1,043	58	86	47	0
松原地区公民館	1,527	1,422	0	1,422	105	238	0	0
岡 田 公 民 館	764	715	2	713	49	172	0	0
入 山 辺 公 民 館	610	577	6	571	33	212	0	0
里 山 辺 公 民 館	547	505	0	505	42	101	0	0
今 井 公 民 館	782	690	3	687	92	116	21	0
内 田 公 民 館	380	328	1	327	52	77	0	0
本 郷 公 民 館	2,041	1,953	15	1,938	88	216		
四 賀 公 民 館	35	0	0	0	35	235	15	0
安 曇 公 民 館	94	32	0	32	62	482	0	0
奈 川 公 民 館	440	171	8	163	269	352	50	0
梓 川 公 民 館	1,994	1,932	26	1,906	62	244	60	143
波 田 公 民 館	2,275	707	24	683	1,568	747	0	127
合 計	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898

利 用 人 数								
公民館活動利用人数						公民館活 動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数	
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等					
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他	公民館活 動の利用 人数		
F 人	G 人	H 人	I 人	J 人	K 人	③C~K人	④ 人	③+④人
84	0	0	39	0	205	807	0	807
0	0	0	81	61	252	1,408	8,252	9,660
10	53	186	43	25	807	1,318	10,573	11,891
0	33	0	0	396	0	1,443	7,121	8,564
0	8	702	29	10	1,230	2,057	11,122	13,179
10	15	221	0	179	902	2,009	10,135	12,144
0	66	0	54	172	686	2,000	10,756	12,756
0	0	0	6	32	107	409	28,816	29,225
0	0	0	0	29	2	290	6,758	7,048
0	93	0	1,149	313	700	2,823	8,658	11,481
178	188	0	0	236	209	851	17,668	18,519
0	548	182	266	0	367	1,773	19,507	21,280
20	161	90	31	17	2,225	3,289	26,777	30,066
890	153	43	112	6,500	431	8,523	12,564	21,087
0	275	0	22	42	632	2,339	2,616	4,955
49	56	0	194	405	403	1,124	7,106	8,230
0	131	0	113	158	673	2,702	685	3,387
	47		117	511		817	4,006	4,823
0	32	0	59	124	24	623	6,994	7,617
0	0	0	0	103	0	103	8,596	8,699
341	0	17	146	162	1,678	2,569	10,744	13,313
0	0	2,431	0	0	0	2,431	4,823	7,254
0	54	0	113	90	157	547	7,115	7,662
0	227	33	91	163	97	849	10,097	10,946
10	100	0	39	145	656	1,122	5,272	6,394
0	0	0	126	13	228	579	7,404	7,983
0	281	0	53	130	22	587	5,885	6,472
0	6	3	40	264	554	1,004	6,366	7,370
0	67	0	89	432	305	970	3,190	4,160
51	259	198	112	1,800	546	3,182	16,110	19,292
0	220	0	430	550	3,422	4,872	0	4,872
0	0	0	6	18	92	598	258	856
0	1,777	0	13	5	22	2,219	1,493	3,712
	50	30	40	55	123	745	8,234	8,979
0	444	0	4,565	3,548	2,060	11,491	13,394	24,885
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568

Ⅲ 図書館運営の充実

1 概 要

図書館は、国民の知る権利を保障するため、知識、情報を求める市民に対して、公平に、自由に、資料を提供することを目的としています。

とりわけ、今日の超少子高齢型人口減少社会、高度情報化社会が進行する中で、多様化する市民の要望に応えられる資料を収集・整理・保存・提供するとともに、市民自らが学習する場としての機能を果たし、市の教育・文化の中核的施設となることが、図書館に課せられた使命です。

この役割を果たすために、資料の収集、貸出、調査相談支援（レファレンスサービス）、予約サービス、児童向けサービスとしてブックスタート、セカンドブック事業、おはなしの会の実施、身体の障害や高齢などにより図書館に通えない方への宅配サービス、視覚障害などにより文字を読むことが困難な方へ朗読サービスの提供などを行っています。

全館での土日開館、中央図書館及び波田図書館での休日開館、パソコンコーナーの設置、インターネットや携帯電話からの予約を可能にするなど、多様化する市民ニーズに応え市民サービスの充実に努めています。

連携事業として、信州大学病院患者図書室、信州大学図書館との連携をはじめとし、多くの図書館と相互貸借を行っています。

2 沿 革

明治 24 年	5 月	松本小学校長寄藤好実氏が同校内に、「開智書籍館」と名付けて創設
明治 39 年	9 月	旧松本藩の書籍と松原栄氏等寄贈の資料充実により規則を制定。「開智図書館」と改称し市民に一般公開
大正 10 年	2 月	北深志葵の馬場武徳殿に書庫を増設して移転。「松本図書館」と改称し専任職員を配置
昭和 12 年	4 月	条例改正により「市立松本図書館」と改称し夜間開館を開始
昭和 26 年	4 月	図書館法の規定により条例、規則を大幅に改正し、参考事務、巡回文庫、視聴覚教育等の活動を開始
昭和 27 年	11 月	P T A 母親文庫を実施
昭和 39 年	4 月	条例、規則を全面改正し、日曜休館とする
昭和 43 年	1 月	開智 2 丁目に新築して開館
昭和 53 年	6 月	重度身障者家庭配本事業（やまびこ文庫）を開始
昭和 54 年	10 月	あがたの森に分館第 1 号となる「あがたの森図書館」が開館
昭和 55 年	6 月	所蔵する「宋版漢書」60 冊（慶元刊本）が、国の重要文化財に指定（現在は美術館において保管）
昭和 59 年	6 月	西部公民館図書室開室
昭和 60 年	4 月	本館の貸出方式をブラウン方式に変更（1 人 3 冊 2 週間）
昭和 62 年	4 月	南部公民館図書室開室
平成 2 年	4 月	西部公民館図書室を「西部図書館」として 2 番目の分館に位置付け
	5 月	南部公民館図書室を「南部図書館」として 3 番目の分館に位置付け、コンピュータシステムを導入し開館

平成3年	4月	寿台公民館図書室開室
	10月	本館を移転改築。コンピュータシステムを導入し開館。 松本市中央図書館に改名
平成5年	4月	寿台公民館図書室を「寿台図書館」として4番目の分館に位置付け
	6月	サンフランシスコ在住の日系二世中沢望東子氏寄贈による「中沢文庫」 開設（英語の本約2,000冊）
	7月	「ユタ日報」（寺沢畔夫・国子夫妻が、大正～平成までアメリカで発 刊した日本語新聞）全号（11,876号）受入れ
平成6年	4月	本郷公民館図書室開室。全6館がオンライン化（1人10冊2週間）
平成7年	1月	中央図書館前に「普選実現運動発祥の地」記念碑建立。併せて「普選 文庫」開設
	4月	波田町立図書館とコンピュータを結んで広域図書館協力、愛称「アル ペン・ハーモネット」を稼働開始
	8月	終戦50周年平和記念事業として中央図書館に「平和資料コーナー」 を設置 「ユタ日報復刻版」全7巻刊行
	10月	第一回「図書館まつり」開催
平成8年	10月	所蔵漢籍中から角筆文献発見
平成10年	4月	全6館に利用者検索用端末設置
平成11年	4月	本郷公民館図書室を「本郷図書館」として5番目の分館に位置付け
平成13年	4月	ブックスタート事業（乳児への絵本贈呈事業）開始 「中山文庫」が6番目の分館として開館
	5月	「島内図書館」が7番目の分館として開館
平成14年	4月	「空港図書館」が8番目の分館として開館
平成15年	9月	「あがたの森図書館」リニューアルオープン（開架スペース46㎡拡大）
平成16年	10月	中央図書館の休日開館を開始
平成17年	6月	中央図書館にパソコンコーナーを設置（常設席4台、持込席4席）
平成18年	6月	信濃毎日新聞データベースの提供を開始
	7月	朝日新聞データベース「聞蔵」の提供を開始
	10月	図書館サポーターを募集。整架、排架などの活動を実施
平成19年	4月	松本市・波田町広域図書館ネットワークに関する実施協定書の見直し により、共通カードによる相互利用を開始
	5月	インターネット予約開始
	11月	図書館広域利用事業開始（松本広域圏内の住民又は広域圏内に通勤・ 通学していれば、広域圏内9市町村のどこの図書館でも利用可能）
平成20年	10月	DVDの貸出を開始
平成21年	4月	中央図書館で9時30分開館を開始
	5月	信州大学医学部附属病院患者図書室（愛称「こまくさ図書室」）との 連携を開始（貸出、返却、予約資料の受渡し等が可能）
平成22年	3月	波田町との合併により「波田図書館」が9番目の分館となる
	7月	信州大学附属図書館との連携を開始（覚書締結） 図書館資料返却、相互貸借の活用、共催事業の実施

平成 23 年	1 月	視覚障害者用デジタル図書（デージー図書）貸出し開始
	4 月	四賀・奈川地区公民館図書室の図書館資料の返却サービス(試行)開始
平成 24 年	4 月	図書館システムの更新、携帯電話からの予約開始
	5 月	「梓川図書館開館」が10番目の分館として開館
	12 月	図書館ホームページの開設
平成 25 年	1 月	山岳図書コーナーの充実（書架の増設 1,500 冊から 3,500 冊に増）
	4 月	「図書館だより」発行（以降毎月 1 回発行）
	10 月	「学都松本子ども読書活動推進計画」策定
平成 26 年	4 月	FMまつもとの「まつもと日和」に月 1 回出演 官報情報検索サービス開始
平成 27 年	1 月	国会図書館デジタル化資料送信サービス提供開始
	3 月	「学都松本子ども読書活動推進計画」概要版を作成
平成 28 年	4 月	Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設
平成 29 年	4 月	第一法規出版法情報総合データベース「D1-low.com」サービス開始 マスコットキャラクター「ライブラリス」誕生
平成 30 年	3 月	アルプス公園「森の文庫」開設
	4 月	中央図書館の休日の翌日振替休館を廃止 図書館システムの更新、中央図書館にセルフ貸出機設置 図書館ホームページをリニューアル、My 本棚機能を追加 『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設
平成 31 年	2 月	第 2 次学都松本子ども読書活動推進計画を策定
	4 月	「西部図書館」を「鎌田図書館」へ改称
(令和元年)	8 月	「学都松本子ども読書活動推進委員会」発足
令和 2 年	7 月	「松本市中央図書館あり方検討委員会」を設置
	2 月	上記委員会から教育委員会に報告書を提出
令和 3 年	12 月	年末年始期間における貸出冊数上限を 10 冊から 15 冊に変更 (期間：令和 3 年 12 月 25 日～12 月 28 日)

3 重点施策

(1) 資料の収集と整理・保存の効率的な管理

中央図書館の蔵書数は建設時想定の 60 万冊に達したことから、将来に向けた学都松本らしい特色ある図書館のあり方を検討し、選書基準、分館からの移管基準の見直し明確化を図るとともに、資料収集の具体的な到達点の設定や除籍の適正量・基準の明確化及び地域資料のデジタル化及び IC タグ化の必要性の検討を行います。

(2) 第 2 次学都松本子ども読書活動推進計画の推進について

平成 31 年 2 月に策定した第 2 次学都松本子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが読書に親しめる環境づくり、子ども読書活動を広め、支える人材の育成、環境整備を推進するための連携体制づくりを着実に推進します。

(3) 松本市図書館未来プランの策定

新たな市民ニーズや社会の要請を踏まえ、新しいつながりや交流の拠点となる図書館や市民の生涯を通じた学びを支える地域の情報拠点となる図書館として、サービスの充実を図るため、図書館のサービス基本計画となる松本市図書館未来プランを策定します。

(4) 図書館からの情報発信

市民に図書館をより身近に感じていただき、図書館の利用促進を図るため、図書館からの情報発信を行っています。

平成24年4月 図書館ホームページの開設

平成25年4月 「図書館だより」を月1回発行

平成26年4月 FMまつもとの「まつもと日和」に月1回出演

平成28年4月 Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設

(5) 図書館利用者サービスの充実

中央図書館では、夏期期間の土・日曜日及び休日の開館時間の延長を実施しています。

また、平成30年4月から中央図書館の休日の翌日振替休館を廃止して利用者サービスの充実を図りました。

平成30年4月に更新した図書館システムの貸出履歴保存機能や読書マラソン機能などの新たな機能を活用して、利用者の読書活動の推進や利便性の向上を図ります。

図書館ホームページのリニューアルに合わせて松本市図書館、松本市美術館コレクション、松本のたから、松本まると博物館収蔵品、国立国会図書館デジタルコレクションを横断検索できる外部サイト『松本市の地域資料検索「まつサーチ」』を開設しました。

4 事業の内容

(1) 個人貸出

全館合わせて一人10点まで2週間の貸出を行います。ただし、そのうちCD、映像資料（ビデオテープ・DVD）は合わせて5点（内、映像資料は3点）まで2週間を期限として貸出します。松本市図書館11館のどこでも貸出、返却ができます。

(2) 団体貸出

中央図書館にある団体貸出専用書架から地区公民館、保育園・幼稚園・小中学校、児童館・児童センター・児童育成クラブ、読書会等の、構成員が10名以上の団体に500冊以内で一般団体は6カ月以内、児童対象の団体は3カ月以内の貸出をします。

(3) 調査・相談（レファレンス）サービス

日常生活の中での疑問や本に関する質問などについて、図書館の資料を使って回答したり、調査研究のお手伝いをしています。

令和3年度は10,204件の問い合わせがありました。

(4) 予約（リクエスト）サービス

館内にご希望の資料が無いとき、他館からの回送、返却待ち予約を受付けています。また、館内に所蔵のない資料は、購入や国立国会図書館、県立・市町村図書館等からの相互貸借により資料を取り寄せて提供しています。

インターネットによる資料検索予約システムの普及に伴い、令和3年度のweb予約件数は、206,919件で予約総件数の87.1%を占めています。

(5) 複写サービス

著作権法第31条に基づき、所蔵資料の複写サービスを行っています。また、中央図書館では、パソコンを4台設置して、国立国会図書館デジタル化資料及び信濃毎日新聞、朝日新聞、官報、法情報総合データサービス、ジャパンナレッジLib、理科年表、日経テレコンのデー

タ資料の閲覧・複写サービスを行っています。

(6) 児童サービス

ア おはなし会

各館で、定期的にこどもの年齢に応じた絵本の読み聞かせ、おはなし、紙芝居などによる「おはなし会」を行って、子どもたちや保護者に楽しい本の世界を紹介しています。

令和3年度は、11館合計で197回(出前講座32回を含む)のおはなし会を行いました。

イ ブックスタート事業

乳児を持つ親が絵本を読み聞かせながら赤ちゃんと楽しいひと時を持っていただくことを目的として、10カ月検診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「いっしょにようね・こんにちはえほん」(0歳～3歳対象)を配布しています。

令和3年度は、1,394人に配布しました。

ウ セカンドブック事業

ブックスタートのフォローとして、いろいろなことに興味を持ち始める時期に、子どもの心と言葉が豊かに育まれる親子で絵本を楽しむ時間のきっかけづくりを目的として、3歳児健診時に、絵本1冊と図書館で作成した絵本リスト「なかよしえほん」(3歳～5歳対象)を配布しています。

令和3年度は、1,635人に配布しました。

(7) 障害者サービス

ア やまびこ文庫

心身の障害や高齢等で図書館へ来館するのが難しい方を対象に、図書館の本、CD、カセットテープ、点字図書、デイジー図書を、毎月1回、自宅や入居施設に配達しています。

令和2年度は、61人に4,714冊の宅配を行いました。

イ 対面朗読

視覚障害者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、中央図書館の対面朗読室や自宅にて、利用者の要望に応じて、ボランティア団体「朗読ふれあいの会」が対面朗読をしています。

令和3年度は、高齢者施設等を含む7カ所で73回の対面朗読を行いました。

ウ デジタル録音図書(デイジー図書)貸出

視覚障害者、又は視覚による表現の認識に支障があり、通常の本を読むことが困難な方を対象に、視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)から借り受けたデイジー図書を、郵送により貸出しています。また、デイジー化されていない図書は、ボランティア団体「松本市朗読赤十字奉仕団ひびきの会」がデイジー図書を製作しています。

(8) 講演会・講座の開催

読み聞かせ等の各種講座や講演会、リサイクル本の提供、クリスマス会など、読書普及のための様々な催しを各館で行っています。

令和3年度は、11館合計で27回の講演会・講座等を行いました。

(9) 信州大学医学部附属病院患者図書室(こまくさ図書室)との連携

松本市図書館の分館機能を有する図書室として、入院・通院患者や一般利用者に、貸出、返却、予約資料の受け渡し等を行っています。

(10) 公民館図書室との連携

平成23年度から図書館資料を四賀地区、奈川地区の公民館図書室で返却ができるサービス

を行っています。

令和3年度は、四賀公民館図書室で179冊、奈川公民館図書室で39冊の利用がありました。

(11) 図書館サポーター制度

市民との協働による図書館づくりの一環として平成18年10月に始めた図書館サポーター制度は、館内の書架整理（返却された本を書架に戻す作業や書棚の整頓）や利用案内等を行っていただくとともに、市民目線からの図書館への意見をいただくなど、図書館サービスを支える活動を行っています。

(12) 雑誌スポンサー制度

中央図書館の図書資料（雑誌）を広告媒体として活用することにより、民間事業者の情報発信の場を提供するとともに、図書資料の充実を図ることを目的として、平成27年4月から雑誌スポンサー制度を導入しています。

令和2年度は、6社（7誌）の協力がありました。

5 施設の概要

(1) 中央図書館

旧開智学校をうつしだすガラスばりの中央図書館			
位 置	松本市蟻ヶ崎2丁目4番40号	電 話	32-0099
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	建築面積	1,932.25㎡
延床面積	4,831.64㎡	開 館	平成3年10月1日
当初建設事業費	1,956,000千円	施 設	書庫はスチール製積層式2層 身障者用便所、車椅子用スロープ完備
開館時間	平日：9時30分～19時 土・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日（以降「休日」という）：9時30分～17時		
休 館 日	月曜日（休日のときは開館し、翌日振替休館。翌日も休日の場合は振替休館なし。）、 12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日にあたるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(2) 南部図書館

カリヨンのひびくなんなんひろばの南部図書館			
位 置	松本市芳野4番1号	電 話	26-1083
構 造	鉄筋コンクリート造3階建の内	面 積	530.9㎡
開 館	昭和62年4月 図書室 平成2年5月 分館		
開館時間	平日・土曜日：10時～22時 日曜日：10時～17時		
休 館 日	火曜日、休日、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(3) あがたの森図書館

ヒマラヤ杉とけやきの森に囲まれた木造のあがたの森図書館			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1761
構 造	木造2階建の内	面 積	198.31 m ²
開 館	昭和54年10月1日		
開館時間	平日：10時～19時 土・日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(4) 鎌田図書館

風見鶏の見守る中、子どもたちの元気な声のひびく鎌田図書館			
位 置	松本市両島5番50号	電 話	26-0341
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建の内	面 積	245.68 m ²
開 館	昭和59年6月 図書室 平成2年4月 分館		
開館時間	平日：10時～18時 土・日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(5) 寿台図書館

山のふもとの、小さい白い土蔵造りの寿台図書館			
位 置	松本市寿豊丘649番地1	電 話	58-7167
構 造	鉄筋コンクリート造2階建の内	面 積	216 m ²
開 館	平成3年4月 図書室 平成5年4月 分館		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(6) 本郷図書館

桜並木に囲まれた、かわら屋根の本郷図書館			
位 置	松本市浅間温泉2丁目9番1号	電 話	46-1262
構 造	鉄筋コンクリート造2階建の内	面 積	220.80 m ²
開 館	平成6年4月 図書室 平成11年4月 分館		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(7) 中山文庫

のどかな山間に、レトロなバスがシンボルの中山文庫			
位 置	松本市大字中山3533番地1	電 話	58-5666
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建	面 積	669.88 m ²
開 館	平成13年4月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(8) 島内図書館

北アルプスを望む、田園地帯に文化薫る島内図書館			
位 置	松本市大字島内4970番地1	電 話	48-2711
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	面 積	470.1 m ²
開 館	平成13年5月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(9) 空港図書館

空の玄関、信州まつもと空港に隣接し、緑豊かな松林の中の空港図書館			
位 置	松本市大字今井4237番地1	電 話	86-8460
構 造	鉄骨造平屋建	面 積	408.25 m ²
開 館	平成14年4月		
開館時間	火～日曜日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(10) 波田図書館

緑豊かな河岸段丘に、子どもの笑顔があふれだす波田図書館			
位 置	松本市波田10106番地1	電 話	92-7503
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建の内	面 積	1,106 m ²
開 館	平成7年4月（旧波田町立図書館として開館） 平成22年3月31日 合併により松本市「波田図書館」となる		
開館時間	4月～11月 火～金曜日：10時～19時 土・日曜日・休日：10時～17時 12月～3月 火～日曜日・休日：10時～17時		
休 館 日	月曜日、休日の翌日（当該日が土曜日、日曜日又は休日に当たる時は、当該日以後の休館日を除いた最初の平日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

(11) 梓川図書館

大きなガラス窓と、太陽光発電設備を備えた梓川図書館			
位 置	松本市梓川倭562番地1	電 話	76-2070
構 造	鉄骨造2階建	面 積	595.35 m ²
開 館	平成24年5月11日		
開館時間	火～日曜日：10時～18時		
休 館 日	月曜日、休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日）、12月29日～翌年1月3日 資料整理日／毎月第4金曜日（その日が休日に当たるときはその前日） 特別整理期間／年間15日以内		

第2次学都松本子ども読書活動推進計画 概要版

子どもと本をつなぐまち



松本市は、子どもが身近な場所で遊んで本に親しみ、自ら学び知る楽しさを体得し、一人ひとりが自由に読書を楽しみ、未来を拓く豊かな心と生きる力を育むための読書環境の整備を推進するため「第2次学都松本子ども読書活動推進計画」を策定しました。

計画期間 平成31(2019)年度から平成35(2023)年度までの5年間

基本方針 子どもが自由に読書を楽しみ、未来を拓く豊かな心と生きる力を育むために

子どもの読書活動を支える3本の柱

- 1 子どもが読書に親しめる環境をつくります
- 2 子ども読書活動を広め、支える人を育てます
- 3 連携のための体制をつくります

計画の対象

- おおむね18歳までの子どもと保護者をはじめとする子どもに関わるすべての人や関係機関

松本市教育委員会

3歳児健診の際には、この案内を必ずお持ちください

3歳児健診の際には、この案内を必ずお持ちください
 3歳児健診の際には、この案内を必ずお持ちください
 3歳児健診の際には、この案内を必ずお持ちください

セカンドブックのおしらせ

初めて絵本と出会ってから5年、お気に入りの絵本はめいめいお気に入り？
 3歳になると言葉がわかるようになって、より絵本を楽しめるようになりますが、それは大人の手がかりが必要です。
 少しの時間、テレビを消して、親子で絵本をゆっくり楽しむ時間を持ってみてはいかがでしょうか。
 親子で絵本を楽しむことにより、お子さんの心と言葉を豊かに育み、親子の心が近づき、言葉の発達が進みます。
 絵本では、そんな時間を過ごすため、3歳児の子供に以下のおおむね5冊のセカンドブックをご紹介します。

<p>① どうぞいっしょ</p>	<p>② ちいさなねこ</p>	<p>③ こんとあき</p>
<p>④ だるまおそろじ</p>	<p>⑤ おんすけこびと</p>	<p>⑥ ひとまねこぞる</p>
<p>⑦ きよとぼいぼきよとぼいぼ</p>	<p>⑧ かいじゅうたちのいるところ</p>	<p>⑨ まるのうのこ</p>
<p>⑩ ももたろう</p>	<p>⑪ おおはげのてんぷら</p>	<p>⑫ すすて奥三にんびみ</p>

お問い合わせは松本市中央図書館へ TEL 0263-32-0066

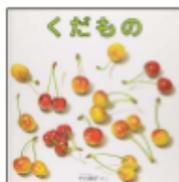
ブックスタート絵本リスト

10か月健診の会場で、この5冊の中から1冊
 プレゼントします!!!

健診会場では、図書館職員による絵本の説明をいたします。
 本やよみかかせてわからないことなど
 がありましたら、お気軽にお声をかけてください。



『がたんごんがたんごん』
 安西 水丸/作 福音館書店
 がたんごんがたんごん
 のせてくださいー
 あかちゃんをひざのせて
 しゃべつしんこう！
 親子でふれあえる絵本です。



『くだもの』
 平山 和子/作 福音館書店
 「さあどうぞ」
 やさしい語りかけとみずみずしい
 くだものに、おもわず手がのびて
 しまいます。



『くっついた』
 三浦 太郎/作 こぐま社
 手と手、ほっぺとほっぺ。
 くっつく心がほかほかどっても寄せ、
 あたかくて優しい気持ちになれます。
 さいごはおとうさん、おかあさんと
 くっついた！



『まるてん いろてん』
 中辻 悦子/作 福音館書店
 あかまる あおまる きいろいまる…
 いろんな色のまるが てん てん てん
 てるよ。まるがならんで おかおに みえて
 きた。
 ページをめくるたびに、色鮮やかなまるが
 大変身！



『じゃあじゃあびりびり』
 まつい のりこ/作 偕成社
 じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー
 みず じゃあじゃあじゃあ
 日常でよく見かけるものたちが、
 リズムよく楽しい音を奏でます。

目が見えない、見えにくい赤ちゃんとその保護者の方にも、
 絵本の時間を楽しんでいただくために、点字つきのさわる
 絵本（『てんじつきさわるえほん じゃあじゃあびりびり』）
 を用意しています。ご希望の方は中央図書館へお問い合わせ
 ください。



6 松本市図書館利用状況

	登録者数（人）			蔵書数（冊）			貸出数（冊）	
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度
中央図書館	50,794	23,262	22,119	662,949	679,480	691,771	493,516	498,985
対前年比%	92	46	95	103	102	102	95	101
南部図書館	18,410	9,342	8,813	75,688	75,184	75,601	238,772	217,410
対前年比%	94	51	94	99	99	101	92	91
あがたの森図書館	6,826	3,421	3,228	28,070	27,938	27,450	83,528	82,543
対前年比%	93	50	94	101	100	98	105	99
鎌田図書館	4,826	2,298	2,169	33,477	33,798	33,343	74,826	70,329
対前年比%	92	48	94	98	101	99	96	94
寿台図書館	5,226	2,454	2,270	27,845	28,790	29,773	74,139	66,780
対前年比%	92	47	93	104	103	103	94	90
本郷図書館	4,030	2,189	2,082	34,894	35,781	36,538	81,957	82,825
対前年比%	93	54	95	101	103	102	99	101
中山文庫	1,680	860	844	163,760	166,507	168,412	44,677	43,473
対前年比%	93	51	98	101	102	101	88	97
島内図書館	4,305	2,167	2,072	41,947	41,148	40,425	66,081	60,575
対前年比%	94	50	96	101	98	98	94	92
空港図書館	7,745	3,745	3,509	48,242	47,691	47,073	88,268	88,958
対前年比%	96	48	94	98	99	99	91	101
波田図書館	11,448	4,046	3,798	99,992	101,164	101,982	103,415	89,393
対前年比%	102	35	94	100	101	101	95	86
梓川図書館	3,377	2,380	2,233	52,548	53,988	55,231	89,268	78,976
対前年比%	108	70	94	102	103	102	89	88
合計	118,667	56,164	53,137	1,269,412	1,291,469	1,307,599	1,438,447	1,380,247
対前年比%	94	47	95	102	102	101	94	96

※ 登録者数

令和2年度末に、データの削除基準を見直しました。これまで、利用者カードの有効期限が切れてから10年以上未更新の登録者データを削除していましたが、今後は、有効期限が切れてから2年以上未更新の登録者データを削除します。

3年度	開館日数			調査相談（件）			予約（冊）		
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
576,062	266	258	288	3,703	3,304	3,761	38,691	54,912	52,296
115				144	89	114	96	142	95
251,715	249	251	279	620	346	471	35,486	42,963	46,239
116				53	56	136	100	121	108
89,935	255	248	276	1,690	1,424	1,443	17,912	23,103	22,934
109				175	84	101	112	129	99
77,815	257	248	281	627	488	355	12,089	15,913	15,723
111				288	78	73	112	132	99
70,958	257	248	281	886	651	758	14,625	18,007	17,278
106				62	73	116	104	123	96
93,818	257	248	281	597	512	721	12,199	16,555	15,107
113				141	86	141	116	136	91
48,770	255	248	281	434	552	500	6,342	6,891	7,259
112				26	127	91	93	109	105
70,347	256	248	280	469	525	694	10,278	14,209	16,325
116				116	112	132	104	138	115
101,422	256	248	280	941	980	911	12,437	16,338	16,565
114				84	104	93	97	131	101
97,775	257	248	281	634	463	419	11,608	14,313	12,921
109				131	73	90	104	123	90
85,114	256	248	280	262	221	171	9,929	14,330	14,938
108				93	84	77	103	144	104
1,563,731	—	—	—	10,863	9,466	10,204	181,596	237,534	237,585
113				101	87	108	102	131	100

臨時閉館

令和元年度	全館	新型コロナウイルスの影響	3/4～3/31 (25日は開館)
令和2年度	全館	新型コロナウイルスの影響	4/1～5/15
令和3年度	あがたの森図書館	あがたの森文化会館耐震補強工事に伴う移転のため	3/25～4/6

7 団体貸出等利用状況（中央図書館）

団体区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年間利用冊数	施設団体数	年間利用冊数	施設団体数	年間利用冊数	施設団体数
	冊	団体	冊	団体	冊	団体
読書会	470	2	398	1	391	1
高齢者施設	1,233	7	1,597	5	1,513	5
児童施設	8,745	28	9,167	25	9,528	23
学 校	1,897	8	499	4	1,053	7
地区公民館	9,400	12	8,791	12	10,035	13
市施設等	2,141	2	1,405	3	2,767	4
計	23,886	59	21,857	50	25,287	50
障害者等家庭配本	4,618	人 62	4,461	人 64	4,714	人 61

第4編



歴史・文化遺産の保護と活用

(文化財、博物館、松本城)



夏休み子ども勉強会の様子



第10期 市民学芸員養成講座

I 歴史や文化を活かしたまちづくりの推進

1 概要

松本市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、多くの有形文化財が存在しています。また、地域に伝わる伝統的行事や技術など無形の文化財も、先人たちの努力によって今日まで引き継がれてきました。このような歴史や文化を守り、継承していくため、有形・無形または指定・未指定の文化財を総合的に把握し、文化財を活かしたまちづくりを市民が主体的に取り組みながら、積極的な整備と活用を目指します。

2 沿革

昭和31年4月	松本市文化財保護条例制定
昭和33年3月	松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則制定
昭和36年1月	筑摩神社拝殿ほか6件を松本市重要文化財等に指定（初めての市指定文化財）
昭和51年2月	弘法山古墳が史跡指定
昭和57年7月	松本市文化財保護事業補助金交付要綱制定
平成9年2月	針塚古墳が長野県史跡指定
平成12年6月	松本まるごと博物館構想策定
平成22年2月	特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画策定
平成22年4月	殿村遺跡史跡整備事業開始
平成23年6月	松本市歴史的風致維持向上計画認定
平成25年4月	松本市歴史文化基本構想策定事業開始
平成26年4月	松本市文化財保護事業補助金交付要綱一部改正
平成29年2月	小笠原氏城跡が史跡指定
平成29年3月	特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理計画（改訂版）策定
平成30年2月	松本市歴史文化基本構想を策定
平成30年11月	まつもと文化遺産認定制度施行
平成31年2月	松本市文化財保存活用地域計画を策定 史跡小笠原氏城跡に林城跡小城が追加指定
令和元年4月	松本市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を創設
令和元年7月	松本市文化財保存活用地域計画を国が認定
令和元年9月	旧開智学校校舎が国宝指定
令和2年2月	特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を策定
令和2年3月	同天然記念物に指定地域が追加
令和2年5月	特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用計画を国が認定
令和4年3月	史跡小笠原氏城跡保存活用計画を策定

3 重点施策

(1) 文化財の保護

ア まつもと文化遺産活用事業

本市の文化財の保存活用のマスタープランとして平成29年度に策定した松本市歴史文化基本構想に基づく活用事業として、平成30年度からまつもと文化遺産活用事業に取り組んでいます。平成30年度に設置した「まつもと文化遺産保存活用協議会」を引き続き開催し、歴史文化基本構想で設定した関連文化財群（165件）の中から「まつもと文化遺産」を認定するとともに、認定済みの5件に対し、補助金等の支援策を講じます。

イ 殿村遺跡史跡整備事業

虚空蔵山を中心とする中世の宗教的遺跡と推定されている殿村遺跡について、発掘調査及び周辺一帯の総合調査を実施し、遺跡の全容を明らかにして史跡整備を実施するものです。

平成29年度をもって完了した現地調査（発掘・文献・景観・地名ほか）の成果を令和2年度に総合調査報告書として刊行し、中世の宗教空間を構成する遺跡群として文化財的な価値付けを行いました。総合調査によって明らかとなった遺跡群の文化財的価値をふまえ、史跡指定を目指した準備を行います。

ウ 小笠原氏城館群史跡整備事業

中世に信濃守護を務めた小笠原氏の本拠である井川城跡及び林城跡（大城・小城）の3城跡について、保存活用計画を策定した上で史跡整備事業に取り組むものです。令和2年度に保存活用計画策定に着手し、令和3年度に計画を策定しました。

エ 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

白色の温泉水がもたらした特殊な地形である特別天然記念物「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」を、学びながら安全に見学できるよう整備を進めるものです。令和2年2月に保存活用計画、令和3年3月に整備計画、令和4年3月に整備実施計画を策定し、保存と活用内容について具体化しました。また、令和3年度は、令和6年度の公開に向けて支障木の伐採などの保存整備を実施しました。

令和4年度は、観察路などの測量設計を行うとともに、地元機運を高めるための見学会を開催します。

オ 史跡弘法山古墳再整備事業

3世紀末に築造され、東日本最古級の前方後方墳である弘法山古墳は、史跡指定から46年を経て桜の名所としても知られています。しかし、本来の古墳としての史跡の価値が十分に周知されていないため、古墳の外形や墳丘の規模を確認するための発掘調査を実施したうえで保存活用計画を策定し、周辺の古墳も含めた史跡ゾーンとして再整備を行います。

(2) 文化財の活用の推進

ア 松本市文化財ホームページ「松本のたから」の設置

松本市公式ホームページ内に、松本市内にある指定等文化財を紹介するページを設置し、広く周知を図っています。また、令和2年度からSNSによる情報発信を開始し、Facebookに「まつもとの文化財」を開設しました。令和3年度には、Instagramによる発信も開始し、周知の拡大を図っています。

イ 報告会・講演会等の開催

埋蔵文化財の発掘調査の成果等について、広く市民に知っていただき、地域の歴史に対する理解を深めるため、年間を通して現地説明会や展示会、講演会などを開催するとともに、地域の生涯学習講座などに講師を派遣します。

また、新たに、YouTubeを活用した発掘調査成果等の動画配信にも取り組みます。

4 令和3年度の事業内容

(1) 文化財の保存・管理 [文化財保護法、松本市文化財保護条例]

ア 文化財の指定等

(ア) 国指定文化財

指定はありませんでした。

(イ) 県指定文化財

指定はありませんでした。

(ウ) 市指定文化財

- ・シガウスバハギ 特別天然記念物
- ・廣澤寺文書 重要文化財（古文書）
- ・倉科家文書 重要文化財（古文書）
- ・立石清重関係文書 重要文化財（古文書）

(エ) 国登録有形文化財

- ・牛伏川第2号、3号、4号、5号堰堤
- ・旧小澤家住宅4棟（主屋、離れ、北土蔵、南土蔵）
- ・旧松岡医院

(オ) 市登録文化財

- ・旧今井京染店2棟（店舗兼主屋、土蔵）

イ 市所有文化財の保存整備

市が所有する文化財を適正に保存・管理するため、破損・腐朽箇所の修理、補修や活用のための整備等を実施しています。

令和3年度は、以下の事業を実施しました。

- ・県史跡針塚古墳石段補修
- ・県宝橋倉家住宅給水管改修雨樋補修
- ・市特別史跡及び天然記念物槻井泉神社の湧泉とケヤキ環境整備
- ・市特別史跡戸田家廟園補修整備

ウ 文化財に関する調査

文化財的価値を把握し、指定等の必要性を検討するため、文化財審議委員会の委員等とともに、市内にある文化財の調査を実施しています。

令和3年度は、以下の文化財の調査を実施しました。

- ・稲核菜のお菜洗い
- ・安曇の風穴
- ・松本押絵雛の制作

(2) まつもと文化遺産活用事業

まつもと文化遺産保存活用協議会を2回開催し、ロゴマークや認定団体の活動評価制度の導入などを検討しました。令和3年度は、「まつもと文化遺産」の新たな認定はありませんでしたが、引き続き認定遺産の活動団体に対し補助金の支援を行うとともに、認定候補地区への助言や制度の周知を行いました。

(3) 埋蔵文化財保護事業 [文化財保護法]

ア 発掘調査

文化財保護法の規定に基づき、埋蔵文化財の状況を確認するための試掘調査や、各種開発により破壊される埋蔵文化財を記録保存するための発掘調査を行いました。

(ア) 補助事業 2件1遺跡（松本城本丸跡4次・松本城外堀南外堀4次）

松本城外堀跡南外堀4次

松本城南・西外堀整備事業に伴い、松本城の南外堀跡において、二の丸側の堀の形状を確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、外堀の二の丸側端部の位置、また堀に並行して敷設された土留め及び防御のためと考えられる杭列を確認しました。引き続き試掘確認調査を実施し、南外堀の形状の確認を行います。

(イ) 受託事業 2件1遺跡（県町遺跡21次、22次）

県町遺跡22次調査

県1丁目を中心に展開する弥生時代から中世までの複合遺跡で、これまでの調査では竪穴

住居跡 200 軒、緑釉陶器や金属製品などの貴重な遺物が出土しております。民間企業の土地利用に先立って実施された今回の発掘調査では、平安時代を中心に弥生時代から中世までの集落跡を確認し、黒曜石製の帯飾りや皇朝十二銭などの重要な遺物が出土しました。令和 4 年度は整理作業を進め、調査報告書を刊行する予定です。

- (ウ) 市単独事業 3 件 1 遺跡 (松本城三の丸跡土居尻 1 4 次、1 5 次、松本城三の丸跡柳町 7 次、市内遺跡確認調査)

松本城三の丸跡土居尻 1 4 次調査

調査地は松本城南総堀に面した三の丸の武家地にあたります。江戸時代の遺構は近年の開発などの影響により破壊が著しかった一方、松本城築城以前の中世の遺構面が良好に残り、囲炉裏とみられる遺構や同時代の遺物が多く出土しました。松本城築城以前の整地跡も見つかっており、同時代の土地利用を探るうえで貴重な手掛かりを得ることができました。

イ 整理作業・報告書作成

- (ア) 受託事業 2 件 1 遺跡 (県町遺跡 2 1・2 2 次)

室内整理作業を実施し、2 1 次調査は発掘調査報告書を刊行しました。

- (イ) 市単独事業 6 件 2 遺跡 (県町遺跡 1 6・1 7 次、松本城三の丸跡土居尻 5・9・1 1 次、松本城三の丸跡大名町 3 次)

室内整理作業を実施し、松本城三の丸跡土居尻 5 次調査は発掘調査報告書を刊行しました。

ウ 発掘報告会の開催

令和 3 年に実施した発掘調査の成果について、動画配信による発掘報告を行いました。6 件の配信で延べ 1, 900 回の再生回数がありました。

エ 試掘等の市内遺跡確認調査

年度	試掘確認調査	工事立会調査
令和元年度	3 6 件	2 8 2 件
令和 2 年度	2 9 件	2 6 2 件
令和 3 年度	3 4 件	2 3 6 件

オ 文化財保護法に基づく文書進達事務

年度	9 2 条届出(調査)	9 3 条届出(民間工事)	9 4 条通知(公共事業)
令和元年度	0 件	3 2 4 件	2 2 件
令和 2 年度	1 件	3 4 3 件	3 9 件
令和 3 年度	2 件	3 7 5 件	3 1 件

(4) 殿村遺跡史跡整備事業

ア 史跡指定に向けた検討

遺跡の価値付けについて文化庁、調査指導委員会と協議を行いました。

イ 普及公開事業

遺跡の価値を市民に周知するための講演会を開催しました (参加者数: 1 1 9 名)

(5) 小笠原氏城館群史跡整備事業

ア 史跡小笠原氏城跡保存活用計画の策定

史跡小笠原氏城跡 (井川城跡、林城 (大城、小城)) の今後の保存活用、整備の基本方針等を定める保存活用計画を策定しました。

イ 普及公開事業の実施

史跡小笠原氏城跡に係る講演会を開催し、城跡の魅力や文化財的価値の市民周知を図りました (参加者数: 9 6 名、動画再生回数 4 9 5 回)。

(6) 史跡弘法山古墳再整備事業

ア 史跡弘法山古墳発掘調査の実施

墳丘の規模や形状を明らかにするため、昭和49年(1974)以来となる発掘調査に令和2年度に着手しました。令和3年度も引き続き発掘調査を実施し、墳丘裾部等を確認しました。

イ 周辺古墳群の測量調査の実施

東海大学との協働事業として、史跡弘法山古墳周辺の古墳の測量調査を実施しました。

(7) 白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存整備事業

ア 整備実施計画の策定

保存活用協議会で協議のうえ、観察路や安全柵などの数量や設置位置など、整備内容を具体化しました。

イ 公開エリアの環境整備の実施

噴湯丘などの公開を予定するエリアで、保存や観察に支障のある樹木・落ち葉などを除去し、見どころの把握に取り組みました。

ウ 見学会の開催及び学校学習支援

地元旅館従業員や地元小学生を対象にした見学会を実施し、文化財への理解を深めるとともに、活用に向けた機運を高めました(延べ5回開催・62名参加)。

(8) 文化財保護のための補助事業

[松本市文化財保護条例、松本市補助金交付規則、松本市文化財保護事業補助金交付要綱]

ア 文化財保護事業補助金交付制度概要

貴重な文化財を後世に引き継ぐため、文化財所有者等の負担を軽減する措置として、松本市文化財保護事業補助金交付制度を昭和57年に制定しました。

令和元年度には、松本市文化財保護事業補助金交付要綱の改正を行い、市登録文化財等の修理等事業に対する補助制度を新たに創設しました。

対象事業	補助対象経費	補助額
1 文化財保護法(昭和25年法律第214号。以下「法」という。)の規定による国の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から国及び県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の6以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
2 文化財保護条例(昭和50年長野県条例第44号)の規定による県の補助金の交付を受けた事業	当該事業に要する経費から県の交付する補助金を控除した額	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。
3 松本市文化財保護条例(昭和51年条例第41号。以下「条例」という。)の規定による指定文化財・選定保存技術の管理及び保護のために行う事業	(1) 修理事業 指定文化財の保存のために 行う修理及び環境整備事業に 要する経費のうち、市長が認 めた経費 (2) 管理事業 指定文化財の保護のために 行う防災上の工事及び修理に 要する経費のうち、市長が認 めた経費	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が500万円を超えるときは500万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。

	<p>(3) 伝承事業 指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に要する経費</p> <p>(4) 保存事業 選定保存技術の伝承者の養成及び技術の練磨のために必要な事業に要する経費</p>	市長が別に定める額
	<p>(5) 松本城下町の舞台の保存のために行う修理事業に要する経費のうち、市長が認めた経費</p> <p>(6) 戸田家廟園、水野家廟所、御殿山小笠原家廟所及び広沢寺小笠原家墓所の保存のために行う修理事業に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が700万円を超えるときは700万円とする。ただし、災害復旧に係る場合は、10分の6以内の額とし、その額が1,000万円を超えるときは1,000万円とする。
4 法の規定による登録有形文化財(松本市近代遺産登録要綱(平成29年告示第82号)の規定により松本市近代遺産として登録された建造物に限る。)の管理及び保存のために行う事業	<p>(1) 修理事業 登録有形文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費</p> <p>(2) 管理事業 登録有形文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。
5 条例の規定による登録文化財の管理及び保存のために行う事業	<p>(1) 修理事業 登録文化財の保存のために行う修理に要する経費のうち、市長が認めた経費</p> <p>(2) 管理事業 登録文化財の保存のために行う耐震対策工事に要する経費のうち、市長が認めた経費</p>	補助対象経費の10分の5以内の額とし、その額が300万円を超えるときは300万円とする。
6 文化財に関係のある地区史又は旧村史等の発行の事業	当該事業に要する経費で調査費及び印刷費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の3以内の額とし、その額が80万円を超えるときは、80万円とする。
7 国、県若しくは市が指定した文化財又は市が認定したまつもと文化遺産に対し、保存、活用及び教育普及を目的として活動する団体が行う事業で、地域づくりに資する事業として市長が認めたもの	当該事業に要する経費のうち、市長が認めた経費	補助対象経費の10分の8以内とし、その額が5万円を超えるときは5万円とする。ただし、史跡等の管理に係る原材料費、消耗品費及び燃料費については5万円の範囲内で実費相当額を上記に加算することができる。

イ 令和3年度の補助金交付事業

(ア) 修理事業・管理事業

以下の4件の事業について、合計 635,000円を交付しました。

- ・ 県宝筑摩神社拝殿保存修理事業
- ・ 県天然記念物梓川のモミ保護事業
- ・ 市重要文化財木造菩薩形立像及び木造天部形立像2躯保存事業
- ・ 市重要文化財松本神社の宝物(松姫の扇)修理事業

(イ) 保存・活用等事業（団体活動補助）

以下の11件の事業について、合計 589,000円を交付しました。

- ・小笠原氏城跡（林城跡）保存管理事業
- ・小笠原氏城跡（埴原城跡）保存管理事業
- ・針塚古墳保存管理事業
- ・若澤寺跡保存管理事業
- ・平瀬城跡保存管理事業
- ・内田のササラ踊り保存伝承事業
- ・島立堀米の裸祭り保存伝承事業
- ・島内の鳥居火保存伝承事業
- ・奈川獅子保存伝承事業
- ・両島のお八日念仏と足半保存伝承事業
- ・里山辺千鹿頭社の御柱祭り保存伝承事業

(ウ) まつもと文化遺産保護事業

以下の5件の認定事業について、合計 225,000円を交付しました。

- ・沢村町会 古代より人々の集うまち～ふれあい広がる大日堂～
- ・今井地区 近代今井の象徴～幕府領が守った文化財～
- ・島内地区 嶋之内の成立と発展～平瀬城&犬甘城 街道と水～
- ・安原地区 松本城下北の要 武家のまちと商家のまち
- ・新村地区 野麦街道と集落と集落を結ぶ里道
～交通の要衝として発展を遂げたあたらしの郷～

5 松本市内の指定・登録等文化財

(1) 指定・登録等件数の概要 (令和4年5月1日現在)

(単位：件)

指定等区分・種別		指定別	国	県	市	合計
有形文化財	建造物		11	5	26	42
	絵画・彫刻・工芸品		7	11	52	70
	書跡・典籍・古文書		2	0	9	11
	考古資料		0	3	11	14
	歴史資料		0	1	31	32
無形文化財			0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財		3	0	5	8
	無形民俗文化財		0	1	25	26
記念物	史跡		3	4	19	26
	名勝		1	2	10	13
	天然記念物		2	9	40	51
小計			29	36	228	293
登録有形文化財			61	-	3	64
選択無形民俗文化財			2	1	-	3
合計			92	37	231	360

※ 重要美術品2件を国の有形文化財に含めています。

※ 件数は、同一の物件につき、2つの区分に重複して指定が行われている場合（例えば史跡及び天然記念物という指定の場合など）、それぞれの区分につき1件として数えたものです。

(2) 指定・登録等文化財一覧

「資料編 II 指定・登録等文化財一覧」に掲載しています。(P.158)

Ⅱ 博物館事業の推進

1 概 要

本格的な生涯学習時代を迎え、博物館がその拠点としての重要性をますます高めるなかで、松本市立博物館は平成27年に開館110周年を迎えました。その設立は明治39年（1906）にさかのぼり、100年余にわたり「学都松本」の屋台骨を支えてきました。現在は松本市域を対象とした資料を収集し、歴史・民俗に関連した資料を中心に展示しています。

博物館では、松本市域全体を博物館と考える「松本まると博物館構想」のもと、基幹博物館建設整備と、本館と15分館が下記の事業を実施します。

- (1) 市域の歴史・民俗・自然・産業等に関する市民の学習意欲に応えるため、15館が各施設の特徴を活かして、様々な資料の収集・保管、調査研究をし、その成果を活用していきます。
- (2) 市民の生涯学習活動を支援するため、展示（常設展示・特別展示）、刊行物の編集・発行、講座・講演会・体験学習会等を開催します。
- (3) 「地域づくり」「ひとづくり」に資するための様々な博物館事業を市民協働により実施します。

2 沿 革

明治39年	9月21日	松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀（記念館と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊
明治41年	1月28日	東筑摩郡教育品研究所廃止により所蔵資料が移管
昭和6年	6月1日	松本市の管理に移管
昭和12年	9月	松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実
昭和13年	9月17日	松本記念館として有料開館、観覧料10銭（松本城10銭、共通15銭）
昭和20年	5月22日	この日をもって閉館し、収蔵資料の疎開開始
昭和22年	1月28日	松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称
昭和23年	2月11日	地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示
	4月23日	松本市立博物館管理条例を制定、松本城の管理を職務に編入
昭和27年	7月21日	県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転
昭和29年	4月1日	中山村との合併にともない中山考古館（昭和6年開館）を分館に位置付け
昭和30年	3月29日	分館として松本城記念館を設置
	4月22日	七夕人形コレクション45点が重要民俗資料（昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ）に指定
	11月15日	松本城を分館とし、城郭係を新設
昭和33年	4月1日	分館中山考古館の建物を新築
	12月24日	松本城管理事務所設置（城郭係廃止）、松本城管理事務所が分離
昭和34年	5月6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料
	12月18日	孔雀文磬（仏具）1面が国の重要文化財に指定
昭和36年	3月23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定

	3月 31日	重要民俗資料収蔵庫を新築
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和40年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が教育博物館として開館
昭和41年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が附属施設（現分館、以下同じ）に位置付け 財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後松本市立 博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
昭和43年	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和49年	11月 1日	本田コレクション341点（古時計及び関係資料）を受贈、重要民俗資料収 蔵庫を時計博物館として開館
昭和50年	4月 30日	アルプス山岳館開館
昭和52年	7月 1日	旧制松本高等学校記念館開館
昭和55年	6月 1日	時計博物館廃止。コレクションを日本民俗資料館2階に移管
昭和56年	10月 1日	松本城との共通観覧券を発行
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館 が解散され、新財団へ移行
昭和59年	8月 1日	館ニュース「あなたと博物館」創刊
昭和61年	3月 31日	分館の中山考古館を廃止
	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け（8月2日開館）
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	松本市旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け
平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け（6月5日開館）
	7月 10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月 31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月 10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月 21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け
	19日	胡桃沢コレクション受贈（平成14年2月）により「子規忌」開催。以後毎 年開催
平成15年	4月 25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まると博物館友の会が発足
	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月 28日	松本市旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学習館・ 梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月 21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月 28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定

	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	6月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置付け
	12月21日	工女宿宝来屋、市の重要文化財に指定
平成22年	4月29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築し、オープン
平成24年	4月 1日	松本市立博物館条例改正、附属施設を分館に位置づけ
	10月26日	松本市博物館協議会設置
平成25年	3月20日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターとの文化・学術活動と地域貢献に関する覚書締結
	4月27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成28年	6月13日	松本城大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とすることを決定
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	11月28日	旧松本区裁判所庁舎、国の重要文化財に指定
平成30年	2月	松本市基幹博物館の建設予定地拡張を決定
平成31年	3月	重要文化財旧開智学校校舎の耐震診断が完了
	4月	松本市基幹博物館整備事業用地の埋蔵文化財発掘調査を開始
	4月27日	旧山辺学校校舎がリニューアルオープン、分館に位置付け
令和元年	5月17日	国の文化審議会が旧開智学校校舎の国宝指定について答申する
	9月10日	旧昭和興業製糸場、国の登録有形文化財に登録
	30日	旧開智学校校舎が国宝に指定
令和 2年	3月 6日	松本市基幹博物館建築工事着工
	9月28日	松本市基幹博物館展示製作業務着手
令和 3年	4月 1日	移転新築のため、松本市立博物館が令和5年秋(予定)まで臨時休館
	6月 1日	耐震対策工事のため、国宝旧開智学校校舎が令和6年秋(予定)まで臨時休館

3 重点施策

- (1) 基幹博物館整備事業（事業費3,563,500千円）
 - ア 前年度に引き続き、建築工事、展示製作業務及び備品発注作業を進めます。
 - イ 管理・運営について、必要な条例改正を行い、指定管理者制度を導入します。
- (2) 歴史文化基本構想の実現
 - ア 市民団体や地域との連携事業を推進し、人づくり・まちづくりに寄与します。
 - イ 市内の博物館の連携に取り組みます。
 - ウ 県外博物館等との連携に取り組みます。
- (3) 市民学芸員との協働事業の推進

平成24年度に発足した市民学芸員の会を平成30年度に再発足しました。市民学芸員の会と連携した各種事業を分館で実施します。
- (4) 講座などの開催（39,750千円）

分館では各施設の特徴に応じた行事を随時開催します。

4 事業の内容

博物館法第2条（定義）及び第3条（博物館の事業）、松本まると博物館構想等に基づき、次の事業を行います。

- (1) 松本市全域を屋根のない博物館ととらえる「松本まるごと博物館構想」のもと博物館施設（本館・15分館）の管理運営と基幹博物館整備等に関する事。
- (2) 松本市域を含む旧松本藩領の地域の成り立ち、文化・環境などを学習するうえで必要な、博物館資料の収集・保管・調査研究及び展示（常設展・企画展・特別展）に関する事。
- (3) 「学都松本」の創造に向けて、市民をはじめとする利用者の学習支援に関する事。
 - ア 各種講座・講演会・体験学習講座・バス見学会の実施
 - イ 館ニュース「あなたと博物館」ほか刊行物の編集、発行
 - ウ 小・中学生親子、転入世帯を対象とした博物館パスポートの発行と利用喚起
 - エ 教育機関・各種団体への学習会講師の派遣
- (4) 児童・生徒・学生の学習支援に関する事。
 - ア 博物館実習及び職場体験学習の学生・生徒の受入と指導
 - イ 学びのきっかけづくりとなるアウトリーチ活動の実施
- (5) 市民団体・地域との協働、連携に関する事。
博物館関係団体主催で、日頃の活動内容や成果を発表する「博物館まつり」を開催
- (6) 博物館協議会に関する事。

5 令和3年度の活動状況

(1) 資料受入状況（3年度）

（単位：点）

種別	総記	考古	歴史	民俗	美術	その他	合計
購入	0	0	0	0	0	0	0
寄贈	12	0	30	27	70	0	139
製作	0	0	0	0	0	0	0
採集	0	0	0	0	0	0	0
移管	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	0	30	27	70	0	139
総数	9,327	23,155	24,610	39,299	5,631	24,398	126,420

(2) 特別展開催状況

- ア 工芸の五月参加企画
企画展「ガラスの美」（松本民芸館）
令和4年3月15日（火）～9月11日（日）
- イ 企画展「武家住宅でひな祭り」（松本市高橋家住宅）
令和4年3月19日（土）～令和4年4月10日（日）
- ウ 企画展「開智学校と地震」（国宝旧開智学校校舎）
令和3年4月24日（土）～令和3年5月31日（月）
- エ 企画展「藍」染・織物展（松本民芸館）
令和3年9月18日（土）～令和4年3月13日（日）

6 松本市立博物館（本館）

(1) 施設の概要

松本は屋根のない博物館！松本の歩みと文化を知る。松本の今にふれ、未来を思う。
——まるごと松本を知る旅のスタート地点です。

位置	松本市丸の内4番1号	電話	32-0133
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階 塔屋付	延床面積	3,593.25 m ²
開館	昭和43年4月20日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

(2) 部門別面積

(単位：㎡)

部 門	総 面 積	比 率	内 訳	
展 示	1,400.0	40.96%	地下展示室	339.8
			1階展示室	507.2
			2階展示室	553.0
収 蔵	298.5	8.73%	地階収蔵庫	118.1
			1階収蔵庫	49.6
			2階収蔵庫	47.0
			地階倉庫（旧燻蒸室）	14.4
			地階倉庫（旧暗室）	9.0
			事務室下倉庫	60.4
			学 習 支 援	299.5
事 務	128.2	3.75%	館長室 29.8	事務室 46.1
			技師室 13.5	受付・売店 38.8
管 理	225.2	6.59%	機械室 170.9	電気室 34.5 塔屋 19.8
倉 庫	185.4	5.42%	荷解室 54.4	書庫 16.5 その他倉庫 114.5
そ の 他	881.5	25.79%	休憩室 更衣室 トイレ 廊下 階段 エレベーター 他	
本館合計	3,418.3	100.00%		

(3) 重要有形民俗文化財収蔵庫

収 蔵	153.00	87.5%	
そ の 他	21.95	12.5%	機械室 風除室
別館合計	174.95	100.0%	

7 松本市立博物館（分館）

(1) 国宝旧開智学校校舎

「其身を修め智を開き才芸を長ずる」。近代教育の生き証人、白亜の擬洋風建築校舎——文明開化の息吹きと、教育にかけた人びとの熱意が伝わります。			
位 置	松本市開智2丁目4番12号	電 話	32-5725
概 要	<p>開智学校は明治9年（1876）に竣工した、日本で最も古い小学校校舎のひとつです。初等教育を基本としていましたが、小学校にとどまらず、今の学校制度の幼稚園、中学校、高等学校、大学に当たる学校や、博物館などの生涯学習施設がここに設けられました。</p> <p>立石清重が設計した校舎は、擬洋風学校建築の代表的遺構として令和元年9月、新たに国宝に指定されました。また、所蔵する資料は、江戸末期から平成にわたる教育の歩みを示す教科書や学校管理文書など約11万点が収められ、うち、建築関係の資料63点は国宝附指定になっています。</p>		
構 造	木造2階建、棧瓦葺、寄棟、大壁造 中央部八角塔屋附	延床面積	1,283.58 m ²

ア 沿革

明治6年5月6日 松本藩学（廃藩置県後は筑摩県学）を継承し、開智学校として開校

明治9年4月22日 旧本町1丁目の女鳥羽川沿いに擬洋風校舎を新築、開校。計画は地元の人々、設計・施工は松本の大工棟梁立石清重 工費約1万1千円

昭和24年5月28日 市立開智小学校本館が重要美術品に指定

昭和36年3月23日 市立開智小学校本館が学校建築として初めて重要文化財に指定

昭和38年3月31日 女鳥羽川河川改修工事のため閉校

昭和38年5月28日 重要文化財旧校舎の移築復元工事起工

昭和39年8月31日 重要文化財旧校舎の移築復元工事竣工

昭和40年4月1日 教育博物館として一般公開開始

昭和62年10月6日 愛媛県宇和町（現西予市）の県指定文化財（現重要文化財）開明学校と姉妹館提携を締結

平成5年3月12日 管理事務所新築工事竣工

平成10年2月28日 『史料開智学校』全21巻刊行完結（昭和61年3月着手）

平成17年11月5日 静岡県松崎町の重要文化財旧岩科学校と姉妹館提携を締結

令和元年5月17日 国の文化審議会が旧開智学校校舎の国宝指定について答申する

令和元年9月30日 近代学校建築として初めて国宝に指定される

令和3年6月1日 耐震対策工事に着手し臨時休館（令和6年秋までを予定）

イ 収蔵資料（建築および教育関係資料等）

国宝附指定文書（明治7年～同10年）56冊、図面7葉。その他建築関係資料

江戸末期から平成にわたる教育行政、学校管理、教育課程資料、学校日誌、教案、成績物、卒業証書、教科書教材教具など約110,000点

(2) 松本民芸館

「美しいものが美しい」 ——物をして美を語らしめた丸山太郎の思い、名もなき職人の手仕事にふれる癒しの空間です。			
位 置	松本市大字里山辺 1313 番地 1	電 話	33-1569
概 要	陶磁器、木工品、編組品、染織物など「庶民が使用した日常の生活用品」である民芸品を約 6,800 点所蔵し、常設展示・企画展示を合わせて約 1,000 点を展示しています。また、民芸に関する講演会や体験講座も開催しています。		
構 造	木造 2 階建瓦葺土蔵造	延床面積	432.82 m ²
開 館	昭和 58 年 4 月 1 日		

沿 革

昭和 37 年 11 月 3 日 丸山太郎氏創館
昭和 58 年 2 月 1 日 市へ寄贈
平成 15 年 4 月 25 日 リニューアルオープン

(3) 長野県宝旧山辺学校校舎

「山辺に残る村の学び舎」 ——八角塔のある和風校舎は教育にかける村人の心意気を今に伝えます。			
位 置	松本市大字里山辺 2932 番地 3	電 話	32-7602
概 要	昭和 3 年まで校舎として利用されてきました。山辺学校の建築資料、山辺学校の歴史を中心に、校舎を活かす展示を行っています。2 階では、山辺地区の人々が営んできた暮らしや産業についても展示しています。 第二次世界大戦中に松本市内で唯一爆撃を受けた山辺地区ならでの展示として平和学習の展示スペースも設けています。		
構 造	木造 2 階建	延床面積	623.77 m ²
開 館	昭和 58 年 10 月	障害者用設備	多目的トイレ

沿 革

明治 18 年 山辺学校校舎が村費と村人の寄附によって建築される
明治 19 年 4 月 1 日 山辺学校開校
昭和 3 年 役場庁舎や公民館としての校舎利用開始
昭和 57 年 10 月 全面解体復元工事開始
昭和 58 年 8 月 全面解体復元工事終了
昭和 58 年 10 月 1 日 山辺学校歴史民俗資料館として開館
昭和 60 年 11 月 21 日 長野県宝に指定
平成 27 年 11 月 耐震工事開始
平成 31 年 3 月 耐震工事終了
平成 31 年 4 月 27 日 旧山辺学校校舎としてリニューアルオープン

(4) 松本市立考古博物館

考古学は現在を生きる学問 ——モノを通して松本の大地に刻まれた先人の暮らしに出会えます。			
位 置	松本市大字中山 3738 番地 1	電 話	86-4710
概 要	大正 5 年（1916）旧中山村時代に、村内からの考古資料を収蔵・公開する施設としての小学校内の一室から始まります。現在は松本市内の遺跡から出土・採集された考古資料及び松本市教育委員会で実施した埋蔵文化財発掘調査によって出土した考古資料を展示・保存しています。資料総数は約 41,000 点に及びます。平成 15 年度に改修工事を行い、展示内容に体験コーナーを取り入れたものへ更新するとともに、体験学習室を新設しました。また、近接する史跡弘法山古墳のコーナーを設け、出土資料の公開をしています。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	1,036.58 m ²
開 館	昭和 61 年 8 月 2 日	障害者用設備	スロープ

沿革

- 大正 5 年 12 月 1 日 中山尋常高等小学校内に考古室が開設
- 昭和 6 年 6 月 1 日 考古室から中山考古館となる。縄文時代、古墳時代の資料約 5,000 点を収蔵
- 昭和 27 年 8 月 20 日 博物館法による登録博物館に登録
- 昭和 29 年 4 月 1 日 中山村は松本市に合併、それに伴い松本市立博物館の分館となる
- 昭和 32 年 3 月 中山考古館開館準備のため休館
- 昭和 32 年 7 月 4 日 中山小学校横に中山考古館として開館
- 昭和 61 年 3 月 分館中山考古館を廃止
- 8 月 2 日 松本市立考古博物館開館
- 平成 16 年 4 月 17 日 リニューアルオープン

(5) 松本市はかり資料館

物差しで測る、天びんで計る、枡で量る。 ——懐かしい昭和の時代がよみがえる、土蔵造りの資料館です。			
位 置	松本市中央 3 丁目 4 番 21 号	電 話	36-1191
概 要	松本市はかり資料館の前身は、明治 35 年（1902）創業の「竹内度量衡店」で、平成元年（1989）に、はかりの歴史や魅力を伝える資料館として開館しました。 現在、約 1,300 点を収蔵し、両替天秤・繭の雌雄選別器など 120 点を展示、附属施設の立石清重が設計施工した擬洋風建築の旧三松屋蔵座敷も公開しています。		
構 造	木造瓦葺 2 棟 土蔵造	延床面積	330.8 m ²
開 館	平成元年 8 月 4 日		

附属施設

名 称	建 築 年	移 築 年	そ の 他
旧三松屋蔵座敷	明治 27 年	平成 23 年	設計施工 立石清重

(6) 松本市旧司祭館

長野県内では現存する最古の西洋館 ——ここからわが国初の日仏辞典、セスラン神父の『和佛大辞典』の編さんが始まりました。			
位 置	松本市開智 2 丁目 6 番 24 号	電 話	32-5725
概 要	<p>明治 22 年に建築された西洋館。県内最古の宣教師館として保存を図るとともに、広く市民の教育文化の向上に資するため、平成 2 年から 3 年にかけて松本城北側の武家屋敷跡から現在地へ移築復元しました。</p> <p>平成 6 年 3 月 31 日に市重要文化財に、平成 17 年 3 月 28 日には長野県宝に指定されています。</p>		
構 造	木造瓦葺 2 階建	延床面積	202.73 m ²
開 館	平成 3 年 12 月 1 日		

(7) 旧制高等学校記念館

自治と自由と真理の探究 ——未来への憧憬と焦燥、悩める若人の青春群像の舞台です。			
位 置	松本市県 3 丁目 1 番 1 号	電 話	35-6226
概 要	<p>旧松本高等学校及び全国の旧制高等学校に関する資料を収集、保存、展示するとともに、その精神を後世に残し、教育文化の向上に役立てるため、調査研究を行っています。平成 24 年度には常設展示及び空調設備等の改修工事をおこない、平成 25 年 4 月 27 日にリニューアルオープンしました。</p>		
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建	延床面積	1,190.48 m ²
開 館	平成 5 年 7 月 10 日	障害者用設備	エレベーター、多目的トイレ

(8) 窪田空穂記念館

この家と共に古りつつ高野槇二百とせの深みどりかも ——歌人・国文学者、窪田空穂のふるさは文学の香り漂う空間です。			
位 置	松本市大字和田 1715 番地 1	電 話	48-3440
概 要	<p>郷土が生んだ歌人、国文学者窪田空穂を偲び、永くその業績を讃えるため、誕生地である和田に開館しました。空穂の作品や日本古典文学・短歌に関する資料を展示・紹介しています。</p>		
構 造	木造一部 2 階建 他収蔵庫	延床面積	752.94 m ²
開 館	平成 5 年 6 月 5 日	障害者用設備	多目的トイレ

附属施設

名 称	建 築 年	そ の 他
窪田空穂生家	明治 8 年	本棟造

(9) 重要文化財馬場家住宅

どこか懐かしく、どこか新鮮。 ——本棟造りの建物と豊かな自然環境が織りなす小宇宙、「やまふところの古屋敷」です。			
位 置	松本市大字内田 357 番地 6	電 話	85-5070
概 要	江戸時代末期から明治初期に建築された馬場家住宅は、松本市の南部、内田地区に位置し、主屋は松本地方の民家建築として特徴のある本棟造です。また建造物ばかりでなく往時をしのべる屋敷林、土塁等も保存され、古屋敷という屋号を持つ家格にふさわしい雰囲気があります。現在広大な屋敷地はおおよそ西半分を松本市が寄贈をうけて管理し、東半分を個人が管理しています。平成 8 年 12 月 10 日に主屋等 6 棟の建造物と敷地が重要文化財に指定されました。		
敷地面積	12,297.24 m ²	開 館	平成 9 年 4 月 8 日

重要文化財に指定された物件

名 称	建築年代	延床面積	所有区分
主 屋	嘉永 4 年 (1851)	310.30 m ²	松本市
表門及び左右長屋	安政 6 年 (1859)	72.94 m ²	松本市
中 門	安政 6 年 (1859)	4.52 m ²	松本市
文 庫 蔵	弘化 2 年 (1845)	70.03 m ²	松本市
隠 居 屋	元治元年 (1864)	97.20 m ²	馬場氏
奥 蔵	元治元年 (1864)	115.60 m ²	馬場氏
土 地	面積 12,297.24 m ²		松本市・馬場氏

(10) 松本市歴史の里

たてもの野外博物館！ ——樽木野に移築された懐かしい建物が、信州松本の近代の歩みと文化を教えてください。			
位 置	松本市大字島立 2196 番地 1	電 話	47-4515
概 要	平成 29 年に国の重要文化財に指定された旧松本区裁判所庁舎を中心とした複合施設として、平成 13 年 11 月に (財) 日本司法博物館から松本市に移管され、平成 19 年 4 月 28 日にリニューアルオープンしました。信州の近代をテーマに、旧松本区裁判所庁舎のほか、工女宿宝来屋、木下尚江生家、旧松本少年刑務所独居舎房、旧昭和興業製糸場の建造物を移築・保存し、公開しています。		
構 造	木造 2 階建 他	延床面積	2,104.84 m ²
開 館	平成 14 年 4 月 1 日	障害者用設備	多目的トイレ、スロープ

ア 沿 革

昭和 57 年 3 月 (財) 日本司法博物館が旧長野地方裁判所松本支部庁舎を移築し、日本司法博物館として開館

平成 14 年 4 月 歴史の里として開館

イ 附属施設一覧

名 称	建築年	旧所在地	移 築 年	文化財指定
旧松本区裁判所庁舎	明治 41 年	松本市丸の内	昭和 57 年	重要文化財 庁舎 (門及び資料 2 点) 平成 29 年 11 月 28 日

名 称	建築年	旧所在地	移 築 年	文化財指定
工女宿宝来屋	江戸後期	松本市奈川川浦	昭和 58 年	市重要文化財 平成 21 年 12 月 22 日
木下尚江生家	江戸後期	松本市北深志	昭和 58 年	
旧松本少年刑務所 独居舎房	昭和 28 年	松本市桐	平成 6 年	
旧昭和興業製糸場	昭和 9 年	諏訪郡下諏訪町	平成 8 年	登録有形文化財 令和元年 9 月 10 日

(11) 松本市時計博物館

廻る歯車が奏でる時のしらべ、ここで無限の時に出会う。 ——大切な人と、大切なときを！			
位 置	松本市中央 1 丁目 21 番 15 号	電 話	36-0969
概 要	松本まるごと博物館構想のもとで、はじめて建設されたテーマ拠点施設。 昭和 49 年に寄贈された本田コレクションを中心に、常時約 110 点の時計をできる限り動いた状態で展示しています。		
構 造	鉄筋コンクリート造 4 階建	延床面積	1,046.37 m ²
開 館	平成 14 年 9 月 1 日	障害者用設備	エレベーター、身障者用トイレ

(12) 松本市山と自然博物館

北アルプスの 3,000m 峰を抱く松本に織りなす美しい四季 ——自然と人とのかかわりを学び、黎明期に活躍した岳人の足跡を伝えます。			
位 置	松本市大字蟻ヶ崎 2455 番地 1	電 話	38-0012
概 要	山岳資料や昆虫・植物資料の展示の他、自然史系博物館として身近な自然と人との関わりを学習する講座・教室を開催しています。		
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上 2 階 地下 1 階、塔屋 5 階	延床面積	1,243.75 m ²
開 館	平成 19 年 5 月 3 日	障害者用設備	スロープ、エレベーター、車いす、身障者用トイレ

(13) 松本市高橋家住宅

松本城下に残る数少ない武家住宅 ——石置き屋根の風情あるたたずまいが武家の暮らしをしをばせます。			
位 置	松本市開智 2 丁目 9 番 10 号	電 話	33-1818
概 要	現存する武家住宅としては、長野県内でもっとも古い建物のひとつとされ、昭和 44 年に松本市重要文化財に指定されました。平成 16 年に建物が松本市に寄附され、復元修理を行った後、平成 21 年 5 月に博物館施設として生まれ変わりました。		
構 造	木造平屋建て	延床面積	118.56 m ²
開 館	平成 21 年 5 月 2 日		

(14) 松本市四賀化石館

太古との邂逅 ——いにしえの海を泳いだ、世界最古のマッコウクジラに時を越えて出会えます。			
位 置	松本市七嵐 85 番地 1	電 話	64-3900
概 要	昭和 61 年に地元の小学校 5 年生が発見した、シガマッコウクジラの全身骨格化石の展示を中心に、信州の大地のおいたちを語る化石や岩石を多数展示しています。小学校の理科「大地のつくりと変化」の学習に最適であるとして、毎年、市内外から約 2,500 名の 6 年生が来館します。		
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建	延床面積	759.57 m ²
開 館	平成元年 4 月 20 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

(15) 松本市安曇資料館

上高地、乗鞍、梓川溪谷、大野川・稲核・鳴々・大野田の入四か村 ——「杣の村」から「発電・観光の村」へ、安曇の歩みが凝縮されています。			
位 置	松本市安曇 3480 番地 2	電 話	94-2134
概 要	安曇の地に生きる人びとの暮らしや、それをとりまく自然、歴史に関連した資料を展示している施設です。		
構 造	鉄骨造地上 2 階地下 1 階	延床面積	591.48 m ²
開 館	昭和 56 年 11 月 27 日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

8 施設利用案内（令和4年4月1日）

	施設名	観覧料 (単位：円)				観覧時間	休 館 日 (別途臨時休館あり)	
		個人		団体 (20名以上)				
		大人	小人	大人	小人			
1	松本市立博物館	200	100	20人以上 180円 100人以上 160円 300人以上 140円	90 80 70	午前8時30分 から午後5時 まで	12月29日から翌年の1月3日まで	
2	国宝旧開智学校校舎	400	200	300	150	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	第3月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで
3	松本民芸館	310	無料	200	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
4	旧山辺学校校舎	200	無料	150	無料	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	休日等を除く日 12月29日から翌年の1月3日まで
5	松本市立考古博物館	200	無料	150	無料	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	休日等を除く日 12月29日から翌年の1月3日まで
6	松本市はかり資料館	200	無料	150	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
7	松本市旧司祭館	無料	無料	無料	無料	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	第3月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで
8	旧制高等学校記念館	310	無料	200	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
9	窪田空穂記念館	310	無料	200	無料	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	休日等を除く日 12月29日から翌年の1月3日まで
10	重要文化財馬場家住宅	310	無料	200	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
11	松本市歴史の里	410	無料	310	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
12	松本市時計博物館	310	150	260	100	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
13	松本市山と自然博物館	310	無料	200	無料	午前9時から 午後5時まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日） 12月29日から翌年の1月3日まで	
14	松本市高橋家住宅	無料	無料	無料	無料	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	休日等を除く日
							12月から 2月まで	月曜日から土曜日まで 12月29日から翌年の1月3日まで
15	松本市四賀化石館	310	150	200	100	午前9時から 午後5時まで	3月から 11月まで	月曜日（当該日が休日に当たるときは、当該日以後の休日を除いた最初の日）
							12月から 2月まで	休日等を除く日 12月29日から翌年の1月3日まで
16	松本市安曇資料館	無料	無料	無料	無料	午前9時から 午後5時まで	5月1日から11月30日までの休日等を除く日 12月1日から4月30日まで	

※松本市立博物館は移転新築のため臨時休館（令和3年4月1日～令和5年秋(予定)まで）

※国宝旧開智学校校舎は耐震対策工事のため臨時休館予定（令和3年6月1日～令和6年秋(予定)まで）

9 施設観覧者数等

施設名	年度	観覧券販売枚数 枚	入館者数 人	(入館者数のうち) 無料観覧者数 人	観覧料収入 円	備考
松本市立博物館	元年度	652,485	160,472	11,977	119,370,628	come(calm)to matsumotoキャンペーンのため、令和3年3月1日～3月1日まで無料開館 観覧券販売枚数の詳細は脚注※1参照 臨時休館の詳細は脚注※3参照
	2年度	243,554	75,480	14,316	36,089,874	
	3年度	0	0	0	0	

施設名	年度	有料観覧者数 人	無料観覧者数 人	観覧者総数 人	観覧料収入 円	備考
国宝旧開智学校校舎	元年度	121,566	14,723	136,289	37,769,950	come(calm)to matsumotoキャンペーンのため、令和3年3月1日～3月1日まで無料開館 耐震対策工事のため令和3年6月1日～令和6年秋(予定)まで臨時休館 臨時休館の詳細は脚注※3参照
	2年度	52,849	14,871	67,720	18,612,650	
	3年度	10,416	2,013	12,429	3,650,200	
松本民芸館	元年度	9,139	3,097	12,236	2,619,610	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	2年度	5,137	1,159	6,296	1,541,760	
	3年度	6,748	1,459	8,207	2,044,030	
旧山辺学校校舎	元年度	1,035	4,271	5,306	201,450	平成27年4月～耐震補強工事のため休館。平成31年4月27日よりニューアルオープン。 臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	603	773	1,376	115,600	
	3年度	578	4,237	4,815	114,200	
松本市立考古博物館	元年度	1,115	3,000	4,115	219,400	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	750	1,898	2,648	147,550	
	3年度	1,061	3,267	4,328	211,250	
松本市はかり資料館	元年度	4,489	5,192	9,681	866,500	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	2年度	1,877	1,333	3,210	363,750	
	3年度	2,494	2,287	4,781	486,850	
旧制高等学校記念館	元年度	2,518	11,203	13,721	699,710	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	1,360	2,732	4,092	402,790	
	3年度	1,618	5,170	6,788	474,410	
窪田空穂記念館	元年度	297	2,431	2,728	81,140	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	140	1,286	1,426	42,410	
	3年度	163	1,228	1,391	49,980	
重要文化財馬場家住宅	元年度	1,217	2,794	4,011	348,580	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	812	2,063	2,875	251,060	
	3年度	1,003	3,031	4,034	309,610	
松本市歴史の里	元年度	4,819	5,864	10,683	1,719,180	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	1,600	4,437	6,037	639,400	
	3年度	2,161	5,482	7,643	849,110	
松本市時計博物館	元年度	18,097	6,972	25,069	5,210,440	臨時休館の詳細は脚注※3、6参照
	2年度	8,050	2,264	10,314	2,343,760	
	3年度	11,941	2,694	14,635	3,428,430	
松本市山と自然博物館	元年度	1,485	26,850	28,335	444,160	無料観覧者数の詳細は脚注※2参照 臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	2,491	20,454	22,945	767,370	
	3年度	1,751	35,287	37,038	542,370	
松本市高橋家住宅	元年度	-	2,670	2,670	-	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	-	1,370	1,370	-	
	3年度	-	2,257	2,257	-	
松本市四賀化石館	元年度	3,531	4,411	7,942	760,960	臨時休館の詳細は脚注※4、6参照
	2年度	3,347	3,444	6,791	802,570	
	3年度	4,175	4,917	9,092	1,021,510	
松本市安曇資料館	元年度	-	988	988	-	臨時休館の詳細は脚注※5、6参照
	2年度	-	432	432	-	
	3年度	-	517	517	-	

※1 観覧券販売枚数は松本城・市立博物館特別観覧券等の販売実績を基に算出しています。

※2 松本市山と自然博物館の無料観覧者数は展望台及び2階無料展示エリアのみの観覧者数を含みます。

※3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日(水)～3月24日(火)、3月26日(木)～5月31日(日)まで臨時休館をしました。

※4 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月4日(水)～3月24日(火)、3月26日(木)～5月15日(金)まで臨時休館をしました。(松本市山と自然博物館の展望台及び2階無料展示エリアは、更に6月2日(火)まで観覧休止しました。)

※5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月1日(金)～5月15日(金)まで臨時休館をしました。

※6 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年9月3日(金)～9月12日(日)まで臨時休館をしました。

Ⅲ 松本城の保存・整備と活用

1 概 要

文化財保護法に基づき、国宝松本城天守及び史跡松本城を保存管理するとともに、その活用を図り文化の創造に役立てています。

2 沿 革

永正元年 (1504)	島立右近が深志城を築くと伝えられる
天文 19 年 (1550)	武田晴信が深志城を占領、鋏立てをする
天正 10 年 (1582)	織田勢に攻められて武田氏敗退、機を見て小笠原貞慶が入城し松本城と改名する
天正 18 年 (1590)	豊臣秀吉の世となり小笠原秀政を古河へ移封、代わって石川数正入封
文禄 3 年 (1593)	石川数正、康長父子により天守が築造される
~4 年(1594)頃	
寛永 11 年 (1634)頃	松平直政により月見櫓、辰巳附櫓が付設される (築城以来、石川、小笠原、戸田、松平、堀田、水野、戸田と 6 家 23 代に渡り城主が代わる)
明治 4 年 (1871)	廃藩置県により松本県 (7 月)、筑摩県 (11 月) となる 松本城の櫓、太鼓門などが取り壊される
明治 5 年 (1872)	天守など払下げとなるが、後に市川量造らにより買い戻される
明治 36 年 (1903)	天守の修理 (明治の大修理) が行われる (完了は大正 2 年 (1913))
昭和 5 年 (1930)	本丸と二の丸 (一部) が国の史跡に指定される
昭和 11 年 (1936)4 月	天守など 5 棟が国宝 (国宝保存法) に指定される
昭和 25 年 (1950)	天守の解体復元工事 (昭和の大修理) が国の直轄事業として行われる
昭和 27 年 (1952)3 月	天守など 5 棟が国宝 (文化財保護法) に指定される
昭和 30 年 (1955)	解体復元落成祭を行う
昭和 35 年 (1960)	黒門枳形一の門が復興される
昭和 45 年 (1970)	総堀の一部が国の史跡に追加指定される
昭和 54 年 (1979)	二の丸御殿跡の発掘調査と史跡整備に着手 (昭和 60 年 (1985) 完成)
昭和 61 年 (1986)6 月	黒門枳形二の門 (高麗門) と袖堀復元に着手 (平成 2 年 (1990) 1 月完成)
平成 8 年 (1996)3 月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事起工式を行う
平成 11 年 (1999)3 月	史跡松本城太鼓門枳形復元工事落成式を行う
平成 17 年 (2005)	解体復元 50 周年を迎える
平成 19 年 (2007)2 月	西総堀土墨跡 (土井尻) が国の史跡に追加指定される
平成 22 年 (2010)3 月	史跡松本城西総堀土墨跡の整備が完成する
平成 25 年 (2013)3 月	南・西外堀の一部が国の史跡に追加指定される (以降、平成 29 年度まで継続して追加指定)

3 重点施策

- (1) 国宝松本城天守・史跡松本城の文化財としての適切な公開・保全管理を行います。
- (2) 国宝松本城天守・史跡松本城の歴史的な調査研究を進めるため、必要な資料等を収集するとともに、適切な保存・管理・活用を行います。
- (3) 史跡松本城の歴史的整備を計画的に進めます。
 - ア 平成11年に策定した「松本城およびその周辺整備計画」に基づき、早期に事業化すべきものから順次進めてまいります。
 - イ この計画自体も策定以来23年が経過し、文化財を取り巻く社会情勢の変化や整備の必要な箇所等について新たな状況が生じているため、これまでの取組みを評価・検証したうえで、一定の見直しを行います。
- (4) 平成26～28年度に実施した天守耐震診断及び平成30年度に実施した黒門・太鼓門の耐震診断結果をもとに、各建造物の耐震対策に取り組みます。
- (5) 松本城の防災に対する取組みを強化するため、天守の耐震事業とあわせ、建造物等の防災設備の見直し及び防災体制の強化を図ります。
- (6) 松本城の堀の水質浄化を図るため、堆積物の除去（浚渫）を進めます。
- (7) 松本城や松本藩に関連する歴史資料の収集、調査・研究、保存と、松本城に関する学びの機会を提供します。
- (8) 松本城にふさわしい行事の開催やホスピタリティの向上、PR等の推進による魅力アップに取り組みます。

4 事業の内容

(1) 史跡松本城の整備について

史跡松本城の整備は昭和52年に策定した16項目からなる「松本城中央公園整備計画」を基に進められ、困難な4項目を残し終了しました。

その後、平成11年9月「史跡松本城整備研究会」の調査研究と指導・助言を仰ぎ、18項目に厳選した「松本城およびその周辺整備計画」を策定しました。現在はこの計画に基づき、早期に事業化すべきものから順次進めています。

また、史跡松本城の今後の整備に関する方向性や手順を明確にするため、史跡松本城保存活用計画等の内容を反映した、「史跡松本城整備基本計画」を令和4年度中に策定します。

ア 南・西外堀復元事業

(ア) 事業概要

松本城南・西外堀の復元は30年来の懸案事項であり、「松本城およびその周辺整備計画」では、外堀の史跡化を図るとともに、内環状北線道路拡幅改良工事と一体化し、地元の理解と協力を得て復元すると位置付けています。

また、平成29年度に実施した土壌汚染調査の結果、事業用地の一部に自然由来と推定される土壌汚染が確認されたことから、平成30年度に事業方針を堀復元から平面整備へと変更しています。

なお、「世界水準の歴史観光エリア」整備に向け、新たにお城まちなみ創造本部が設置され、外堀復元事業の調査・研究体制の強化を図りました。

(イ) 経過

- | | |
|--------|----------------------------|
| 昭和51年度 | 「松本城中央公園整備計画」で外堀復元の基本方針を決定 |
| 平成11年度 | 「松本城およびその周辺整備計画」を策定 |
| 平成18年度 | 文化庁の指導により発掘を実施 |

平成20年度	関係地権者に個別意向調査を実施
平成21年度	史跡範囲を決めるための測量調査を実施
平成22年度	地元説明会を5回開催し、南・西外堀復元計画及び内環状北線（先線）の整備計画の素案を提示
平成23年度	地元の相談窓口として松本城周辺整備課を設置 権利関係者等に対して権利調査及び意向調査を実施 地元説明会で権利調査及び意向調査結果を報告 用地測量の実施 「松本城南・西外堀復元に係る事業計画」を策定
平成24年度	松本城周辺整備課を本部体制にして城下町整備本部を設置 ブロック別説明会の開催 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成25年度	ブロック別説明会を開催し、用地買収単価等について説明 事業用地取得に着手 南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
平成26～ 29年度	事業用地の取得、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定（民有地部分の追加指定が平成29年度に完了）
平成30年度	事業方針を堀復元から平面整備へと変更し、権利関係者及び地元へ説明
令和2年度	市議会6月定例会において、市長が「水をたたえたお堀」復元のための調査、研究を進める考えを表明
令和3年度	新たに設置されたお城まちなみ創造本部が南・西外堀復元事業を主管

(ウ) 今後の取組み

現在の事業方針である「平面整備」から、「水をたたえた堀復元」への転換に向けた調査研究等はお城まちなみ創造本部、用地買収、家屋補償等は公共用地課、史跡整備のための国、県との協議・調整及び幕末維新期の堀の範囲・形状を把握するための発掘調査は文化財課がそれぞれ担当して事業を進めます。

なお、事業推進にあたっては、計画段階から市民への丁寧な説明を行い、市民の声に耳を傾けながら、事業への理解と協力が得られるよう、慎重な対応により進めていきます。

イ 国宝松本城天守耐震対策事業について

(ア) 事業概要

国宝松本城天守の地震時の安全性を確保するため、国の「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に基づき、平成26～28年度の3カ年で実施した松本城天守（5棟）の耐震診断結果を基に耐震構造補強内容を検討のうえ、耐震対策工事基本計画を策定し、耐震補強工事を実施するものです。

(イ) 経過

平成26 ～28年度	国宝松本城天守耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明
平成29年度	国宝松本城天守耐震対策基本計画策定着手及び当面の安全対策として天守内への入場制限や警備員配置と、避難誘導計画の策定に着手
令和元年度	耐震に係る石垣の取扱いについて、国の指針を待たず、松本市独自の調査方法検討に着手
令和2～ 3年度	天守の耐震補強内容検討に必要な基礎データを取得するための天守台内部地盤及び石垣等の調査実施および調査結果の集約・解析

(ウ) 今後の取組み

これまでの取組成果を基に、天守と石垣の一体的な耐震補強案の作成を進め、国宝松本城天守耐震対策専門委員会で検討を行い、耐震対策基本計画を策定します。

ウ 松本城防災設備整備事業

(ア) 事業概要

フランスのノートルダム大聖堂や沖縄県の首里城の火災を受け、松本城天守耐震対策工事への影響を考慮しながら、既存防災設備の見直し・更新、新たな防災設備の設置を計画的に行い、防災に対する取組みを強化するものです。

(イ) 経過

令和2年度 防災設備の更新・新設に係る実施設計を実施

令和3年度 自動火災報知設備やスプリンクラー等自動消火設備、屋内外消火設備等の更新、新設と、設備設置に伴う発掘調査の実施

(ウ) 今後の取組み

スプリンクラーに接続するポンプ室や貯水槽などの送水設備新設や、電気配管、配水管の敷設、受電設備の改修を行います。また、設備の設置に伴う本丸内の遺構確認を行います。

エ 黒門・太鼓門耐震対策事業

(ア) 事業概要

地震時の来場者の安全確保を目的に、平成30年度に実施した耐震診断結果を基に、文化庁や有識者と相談・協議を行いながら、黒門・太鼓門の建造物利用に影響が生じないような補強内容を検討したうえで、耐震対策を行うものです。

なお、耐震補強工事は大地震動時の被害が大きい太鼓門から先行して実施し、黒門は、天守耐震対策工事の実施時期と調整しながら、太鼓門耐震補強工事完了後、来場者等に不都合が生じないよう事業を進めることとします。

(イ) 経過

平成30年度 松本城黒門・太鼓門の耐震診断を実施し、大地震動時の耐震性能が不足していることが判明

令和2年度 黒門・太鼓門耐震対策基本計画を策定

令和3年度 太鼓門の実実施設計実施

(ウ) 今後の取組み

令和3年度に実施した実施設計に基づき、太鼓門の一の門、二の門の耐震補強工事を行います。(令和5年度は太鼓門の一の門、袖塀を実施予定)

オ 堀浄化対策事業

(ア) 事業概要

松本城の堀(内堀、外堀、総堀)の堆積物除去(浚渫)や水質の浄化により、歴史的な景観及び快適な公園環境の維持向上を図るものです。

(イ) 経過

平成25年度 松本城天守南西側の内堀の浚渫工事

平成30年度～令和2年度 堀の堆積物、水量、水質等の基礎データを取得するための松本城堀総合調査を実施

令和2年度 松本城の堀に適した浚渫工法確認のための実証実験(3工法・約900㎡)を実施

令和3年度 令和2年度に実施した実証実験の結果等をもとに、松本城の堀に適した

堆積物除去（浚渫）の工法を選定

(ウ) 今後の取組み

令和5年度からの浚渫工事着手に向け、全面的な堀浚渫と浚渫工事後の堀の維持管理に向けた基本計画に基づき、工事のための実施設計を行います。

また、堀清掃業務や薬剤（酸化マグネシウム）の散布等、日常的な堀浄化業務も、松本城管理の主管課である松本城管理課に協力し、継続して実施します。

カ 石垣修理事業

(ア) 事業概要

平成14～15年度に文化庁の指導により実施した史跡松本城石垣現況調査に基づき、崩落の危険度の高い石垣を計画的に修理し、史跡の保存と安全の確保を図るものです。

(イ) 経過

平成20年度 松本城二の丸内堀（埋橋南）の石垣修理工事を実施

平成22～26年度 松本城二の丸御殿跡西側内堀東面石垣修理工事を実施

平成24～26年度 松本城埋門南側石垣修理工事（地震災害復旧）を実施

平成27年度 松本城本丸北外堀南面石垣修理事業に着手、石垣現況測量及び修理工事基本設計を実施

平成28年度 松本城本丸北外堀南面石垣現況測量の継続及び、修理工事実施設計、北裏門東側門台試掘調査を実施

平成29年度～令和元年度 本丸北裏門東側門台石垣修理工事を実施

令和2年度 本丸北裏門東側門台石垣解体修理工事の報告書を作成・刊行

(ウ) 今後の取組み

動態観測等の継続により、破損や崩落の恐れがないか注視します。

(2) 松本城歴史資料保存事業・学びと研究事業

松本城を後世に残し伝えるために必要な資料を収集したうえで、調査・研究及び保存と周知を進めます。

また、それらの成果を活用しながら、松本城を身近に感じてもらうために「松本城の歴史・夏休み子ども勉強会」「松本城鉄砲蔵見学会」「学校・企業への出前講座」などの学びの機会を提供します。

(3) 国宝松本城の公開と活用について

松本城天守等の公開と通常管理及び松本城公園の管理、各種行事の開催は、文化観光部松本城管理課が担当しています。

ア 松本城天守の公開

松本市を代表する文化財・文化観光施設として、市民及び観光客に松本城天守及び本丸庭園を公開しています。文化財課城郭整備担当が行う各種整備事業に協力し、来場者の安全管理等に努めています。

イ 各種行事開催

観光誘客と市民のお城への愛着の醸成や文化財の活用として、国宝松本城夜桜会、国宝松本城薪能、国宝松本城古式砲術演武等の各種行事を開催しています。例年11月3日を中心に開催している「お城まつり」については、「松本城を世界遺産に推進実行委員会」が令和3年度に松本城の日を11月10日と決定したことにより、11月3日から11月10日までの期間を通して行事等を開催する（仮称）「松本城week」の実施を計画しています。

ウ 国宝松本城おもてなし隊事業

松本城における甲冑・和服等による、写真撮影サービス等来場者への「記憶に残る松本城体験」の提供、周辺案内等による松本城を基点とした回遊性創出のきっかけ作りを行うための「国宝松本城おもてなし隊事業」に取り組んでいます。

エ 松本城観光ガイド環境整備支援について

松本城の観光案内ボランティア2団体（松本城案内グループ、アルプス善意通訳協会）について円滑な活動をサポートするため、観光ガイド案内所の設置、従事者のユニフォーム整備、研修等環境整備支援を行っています。

オ 松本城VR、インターネットを活用した情報発信について

スマートフォン等の情報端末向けアプリケーションを通して松本城内の往時の姿を再現したVR（バーチャルリアリティ）映像を楽しむことができる松本城VRの活用を進めるとともに、ホームページやインスタグラム等、インターネットを活用した情報発信を進めています。令和4年度はライブカメラを本丸庭園内と内堀沿いに設置し、動画による松本城の映像配信を整備します。

5 指 定

区分	指定年月日	名称及び規模	摘要			所有者	
			高さ	床面積	延床面積		
国 宝	(国宝保存法) 昭和 11. 4. 20	天 守 5重6階本瓦葺木造	29.4m	267.1㎡	1,050.5㎡	国	
		乾小天守 3重4階本瓦葺木造	16.8m	74.7㎡	199.2㎡		
		渡 櫓 2重2階（一部地階） 本瓦葺木造	12.0m	39.6㎡	79.2㎡		
	(文化財保護法) 昭和 27. 3. 29	辰巳附櫓 2重2階本瓦葺木造	14.7m	28.9㎡	57.8㎡		
		月見櫓 1重1階（一部地階） 本瓦葺木造	11.1m	35.5㎡	71.1㎡		
			(合計) 445.8㎡	(合計) 1,457.8㎡			
史 跡	(史跡名勝天然 記念物保存法) 昭和 5. 11. 19	本丸跡地 園地	面 積	18,307.00㎡		国 長野県他 松本市他 松本市他 松本市 松本市他	
		二の丸跡地 園地（含松本城公園）		30,038.18㎡			
	堀跡地 内堀、外堀	26,923.58㎡					
	(文化財保護法) 昭和 25. 8. 29	堀跡地 総堀		8,307.56㎡			
		西総堀土塁跡地		679.48㎡			
	追 加 昭和 45. 1. 17 平成 19. 2. 6 平成 25. 3. 27 平成 26. 3. 18 平成 27. 3. 10 平成 28. 3. 1 平成 29. 10. 13	堀跡地 南・西外堀		9,419.80㎡			
				計	93,675.60㎡		
位置	松本市丸の内4番1号他						

6 観 覧 料

文化財保護法に基づき、管理保護に万全を期するとともに、国宝松本城及び史跡松本城本丸庭園を有料公開しています。

区 分	個 人		団 体			備 考
	大 人	小 人	区 分	大 人	小 人	
観覧料	円 700	円 300	人 20~99	円 630	円 270	団体扱いは20人以上
			100~299	560	240	
			300以上	490	210	
公開期間	1月1日から12月28日まで					正月、日曜、祭日も公開し、観覧の便をはかっている
公開時間	午前8時30分から午後5時まで					春季及び夏季時間延長

※ 松本市民は天守を除く本丸庭園内への入場は無料

7 観覧状況等（資料：松本城管理課）

(1) 年次別・各種別観覧状況

年度	総 数		料 金			
	料 金	人 員	個 人		団 体	
			大 人	小 人	大 人	小 人
H29	円 286,082,870	人 752,834	円 220,910,000	円 10,901,400	円 51,718,030	円 2,553,440
30	284,002,950	743,069	227,140,410	11,280,200	43,827,300	1,755,040
R元	283,596,552	717,645	228,510,490	11,087,020	42,315,584	1,683,458
2	137,755,440	266,625	121,496,020	4,905,060	8,387,304	2,967,056
3	215,049,959	343,872	189,112,000	9,089,400	10,481,959	6,366,600

年度	入 場 者 数 内 訳			
	個 人		団 体	
	大 人	小 人	大 人	小 人
H29	人 538,484	人 54,507	人 145,100	人 14,743
30	554,001	56,401	122,457	10,210
R元	538,230	54,511	115,079	9,825
2	218,443	21,047	11,631	15,504
3	270,160	30,298	18,507	24,907

(2) 駐車場利用状況

年度	総 数		開智駐車場		臨時駐車場	
	台 数	料 金	台 数	料 金	台 数	料 金
H29	台 147,170	円 52,843,010	台 117,145	円 44,613,710	台 30,025	円 8,229,300
30	140,463	51,061,570	112,747	43,445,770	27,716	7,615,800
R元	140,811	51,299,550	116,043	44,654,750	24,768	6,644,800
2	83,125	29,518,480	73,594	27,231,980	9,531	2,286,500
3	100,128	33,850,580	89,139	31,259,080	10,989	2,591,500

資料編



I 教育委員会関係委員会名簿

II 指定・登録等文化財一覧

III ホームページ・SNS

IV 定期刊行物

I 教育委員会関係委員名簿

NO	委員会	担当課	ページ
1	松本市教育振興基本計画策定委員会	教育政策課	147
2	松本市教育委員会事務点検評価委員会	教育政策課	147
3	学都松本推進協議会委員	教育政策課	148
4	社会教育委員	教育政策課	148
5	松本市教育文化センター運営委員会委員	教育政策課	149
6	松本市立小学校、中学校結核対策委員会	学校教育課	149
7	松本市教育支援委員会	学校教育課	150
8	松本市教育相談員	学校教育課	150
9	松本市学校給食センター運営委員	学校給食課	151
10	松本市学校給食食品等選定委員	学校給食課	151
11	松本市公民館運営審議会委員	生涯学習課	152
12	松本市青少年ホーム運営委員会委員	生涯学習課	152
13	松本市図書館協議会委員	中央図書館	153
14	松本市文化財審議会委員会委員	文化財課	153
15	松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会委員	文化財課	154
16	特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会委員	文化財課	154
17	史跡弘法山古墳調査委員会	文化財課	155
18	まつもと文化遺産保存活用協議会委員	文化財課	155
19	国宝松本城天守耐震対策専門委員会委員	文化財課	156
20	松本市博物館協議会委員	博物館	156
21	窪田空穂記念館運営委員会委員	博物館	157

II 指定・登録等文化財一覧 158

III ホームページ・SNS 167

- 1 ホームページ 松本市教育委員会、中央図書館、松本城管理課、博物館
- 2 SNS Facebook、Twitter、Instagram、YouTube

IV 定期刊行物 170

学校教育課、学校給食課、生涯学習課・中央公民館
中央図書館、文化財課、博物館

I 教育委員会関係委員名簿

1 松本市教育振興基本計画策定委員会

根拠法令等 松本市教育振興基本計画策定委員会設置要綱

活動内容 松本市教育振興基本計画の策定を行う。

会長◎

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育関係	本 田 秀 夫	国立大学法人信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室教授”
	宮 坂 俊 之	丸ノ内中学校長
	小 松 崇	才教学園校長
	小 田 貴 幸	松本市PTA連合会幹事
	西 口 恵 利 子	松本市子ども会育成連合会副会長
	海 野 暁 光	長野県保育連盟会長
	西 森 尚 己	はぐルッポ代表
	高 橋 和 幸	子どもとメディア信州幹事
社会教育関係	◎ 荒 井 英 治 郎	信州大学教職支援センター准教授
	向 井 健	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授
	伊 東 直 登	松本大学図書館長教授
	木 下 千 夏	松本市子ども日本語教育センター日本語教育支援員
	久 保 愛	特定非営利法人ワーカーズコープ松本事業所長

令和4年3月31日時点（任期 令和4年6月まで）

2 松本市教育委員会事務点検評価委員

根拠法令等 松本市教育委員会事務点検評価委員会設置要綱

活動内容 松本市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行う。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	荒 井 英 治 郎	松本市教育顧問 信州大学教職支援センター准教授
学校教育関係者	杉 村 修 一	長野県高等学校長会 事務局長
社会教育関係者	伊 東 直 登	松本大学松商短期大学部教授 松本市図書館協議会長

（任期 令和6年3月31日まで）

3 学都松本推進協議会委員

根拠法令等 学都松本推進協議会設置要綱

活動内容 学都松本を推進するため、学都松本フォーラム等の事業について協議し、実施する。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育及び 社会教育関係者	川 船 義 嗣	松本まるごと博物館友の会
	山 田 裕 一	松本市社会教育委員
	鈴 木 清 登	中信美術会
	齊 藤 孝 資	松本城案内グループ
	○ 中 田 安 子	松本市公民館運営審議会
	赤 津 章 恵	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
家庭教育関係者	永 塚 博	松本市子ども会育成連合会
	望 月 理 香	松本市PTA連合会
有識者	小 柳 廣 幸	教育委員会
	◎ 鈴 岡 潤 一	元教員
公募	○ 中 村 美 智 子	公募委員
	櫻 井 利 彦	公募委員
	服 部 公 威	公募委員

(任期 令和5年3月31日まで)

4 社会教育委員

根拠法令等 松本市社会教育委員条例

活動内容 社会教育に関する研究、調査、審議を行い、教育委員会への助言及び意見を述べる。

議長◎ 副議長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育関係者	三 輪 千 子	松本市校長会（市立波田小学校）
	志 津 享	中信地区高等学校校長会（美須々ヶ丘高等学校）
社会教育関係者	◎ 白 木 好 雄	元町内公民館長会会長
	○ 百 瀬 一 美	前安曇公民館長
	栗 田 せ づ 子	博物館市民芸術員
	中 村 良 子	松本市女性団体連絡協議会幹事
家庭教育関係者	由 井 三 佐 子	松本市子ども会育成連合会監事
	○ 内 藤 謙	元松本市PTA連合会会長
学識経験者	丸 山 文 男	松本大学 人間健康学部スポーツ健康学科准教授
公募による市民	上 嶋 太	公募
	後 藤 将 史	公募
	山 田 裕 一	公募

(任期2年：令和6年3月31日まで)

5 松本市教育文化センター運営委員会委員

根拠法令等 松本市教育文化センター条例、松本市教育文化センター運営委員会規則

活動内容 教育文化センターの運営を円滑に行う。

委員長◎ 職務代理○

区分	氏名	所属団体等
学校教育 関係者の代表	藤松 輝州	松本市校長会代表（波田中学校長）
	北野 文彦	松本市教育会長（松島中学校長）
	○ 松田 真理	教育文化センター専門委員会代表（芳川小学校長）
	三澤 禧美子	長野県退職女性校長会長（元開智小学校長）
社会教育 関係者の代表	百瀬 英昭	市民学芸員の会 会長
	百瀬 淳一	スターウォッチングクラブ北斗
	小幡 泰俊	里山辺公民館長
学識経験者	◎ 澤柿 教淳	松本大学教育学部学校教育学科教授
	木下 誠一郎	元松本市教育文化センター科学博物館長

（任期2年：令和5年9月31日まで）

6 松本市立小学校、中学校結核対策委員会

根拠法令等 松本市立小学校、中学校結核対策委員会設置要綱

活動内容 松本市立小学校、中学校の児童生徒への結核感染防止、感染者及び発病者の早期発見・早期治療、患者発生時の対応の充実・強化を図る。

委員長◎

区分	氏名	所属団体等
松本市保健所長	◎ 塚田 昌大	松本市保健所長
結核対策の専門家	五味 英一	松本市医師会感染症対策委員 （医療法人抱生会丸の内病院生活習慣病センターセンター長）
学校医	宮林 麻里	松本市医師会学校保健衛生担当理事 （みやばやしこどもクリニック院長）
学校長	木村 令子	松本市立田川小学校校長
養護教諭	齊藤 有華	松本市立開明小学校養護教諭

（任期1年：令和5年7月まで）

7 松本市教育支援委員会

根拠法令等 松本市教育支援委員会設置条例

活動内容 個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒について専門的な調査、審議を行い、就学に関する相談、判断をはじめ、早期からの教育相談を含めた一貫した支援を行う。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学識経験者	◎ 洞 沢 佳 久	元寿台養護学校校長
	○ 渡 邊 和 幸	松本養護学校校長
	田 中 寛 人	梓川小学校校長
医 師	石 田 修 一	城西病院（小児科医）
	窪 田 俊 樹	くぼた眼科医院（眼科医）
	佐 藤 圭 司	佐藤耳鼻咽喉科医院（耳鼻科医）
	宮 城 真 志	城西病院（精神科医）
	鈴 木 成 典	鈴木整形外科（整形外科医）
教 育 職 員	倉 澤 輝 巳	寿台養護学校教諭
	古 瀬 英 之	松本盲学校教諭
	竹 川 太 一 郎	開成中学校教諭
	末 益 奈 緒 美	鉢盛中学校教諭
児 童 福 祉 施 設 職 員	池 内 泰 恵	松本圏域障がい者総合相談支援センターWish 発達障害サポートマネージャー
	松 本 久 憲	松本市保育課 保育専門指導員
	山 崎 ひ と み	松本市こども福祉課 あるぷキッズ支援担当課長（保健師）

（任期2年：令和6年5月31日まで）

8 松本市教育相談員

学齢未満児の就学に関する教育相談及び小・中学校児童生徒に対する就学支援を行う。

氏 名	摘 要	氏 名	摘 要
古 瀬 英 之	松本盲学校教諭	両 澤 佳 代	芳川小学校教諭
宮 内 かつら	松本養護学校教諭	小 林 直 子	寿小学校教諭
飯 尾 美 穂	松本ろう学校教諭	宮 島 さ ち	山辺小学校教諭
倉 澤 輝 巳	寿台養護学校教諭	上 野 由 香 里	岡田小学校教諭
高 見 澤 智 美	清水小学校教諭	馬 場 美 穂	明善小学校教諭
内 城 美 里	島立小学校教諭	波 多 腰 智 恵	二子小学校教諭
常 盤 明 子	旭町小学校教諭		
上 條 美 紀 子	菅野小学校教諭		
大 王 博 子	芝沢小学校教諭		

（任期2年：令和5年3月31日まで）

9 松本市学校給食センター運営委員

根拠法令等 松本市学校給食センター条例、松本市学校給食センター運営委員会規則
 活動内容 学校給食に関する重要な事項を審議する。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校長	瀧澤 公也	筑摩野中学校長
	青山 康郎	山辺小学校長
	大和 正秀	二子小学校長
PTA関係者	山本 美帆	松本市PTA連合会会長
	麩 博子	波田中学校PTA会長
	荒木 恵	梓川小学校PTA会長
	深澤 基	山辺中学校PTA会長
	御子柴 優	二子小学校PTA副会長
	滝澤 修	会田中学校PTA会長
	神山 健雄	丸の内中学校PTA会長
	泉田 英嗣	松島中学校PTA会長
	黒坂 めぐ美	明善小学校PTA会計幹事
	水上 恵理子	中山小学校PTA給食委員
松本市保健所	塚田 昌大	松本市保健所長
学校医	宮林 麻里	松本市医師会理事
	須澤 弥生子	松本市歯科医師会理事
学校薬剤師	吉澤 貴代美	松本薬剤師会常務理事
有識者	中島 恒子	前県学校栄養教諭

(任期2年：令和5年9月頃まで)

10 松本市学校給食食品等選定委員

根拠法令等 松本市学校給食食品等選定委員会設置要綱

活動内容 市立小中学校における、安全で良質な学校給食食品を確保し、円滑な運営を図る。

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校長	津野 尚彦	信明小学校 校長
学校長	伊藤 茂	清水小学校 校長
PTA関係	辰田 共恵	松本市PTA連合会副会長
教育委員会が必要と認めるもの	成瀬 祐子	松本大学人間健康学部健康栄養学科専任講師
松本市保健所関係者	丸山 彩音	松本市保健所健康予防課管理栄養士
学校給食課長	三代澤 昌秀	
教育委員会が必要と認めるもの	斉藤 歩	西部学校給食センター栄養教諭
	山田 恭子	東部学校給食センター栄養教諭
	赤田 博信	西部学校給食センター係長(調理員)
	宮坂 一男	東部学校給食センター(調理員)

(任期 1年：令和5年5月18日まで)

1 1 松本市公民館運営審議会委員（松本市Mウイング文化センター運営委員）

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育	戸 辺 修	松本市立島立小学校長
	中川 由香里	松本市立開成中学校長
社会教育	御子柴 宏	元 寿公民館長、寿地区学校応援団 顧問
	立石 恵子	NPOフリマネット信州代表
	高橋 昌子	更生保護女性会会長
	降旗 都子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中田 安子	前 第三地区公民館長
	百瀬 壽	松本市町内公民館長会会長
	中島 麻衣	松本BBS会
家庭教育	山口 茂	松本市公民館報全市版編集委員長
	熊谷 留理子	松本市PTA連合会副会長
有識者	○ 久保田 由美	松本みんなのほんご教室
	◎ 向井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
公募者	前田 豊	信州大学 人文学部 助教
	北原 千佐子	公募
	興 熹	公募

（任期2年：令和5年7月31日まで）

1 2 松本市青少年ホーム運営委員会委員

根拠法令等 松本市青少年ホーム条例、松本市青少年ホーム条例施行規則

活動内容 青少年ホームの運営・活性化・青少年の福祉の増進に関して意見を述べる。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
ホームの利用者	○ 奥 山 祈	松本市青少年ホーム利用者の会会長
	千葉 葵	信州大学地域参画プロジェクト CHANGE 代表
関係行政機関の職員	小林 宏安	松本公共職業安定所業務部長
有識者	天白 英子	松本市青少年ホームクラブ講師
	小澤 美智子	ジョブカフェ講師、プリマルタルカウセンター養成講座講師
	◎ 勝亦 達夫	信州大学キャリア教育・サポートセンター講師
	二茅 真由美	中信子ども・若者サポートネット事務局受託事業者 NPO法人ジョイフル

（任期2年：令和6年5月31日まで）

1 3 松本市図書館協議会委員

根拠法令等 松本市図書館条例、松本市図書館協議会規則

活動内容 図書館の運営に関し、中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる。

会長◎ 会長職務代理○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
委員	熊谷 賢一	松本市校長会（筑摩小学校長）
	内藤 謙	松本市社会教育委員
	赤津 章恵	松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会
	○ 豊嶋 さおり	学都松本子ども読書活動推進委員会 委員長
	長岡 眞弓	朗読ふれあいの会
	◎ 伊東 直登	松本大学松商短期大学部 教授
	住吉 冬子	松本視覚障害者福祉協会
	宮永 忠将	公募

（任期2年：令和5年8月4日まで）

1 4 松本市文化財審議委員会委員

根拠法令等 松本市文化財保護条例、松本市文化財審議委員会の組織及び運営等に関する規則

活動内容 文化財に関する重要事項を調査、審議する。

委員長◎ 副委員長○

区 分	氏 名	専 門 分 野
学識経験者	伊藤 羊子	美術史
	小山 泰弘	自然（植物）
	後藤 芳孝	歴史（中近世史）
	原 明 芳	考古
	梅干野 成央	建築史
	○ 三石 稔	民俗
	◎ 山本 雅道	自然（水生動物）
	米山 文香	建築設計

（任期2年：令和6年6月30日まで）

1 5 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会委員

根拠法令等 松本市特別名勝及び特別天然記念物上高地保存管理協議会設置要綱

活動内容 本文化財の適切な保存管理に向けた協議を行う。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
有識者	◎ 佐々木 邦博	信州大学 名誉教授
	○ 鈴木 啓助	信州大学 理学部特任教授・名誉教授
	大窪 久美子	信州大学 農学部教授
	苅谷 愛彦	専修大学 文学部教授
	北原 曜	信州大学 名誉教授
	吉田 利男	信州大学 名誉教授
地域関係者	小林 清二	上高地町会長
	青柳 浩一郎	上高地観光旅館組合長
	山田 直	北アルプス山小屋友交会 会長
国	軒端 信司	林野庁 中信森林管理署 森林技術指導官
	守屋 徹郎	林野庁 中信森林管理署 上高地森林事務所 森林官
	小口 貴雄	国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所 建設専門官
	松野 壮太	環境省 中部山岳国立公園上高地管理官事務所 国立公園管理官
県	柏木 和之	長野県 環境部 自然保護課 自然公園整備係長
	小林 信也	長野県 松本建設事務所 計画調査課 課長補佐
	谷 和隆	長野県教育委員会 文化財・生涯学習課 主任指導主事

(任期2年：令和4年10月23日まで)

1 6 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会委員

根拠法令等 特別天然記念物白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石保存活用協議会設置要綱

活動内容 本文化財の適切な保存活用に向けた協議を行う。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
有識者	◎ 大塚 勉	信州大学 全学教育機構 特任教授(地質学)
地域関係者	○ 齋藤 志津人	白骨温泉まちづくり委員会 委員長、白骨温泉旅館組合 理事長
	齋藤 元紀	一般社団法人 松本市アルプス山岳郷 代表理事
	木村 希喜	大野川区長、大野川区町会長
	筒木 隆雄	丸永旅館経営
行政関係者	森川 政人	環境省 信越自然環境事務所 中部山岳国立公園管理事務所長
	森田 耕司	国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所長
	藤本 濟	長野県 松本建設事務所長
	贄田 明	長野県教育委員会 文化財・生涯学習課 指導主事

(任期2年：令和6年7月28日まで)

17 史跡弘法山古墳調査委員会

根拠法令等 史跡弘法山古墳調査委員会設置要綱

活動内容 史跡弘法山古墳の再整備に向けた適切な調査、保存活用方法等について、専門的な見地から検討する。

委員長◎ 副委員長○

区分	氏名	所属団体等
有識者	◎ 北條 芳隆	東海大学文学部教授
	○ 矢島 宏雄	千曲市歴史文化財センター専門員
	赤塚 次郎	NPO法人古代邇波の里・文化遺産ネットワーク 理事長
	若狭 徹	明治大学文学部専任准教授

(任期3年：令和4年11月25日まで)

18 まつもと文化遺産保存活用協議会委員

根拠法令等 まつもと文化遺産保存活用協議会設置要綱

活動内容 松本市歴史文化基本構想に基づく歴史文化を活かしたまちづくりを推進するため、まつもと文化遺産の認定及び解除、保存活用策の検討等を行う。

会長◎ 副会長○

区分	氏名	所属団体等
文化財所有者	大谷 宥秀	牛伏寺副住職
地域住民代表者	原 勝美	今井地区文化財委員会
	有馬 正敏	松本市地域文化財連絡協議会
NPO法人等関係団体の代表	山本 桂子	新まつもと物語プロジェクト
	高松 伸幸	ココブラ信州実行委員会代表
商工・観光関係団体の代表	花岡 由梨	中町商店街振興組合
	瀬原田 久英	(一社)松本観光コンベンション協会事務局
関係行政機関の代表	谷 和隆	長野県教育委員会
	新村 芳男	松本市公民館長会
有識者	後藤 芳孝	松本市文化財審議委員会
	倉澤 聡	都市計画家
	巻山 圭一	松本大学教職センター

(任期2年：令和6年9月30日まで)

1 9 国宝松本城天守耐震対策専門委員会委員

根拠法令等 国宝松本城天守耐震対策専門委員会設置要綱

活動内容 国宝松本城天守の適切な耐震対策を専門的な見地から検討する

委員長◎

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
知識経験者	大 窪 健 之	立命館大学理工学部教授
	河 合 直 人	工学院大学建築学部教授
	後 藤 治	工学院大学総合研究所教授
	藤 田 香 織	東京大学大学院工学系研究科教授
	松 田 昌 洋	信州大学工学部助教
	◎ 渡 邊 定 夫	東京大学名誉教授
	西 形 達 明	関西大学名誉教授
	橋 本 隆 雄	国土館大学理工学部教授

(任期2年：令和5年8月31日まで)

2 0 松本市博物館協議会委員

根拠法令等 松本市立博物館条例、松本市博物館協議会規則

活動内容 博物館法及び松本市立博物館条例に基づき、松本市立博物館の運営等に関し協議する。

会長◎ 副会長○

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
学校教育関係者	大 槻 久	松本市校長会（松本市立開明小学校長）
社会教育関係者	川 船 義 嗣	松本まるごと博物館友の会会長
	百 瀬 英 昭	市民学芸員の会会長
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	村 井 博 子	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク
有識者	◎ 笹 本 正 治	長野県立歴史館 特別館長
	山 根 宏 文	松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授
	米 山 文 香	松本市文化財審議委員会委員
公募	山 本 宏 紀	
教育委員会が必要と 認める者（観光関係者）	○ 小 林 磨 史	松本ホテル旅館協同組合理事長 ホテルニューステーション代表取締役

(任期 2年：令和4年10月31日まで)

2.1 窪田空穂記念館運営委員会委員

根拠法令等 窪田空穂記念館運営委員会設置要綱

活動内容 窪田空穂記念館の事業を効果的に実施するため、意見又は提言を行う。

委員長◎ 副委員長○

選出区分	氏名	所属団体等
歌壇関係者（空穂会）	来嶋 靖生	歌人・空穂会監事
歌壇関係者（空穂会）	篠 弘	歌人（まひる野）・空穂会会長
学識経験者	◎ 上條 宏之	前長野県短期大学学長
学識経験者	折井 理智子	茶道教授（裏千家）
学識経験者	坂口 登美子	茶道教授（表千家）
学校経験者	幅 誠一郎	松本市校長会長（明善中学校長）
学校経験者	赤羽 秀明	芝沢小学校長
地元関係者	○ 萩原 良治	松本市和田公民館館長
記念館設立協力者	窪田 武夫	血縁者・生家提供者

（任期 2年：令和5年4月30日まで）

II 指定・登録等文化財一覧（令和4年4月1日現在）

(1) 概要

(単位 件)

指定別	区分	件数	種別内訳
国指定	国宝	2	建造物 2
	重要文化財	16	建造物 9 彫刻 5 工芸品 1 典籍 1
	重要有形民俗文化財	3	年中行事 1 信仰 1 生産生業 1
	史跡	3	史跡 3
	名勝	1	特別名勝 1
	天然記念物	2	特別天然記念物 2
	重要美術品	2	工芸品 1 書跡 1
国登録	登録有形文化財(建造物)	61	住宅 23 治山治水 5 学校 5 生活関連 6 産業1次 3 産業2次 1 産業3次 6 宗教 10 文化福祉1 その他 1
国選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	2	風俗慣習 2
国 小計		92	
県指定	県宝	20	建造物 5 絵画 1 彫刻 9 考古資料 3 歴史資料 1 工芸品 1
	無形民俗文化財	1	無形民俗文化財 1
	史跡	4	史跡 4
	名勝	2	名勝 2
	天然記念物	9	天然記念物 9
県選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	1	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 1
県 小計		37	
市指定	重要文化財	129	建造物 26 絵画 6 彫刻 34 工芸品 12 書跡 3 典籍 1 古文書 5 考古資料 11 歴史資料 31
	重要有形民俗文化財	5	有形民俗文化財 5
	重要無形民俗文化財	25	無形民俗文化財 25
	特別史跡	19	特別史跡 19
	特別名勝	10	特別名勝 10
	特別天然記念物	40	特別天然記念物 40
市登録	登録文化財	3	建造物 3
市 小計		231	
合計(国+県+市)		360	

※複数の種別で指定されている文化財は、それぞれの種別で1件ずつ数える。

(2) 国指定文化財等

ア 国宝 [2件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3. 29	建造物	松本城天守	5棟	国(管理:松本市)	丸の内4-1
令和 元. 9. 30	建造物	旧開智学校校舎	1棟	松本市	開智2-4-12

イ 重要文化財 [16件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
大正 3. 8. 25	彫刻	木造十一面観音及両脇侍立像	3躯	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造釈迦如来及両脇侍像	3躯	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造薬師如来坐像	1躯	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造大威徳明王像	1躯	牛伏寺	内田2573
昭和 5. 5. 23	建造物	筑摩神社本殿	1棟	筑摩神社	筑摩2-6-1
昭和12. 8. 25	彫刻	木造阿弥陀如来及両脇侍像	3躯	真光寺	梓川上野1918
昭和24. 2. 18	建造物	大宮熱田神社本殿	1棟	大宮熱田神社	梓川梓4419
	建造物	大宮熱田神社若宮八幡宮本殿	1棟	大宮熱田神社	梓川梓(南北条)
昭和28. 8. 29	建造物	若宮八幡社本殿	1棟	若宮八幡社	筑摩3-6-2
	建造物	田村堂	1棟	松本市	波田4570
昭和34.12.18	工芸品	孔雀文磬	1面	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
昭和55. 6. 6	典籍	宋版漢書	60冊	松本市	中央4-2-22(美術館)
平成 8.12.10	建造物	馬場家住宅	6棟	松本市・個人	内田357-6他
平成19. 6. 18	建造物	旧松本高等学校	2棟	松本市	県3-1-1
平成24. 7. 9	建造物	牛伏川本流水路(牛伏川階段工)	1所	長野県	内田字内田山
平成29.11.28	建造物	旧松本区裁判所庁舎	1棟	松本市	島立2196-1

ウ 重要有形民俗文化財 [3件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和30. 4. 22	年中行事	七夕人形コレクション	45点	松本市	丸の内4-1 (市立博物館)
昭和34. 5. 6	信仰	民間信仰資料コレクション	293点	松本市	丸の内4-1 (市立博物館)
	生産生業	農耕用具コレクション	79点	松本市	丸の内4-1 (市立博物館)

エ 史跡 [3件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和 5. 11. 19	史跡	松本城 (昭和45. 1. 17総堀追加指定) (平成19. 2. 16西総堀土塁追加指定) (平成25. 3. 27南西外堀追加指定) (平成26. 3. 18南西外堀追加指定) (平成27. 3. 10南西外堀追加指定) (平成28. 3. 1南西外堀追加指定) (平成29. 10. 13南西外堀追加指定)	国・県・松本市他	丸の内4-1他
昭和51. 2. 20	史跡	弘法山古墳	松本市	並柳2-1000他
平成29. 2. 9	史跡	小笠原氏城跡 (井川城跡・林城跡) (平成31. 2. 26林城跡 (小城) 追加指定)	松本市・個人	井川城1-4553他、里山辺5348他

オ 名勝 [1件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3. 29	特別名勝及び特別天然記念物	上高地	国・穂高神社	安曇4469-2他

カ 天然記念物 [2件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和27. 3. 29	特別名勝及び特別天然記念物	上高地	国・穂高神社	安曇4469-2他
	特別天然記念物	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石 (令和2. 3. 10石灰華分布域追加指定)	松本市ほか	安曇4190-ハ他

キ 重要美術品 [2件]

指定年月	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和18. 10. 1	書跡	手鑑「兎玉集」	1帖	松本市	中央4-2-22(美術館)
昭和19. 7. 6	工芸品	銅鐘	1口	長稱寺	女鳥羽2-4-42

ク 登録有形文化財(建造物) [61件]

登録年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
平成11. 10. 14	住宅	原田家住宅主屋	1棟	個人	入山辺南方582
平成12. 4. 28	住宅	波多腰家住宅主屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅米蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅味噌蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅納屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅灰屋	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅文庫蔵	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅表門	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅門	1棟	個人	波田6492
	住宅	波多腰家住宅中門	1棟	個人	波田6492
住宅	波多腰家住宅南門	1棟	個人	波田6492	
平成14. 8. 21	治山治水	釜ヶ淵堰堤	1基	国	安曇4460地先
平成15. 3. 18	学校	長野県松本深志高等学校管理普通教室棟	1棟	長野県	蟻ヶ崎3-8-1
	学校	長野県松本深志高等学校講堂	1棟	長野県	蟻ヶ崎3-8-1
平成16. 3. 2	住宅	塩原家住宅主屋	1棟	個人	今井上耕地5990
	住宅	塩原家住宅門	1棟	個人	今井上耕地5990
	住宅	塩原家住宅米蔵	1棟	個人	今井上耕地5990
	産業1次	塩原家住宅蚕屋	1棟	個人	今井上耕地5990
	産業3次	松本館旧館	1棟	㈱松本館	丸の内163-1
	産業3次	松本館便所棟	1棟	㈱松本館	丸の内163-1

平成17.11.10	宗教	無量寺本堂	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺庫裏	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺鐘楼堂	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
平成17.11.10	宗教	無量寺宝物殿	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺土蔵	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
	宗教	無量寺衆寮	1棟	無量寺	会田岩井堂3111
平成19.10.2	産業3次	旧第一勲業銀行松本支店	1棟	榊明神館	大手3-70-5
平成22.9.10	産業3次	旧光屋店舗兼主屋	1棟	個人	大手4-1169-1他
	産業3次	旧光屋文庫蔵	1棟	榊明神館	大手4-1169-1他
平成23.10.28	学校	松商学園高等学校本館	1棟	(学)松商学園	県3-2312-2他
	学校	松商学園高等学校講堂	1棟	(学)松商学園	県3-2301-4他
	学校	松商学園高等学校柔剣道場	1棟	(学)松商学園	県3-2301-4他
	産業3次	徳本峠小屋休憩所	1棟	個人	安曇1743
	住宅	嘉門次小屋囲炉裏の間	1棟	(術)嘉門次小屋	安曇4469-1
	産業1次	旧上高地孵化場飼育池(信州大学山岳科学総合研究所上高地ステーション観	1所	国立大学法人信州大学	安曇4469-1
平成24.8.13	産業1次	旧上高地孵化場物置(信州大学山岳科学総合研究所上高地ステーション別	1棟	国立大学法人信州大学	安曇4469-1
	その他	旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫(信州大学医学部資料室)	1棟	国立大学法人信州大学	旭3-696-1
平成26.10.7	宗教	徳運寺本堂	1棟	徳運寺	入山辺4526
	宗教	徳運寺庫裏	1棟	徳運寺	入山辺4526
	宗教	徳運寺山門及び高塀	1棟	徳運寺	入山辺4526
平成27.8.4	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源集水井及び会所	1棟	松本市	島内3635-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源石垣及び階段	1棟	松本市	島内3635-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源旧唧筒室	1棟	松本市	島内3890-1
	生活関連	松本市上下水道局島内第一水源倉庫	1棟	松本市	島内3890-1
	生活関連	松本市上下水道局城山配水地接合井	1棟	松本市	蟻ヶ崎字城山腰1133-1
	生活関連	松本市上下水道局城山配水地旧配水池	1棟	松本市	蟻ヶ崎字城山腰1133-1
平成29.10.27	住宅	大嶋家住宅主屋	1棟	個人	笹賀4143
平成30.3.27	住宅	本折井家住宅主屋	1棟	個人	白板1丁目81
平成30.5.10	住宅	平林家住宅主屋	1棟	個人	笹賀5063
令和元.9.10	産業2次	旧昭和興業製糸場	1棟	松本市	島立2196-1(歴史の里)
令和3.2.26	宗教	日本聖公会松本聖十字教会	1棟	日本聖公会中部教区	開智1-200-1
令和3.10.14	治山治水	牛伏川第二号堰堤	1基	長野県	松本市大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第三号堰堤	1基	長野県	松本市大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第四号堰堤	1基	長野県	松本市大字内田字内田山
	治山治水	牛伏川第五号堰堤	1基	長野県	松本市大字内田字内田山
	住宅	旧小澤家住宅主屋	1棟	合名会社小沢一塚社	松本市保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅離れ	1棟	合名会社小沢一塚社	松本市保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅北土蔵	1棟	合名会社小沢一塚社	松本市保福寺246
	住宅	旧小澤家住宅南土蔵	1棟	合名会社小沢一塚社	松本市保福寺246
	文化福祉	旧松岡医院	1棟	(術)かわかみ建築設計室	松本市大手5丁目1319-5

ケ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 [2件]

選択年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
平成10.12.1	風俗慣習	松本のミキノクチ製作習俗		
平成12.12.25	風俗慣習	松本のコトヨウカ行事		

(3) 県指定文化財等

ア 県宝 [20件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和41. 1. 27	建造物	筑摩神社拝殿	1棟	筑摩神社	筑摩2-6-1
昭和42. 5. 22	工芸品	刀銘松代藩吉原一菴直行佩刀 明治元年十月日兼虎	1口	個人	入山辺85
昭和44. 5. 15	考古資料	桜ヶ丘古墳出土品 (平成22. 10. 18金銅製天冠除く63点追加指定)	64点	松本市	中山3738-1(考古博物館)
昭和45. 10. 22	絵画	絹本着色真言八祖像	8幅	洞光寺	刈谷原町692
昭和47. 3. 21	彫刻	木造千手観音立像	1軀	海岸寺千手観音保存会	入山辺東桐原
昭和49. 1. 17	彫刻	木造金剛力士像	2軀	松本市	波田4570-1他
昭和49. 11. 14	彫刻	木造十一面観音立像	1軀	放光寺	蟻ヶ崎1283
昭和51. 3. 29	建造物	橋倉家住宅	1棟	松本市	旭2-10-1
昭和60. 11. 21	建造物	旧山辺学校校舎	1棟	松本市	里山辺2932-3
	彫刻	木造蔵王権現立像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造如意輪観音坐像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造奪衣婆坐像	1軀	牛伏寺	内田2573
昭和61. 8. 25	歴史資料	里山辺お船祭のお船	9基	里山辺9町会	里山辺9町会
平成 5. 8. 12	考古資料	弘法山古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
平成10. 10. 26	彫刻	銅造菩薩半跏像	1軀	盛泉寺	波田6011
平成11. 3. 18	彫刻	銅造伝薬師如来坐像御正体残闕	1軀	盛泉寺	波田6011
平成17. 3. 28	建造物	旧松本カトリック教会司祭館	1棟	松本市	開智2-6-24
平成24. 3. 22	建造物	旧念来寺鐘楼	1棟	妙勝寺	中央4-9-12
平成30. 2. 13	彫刻	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	3軀	西善寺	和田境1317
令和 2. 3. 16	考古資料	エリ穴遺跡出土品	485点	松本市	中山3738-1

イ 無形民俗文化財 [1件]

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和63. 3. 24	島立堀米の裸祭り	島立堀米町会	島立堀米

ウ 史跡 [4件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和35. 2. 11	史跡	埴原牧跡附信濃諸牧牧監庁跡	松本市・個人	中山古屋敷、千石、乾田
昭和45. 10. 22	史跡	小笠原氏城跡 (昭和55. 9. 8山家城、桐原城追加指)	松本市・個人	入山辺字日影7350他
昭和59. 3. 1	史跡	旧野麦街道	国・松本市	奈川ワサビ沢
平成 9. 2. 20	史跡	針塚古墳	松本市	里山辺3172, 3173

エ 名勝 [2件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和54. 3. 22	名勝	中田氏庭園	個人	出川2-23-4
昭和56. 12. 7	名勝	三本滝	国	安曇国有林144林班ホ

オ 天然記念物 [9件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和37. 9. 27	天然記念物	梓川のもみ	大宮熱田神社	梓川梓4419
昭和40. 7. 29	天然記念物	千手のイチョウ	個人	入山辺8548
昭和43. 5. 16	天然記念物	大野田のフジキ	伊勢二ノ宮神社	安曇394
昭和48. 3. 12	天然記念物	穴沢のクジラ化石	松本市	取出大平1236-1
昭和60. 11. 21	天然記念物	シナノトド化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
平成15. 12. 7	天然記念物	八幡宮鞠子社のメグスリノキ	八幡宮鞠子社合殿	梓川上野1942-1
平成17. 3. 28	天然記念物	反町のマッコウクジラ全身骨格化石	松本市	七嵐85-1(化石館)
平成17. 9. 26	天然記念物	横川の大イチョウ	個人	中川横道下4825-1他
平成19. 1. 11	天然記念物	矢久のカヤ	個人	中川6229

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 [1件]

選択年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
平成13. 9. 11	松本のぼんぼん・青山様		

(4) 市指定文化財

ア 重要文化財 [129件]

指定年月日	種別	名称	員数	所有者又は管理者	所在地
昭和36. 1. 24	工芸品	筑摩神社梵鐘	1口	筑摩神社	筑摩2-6-1
	工芸品	筑摩神社の陵王・納曾利面	2面	筑摩神社	筑摩2-6-1
	工芸品	廣澤寺堆朱菊花文香合	1合	廣澤寺	里山辺5112
昭和37. 8. 31	彫刻	男神立像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	女神坐像	2軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	地藏菩薩半跏像	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	十王像 附 司命司録	12軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	童子坐像 附 子持石	1軀	牛伏寺	内田2573
	工芸品	追儺面	2面	牛伏寺	内田2573
	工芸品	鉄磬残欠 附 鉄劍残欠 鏡残欠	5口	牛伏寺	内田2573
昭和44. 7. 4	建造物	岡宮神社本殿	1棟	岡宮神社	旭1-4-16
	建造物	牛伏寺観音堂	1棟	牛伏寺	内田2573
	建造物	牛伏寺仁王門	1棟	牛伏寺	内田2573
	建造物	無極寺本堂	1棟	無極寺	和田1743
	建造物	高橋家住宅	1棟	松本市	開智2-9-10
	建造物	浄林寺山門	1棟	浄林寺	中央1-24-2
	建造物	中田家住宅	2棟	個人	出川2-23-4
	工芸品	岡宮神社神輿	1台	岡宮神社	旭1-4-16
	工芸品	深志神社神輿	2台	深志神社	深志3-7-43
昭和55. 3. 18	彫刻	大安楽寺の木造大日如来坐像	1軀	大安楽寺	女鳥羽2-5-8
	彫刻	西善寺の木造阿弥陀如来坐像及両脇侍立像	3軀	西善寺	和田境1317
	彫刻	西善寺の木造地藏菩薩半跏像	1軀	西善寺	和田境1317
	彫刻	正念寺の木造阿弥陀如来半跏像及両脇侍立像	3軀	正念寺	寿中1-28-7
	彫刻	正念寺の木造地藏菩薩立像	1軀	正念寺	寿中1-28-7
昭和61. 3. 13	彫刻	今村観音堂の木造阿弥陀如来坐像	1軀	笹賀今区	笹賀827
	彫刻	小俣観音堂の木造千手観音立像 附 注文証文	1軀	笹賀小俣区	笹賀1824-1
昭和62. 4. 14	考古資料	柏木古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	中山36号古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
昭和63. 3. 17	彫刻	神宮寺の薬師如来坐像	1軀	神宮寺	浅間温泉3-21-1
	彫刻	王徳寺の不動明王坐像	1軀	王徳寺	寿北9-10-1
	考古資料	下神遺跡熊坂10号住居址出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
平成 6. 3. 31	建造物	馬場家住宅旧灰部屋	1棟	松本市	内田357-6
平成 7. 4. 28	建造物	千鹿頭神社本殿	1棟	千鹿頭神社	神田1-887
	建造物	千鹿頭社本殿	1棟	千鹿頭社	里山辺5203
	建造物	松本城天守土台支持柱残欠	1基	松本市	丸の内4-1
	絵画	西善寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	西善寺	和田境1317
	工芸品	松竹梅と桐紋蒔絵の女乗物	1台	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	工芸品	戸田家伝世の甲冑	1領	個人	丸の内4-1(市立博物館)
	工芸品	野々山家伝来拵付大小	1腰	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	書跡	西善寺名号刻字額	1面	西善寺	和田境1317
	古文書	諸士出身記並びに出身記・出身帳等	一括	松本市	丸の内4-1(松本城)
	古文書	朱印状及び領知目録	一括	松本市	丸の内4-1(松本城)
	考古資料	旧海岸寺経塚出土品	一括	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	考古資料	南方古墳出土品	一括	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	三間沢川左岸遺跡出土銅印	1顆	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	南栗遺跡出土銅鏡	1点	松本市	中山3738-1(考古博物館)
	考古資料	針塚遺跡再葬墓出土弥生土器	一括	松本市・個人	中山3738-1(考古博物館)
	歴史資料	寛永通宝松本銭と鑄造の許状	1点1通	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
	歴史資料	松本城下絵図	1舗	松本市	丸の内4-1(松本城)
	歴史資料	信濃国松本藩領国大絵図	1舗	松本市	丸の内4-1(松本城)

平成11. 3. 4	建造物	浅間温泉天満宮本殿	1棟	天満宮	浅間温泉1173-2	
	建造物	和田神社本殿	1棟	和田神社	和田2687	
平成13. 7. 2	歴史資料	西善寺の彈誓上人立像	1軀	西善寺	和田境1317	
	歴史資料	正念寺の彈誓上人立像	1軀	正念寺	寿中1-28-7	
平成15. 2. 26	建造物	小俣諏訪社本殿	1棟	小俣諏訪社	笹賀1822	
平成18. 3. 27	建造物	松澤家長屋門	1棟	松本市	会田361	
	絵画	奉納絵馬「潮干狩之図」	1幅	会田御厨神明宮	会田4040-1	
	彫刻	木造千手観音立像	1軀	保福寺	保福寺町727-4	
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	穴沢町会	穴沢525-イ	
	彫刻	木造大覚禪師倚像	1軀	長安寺	会田1001-1	
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	廣田寺	会田566	
平成19. 3. 30	建造物及び工芸品	恭儉寺鐘楼並びに梵鐘	1棟	恭儉寺	梓川梓5577	
	建造物	山村家稻荷社	1棟	個人	村井町南1-29-7	
	彫刻	聖観世音菩薩像	1軀	金松寺	梓川梓3457	
	彫刻	釈迦堂の釈迦如来坐像	1軀	南北条町会他	梓川梓4238-1	
平成20. 12. 22	建造物	上野真光寺の観音厨子	1棟	真光寺	梓川上野1918	
	絵画	洞光寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	洞光寺	刈谷原町692	
	絵画	常光寺紙本着色釈迦涅槃図	1幅	保福寺町町会	保福寺町142-2	
	絵画	氷室の三大師画像	1幅	氷室地区総代	梓川倭2765	
	彫刻	麻生薬師堂木造薬師如来坐像及び両脇侍立像	3軀	麻生集落	五常8184-口	
	歴史資料	刈谷原町の庚申塔	1基	刈谷原町町会	刈谷原町無番地	
平成20. 12. 22	歴史資料	常光寺木造大日如来坐像	1軀	保福寺町町会	保福寺町142-2	
	歴史資料	常光寺木造毘沙門天立像	1軀	保福寺町町会	保福寺町142-2	
	歴史資料	原山の善光寺常夜燈	1基	原山町会	中川2237-3	
	歴史資料	会吉の地藏	1基	会吉町会	中川会吉 地藏峠	
	歴史資料	藤池の百体観音	一括	藤池町会	中川7887	
	歴史資料	浄雲寺木造阿弥陀如来立像	1軀	浄雲寺	取手934	
	歴史資料	長安寺木造虚空蔵菩薩坐像	1軀	長安寺	会田611	
	歴史資料	廣田寺山門周辺石造物群	一括	廣田寺	会田566	
	歴史資料	廣田寺木造十八羅漢像	18軀	廣田寺	会田566	
	歴史資料	本町の善光寺常夜燈	1対	本町町会	会田432-1	
	歴史資料	岩井堂の芭蕉句碑	1基	無量寺	会田337-2	
	歴史資料	無量寺木造阿弥陀如来坐像	1軀	無量寺	会田3111	
	歴史資料	岩井堂の観音堂木造千手観音坐像	1軀	長安寺	会田3596	
	歴史資料	観音山周辺石造物群	一括	長安寺	会田3596	
	歴史資料	岩井堂の馬頭観音	1基	岩井堂町会	会田9172-18	
	歴史資料	麻生薬師堂薬師如来	1基	麻生集落	五常8184-口	
	歴史資料	小室七日山金比羅宮参道石仏群	一括	小室町会金比羅宮氏子	梓川梓6930	
	平成21. 12. 22	建造物	工女宿宝来屋	1棟	松本市	島立2196-1
		彫刻	男神坐像	1軀	牛伏寺	内田2573
		彫刻	明阿上人坐像	1軀	松本市	丸の内4-1(市立博物館)
考古資料		経筒	1点	牛伏寺	内田2573	
歴史資料		松本神社の宝物	118点	松本神社	丸の内10-37	
歴史資料		餌差町十王堂の諸仏	13軀	餌差町十王堂の諸仏保存会	大手5-5-31	
平成23. 3. 22	歴史資料	深志神社の宝物	3点	深志神社	深志3-7-43	
	建造物	金亀多宝塔	1棟	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	銅造菩薩立像	1軀	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	木造不動明王立像	1軀	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	真言宗祖師像	2軀	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1軀	上波田高齢者クラブ	波田4570	
	彫刻	銅造薬師如来坐像御正体残闕	1軀	個人	波田5984	
	彫刻	線彫六地藏尊像	6基	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	線彫一石六地藏尊像	1基	盛泉寺	波田6011	
	彫刻	線彫閻魔王坐像	1基	上波田高齢者クラブ	波田4570	
	歴史資料	西光寺絵図	1幅	上波田高齢者クラブ	波田4570	
	歴史資料	若澤寺閻係供養碑	3基	水沢山共有林組合他	波田4570他	
	歴史資料	若澤寺参道丁石	10基	水沢山共有林組合他	波田4570他	

平成24. 3. 26	建造物	八坂神社本殿	1棟	八坂神社	里山辺3684-1
	考古資料	古瀬戸瓶子・四耳壺	2点	松本市	波田4417-1 (波田公民館)
平成27. 7. 7	建造物	正覚院観音堂	1棟	正覚院	今井2180-1
	建造物	牛伏寺観音堂宮殿	1棟	牛伏寺	内田2573-1
	建造物	牛伏寺如意輪堂	1棟	牛伏寺	内田2573-1
	絵画	牛伏寺四尊像	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	工芸品	牛伏寺銅板線刻十一面観音御正体	1面	牛伏寺	内田2573-1
	書跡	牛伏寺法華経断簡	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	書跡	牛伏寺光明真言頌	1幅	牛伏寺	内田2573-1
	典籍	牛伏寺宋版大般若経	94帖18点	牛伏寺	内田2573-1
	考古資料	牛伏寺銅伏鉦	1点	牛伏寺	内田2573-1
平成28. 3. 23	歴史資料	放光庵の石造地藏菩薩立像	1軀	放光庵	大手5-376 (放光庵)
平成29. 3. 29	彫刻	円城寺の木造観音菩薩立像	1軀	円城寺	内田2573 (牛伏寺)
	建造物	南方諏訪神社本殿	1棟	諏訪社	入山辺7511
平成30. 2. 23	歴史資料	生安寺の木造地藏菩薩半跏像	1軀	生安寺	蟻ヶ崎4-5-39(生安寺)
	建造物	千鹿頭社拝殿	1棟	千鹿頭神社	里山辺5203-1
令和 2. 3. 27	彫刻	木造男神坐像 (前鉢伏神社伝来)	1軀	牛伏寺	内田2573
	彫刻	木造菩薩形立像及び木造天部形立像2軀	3軀	個人	松本市内
令和 4. 3. 29	古文書	廣澤寺文書	12点	廣澤寺	里山辺5112
	古文書	倉科家文書	36点	個人	松本市内
	古文書	立石清重関係文書	1428点	個人(文書館寄託)・松本市	鎌田2-8-25 (文書館) 蟻ヶ崎2-4-40 (旧開智学校)

イ 重要有形民俗文化財 【5件】

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和55. 3. 18	西善寺の名号雨乞軸	西善寺	和田境1317
平成 7. 4. 28	初市の宝船・七福神人形	松本市	丸の内4-1 (市立博物館)
平成13. 7. 2	松本城下町の舞台	深志神社氏子等18町会	深志3-7-43他
	西善寺の百万遍大数珠	西善寺	和田境1317
平成18. 3. 27	木造聖観音立像二十軀	西北山集落	会田1001-1

ウ 重要無形民俗文化財 【25件】

指定年月日	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和51. 10. 21	内田のササラ踊り	内田ササラ踊り保存会	内田
平成 4. 3. 11	島内の鳥居火	鳥居火会	島内
	ぼんぼんと青山様	松本市内23地区の行事实施町会長	松本市内
平成 8. 2. 8	里山辺追倉のお八日の綱引き	里山辺追倉のお八日の綱引き行事頭屋	里山辺薄町
	入山辺上手町の貧乏神送りと風邪の神送り	入山辺上手町町会	入山辺上手町
	今井下新田の八日念仏と足半	今井下新田町会	今井下新田
	両島のお八日念仏と足半	両島地区お八日念仏足半草履保存会	両島
	入山辺舟付の八日念仏と百足ひき	入山辺舟付・宮原町会舟付地区	入山辺舟付
	入山辺中村の風邪の神送り	入山辺北入中部町会中村地区	入山辺中村
	入山辺厩所の貧乏神送り	入山辺原・厩所町会厩所地区	入山辺厩所
	入山辺奈良尾の貧乏神送りと風邪の神送り	入山辺三反田・奈良尾町会奈良尾地区	入山辺奈良尾
平成12. 6. 30	内田のおんべ祭り	内田第4町会横山講中、第5町会北花見講中、第6町会荒井常会	内田横山、北花見、荒井
	入山辺大和合神社の御柱祭り	大和合神社の氏子	入山辺大和合
	入山辺宮原神社の御柱祭り	宮原神社の氏子	入山辺宮原
	入山辺橋倉諏訪神社の御柱祭り	橋倉諏訪神社の氏子	入山辺橋倉
	里山辺須々岐水神社の御柱祭り	須々岐水神社の氏子	里山辺薄町、湯の原、新井、下金井、荒町、西荒町、上金井、藤井、兔川寺
	里山辺千鹿頭社の御柱祭り	千鹿頭社の氏子	里山辺林、大嵩崎
	神田千鹿頭神社の御柱祭り	千鹿頭神社の氏子	神田
	島立沙田神社の御柱祭り	沙田神社の氏子	島立三の宮、中村、永田、町区、大庭、小柴、荒井、堀米

平成19. 3.30	古宿の祇園囃子	子安諏訪神社氏子総代	奈川（古宿）
	奈川獅子	奈川獅子保存会・奈川獅子舞保存会	奈川（寄合渡）
	花見の御柱	花見育成会他	梓川上野（花見）
平成26.12.26	上波田の御柱	上波田御柱保存会	波田13区町会及び14区町会
平成27.12.25	横沢の御柱とスースー	横沢中御柱保存会及び横沢第2町会 西下	松本市梓川倭2161-6及び3256-1の西側道路敷
令和 2. 3.20	法音寺の百万遍	法音寺常会	五常落水

エ 特別史跡 [19件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和36. 1.24	特別史跡	戸田家廟園	松本市他	県2-3-5
昭和42. 2. 1	特別史跡	源智の井戸	松本市	中央3-7
	特別史跡	了智上人の墓	個人	島立4900
	特別史跡	中山古墳群	埴原神社・松本市他	中山地区一帯
	特別史跡	徳雲寺跡	徳運寺	入山辺4526
	特別史跡	伊深城跡	松本市・岡田財産区	岡田伊深1518-口、八他
	特別史跡及び特別天然記念物	槻井泉神社の湧泉とケヤキ	個人	清水1-2他
	昭和55. 3.18	特別史跡	水野家廟所	玄向寺
昭和57.12.20	特別史跡	稲倉城跡	個人	稲倉1510他
昭和60. 7.18	特別史跡	御殿山小笠原家廟所	個人・神宮寺	浅間温泉1175
昭和61. 3.13	特別史跡	廣澤寺の小笠原家墓所	廣澤寺	里山辺5112-イ
昭和63. 3.17	特別史跡	秋葉原第1号古墳	松本市	新村1963-1
平成21.12.22	特別史跡	旧上神林村高札場	松本市	神林1905
平成23. 3.22	特別史跡	若澤寺跡	水沢山共有林組合他	波田9103
	特別史跡	波多山城跡	個人	波田8946他
平成24. 3.26	特別史跡	元寺場跡	林野庁	波田
平成24.11. 2	特別史跡	安塚第6号古墳	個人	新村1042
平成26. 3. 5	特別史跡	平瀬城跡	個人	島内9627イ号他
平成27. 7. 7	特別史跡	牛伏寺堂平	牛伏寺	内田2574-1

オ 特別名勝 [10件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和55. 3.18	特別名勝	玄向寺の境内	玄向寺	大村681
昭和57.12.20	特別名勝	法船寺の境内	法船寺	内田2946
平成19. 3.30	特別名勝	番所大滝	国・松本市	安曇3788-2先 他
	特別名勝	善五郎の滝	国・松本市	安曇4306-3先 他
	特別名勝	乗鞍高原一の瀬のミズバショウ群落とレンゲツツジ群落	大野川区、大野川区営企業株式会社	安曇4307他
	特別名勝	天狗の滝	松本市	奈川1629-1・2082-1
	特別名勝	岩岡の火打岩（明神岩）	岩岡神社氏子中	梓川倭4132
平成20.12.22	特別名勝	林照寺庭園	林照寺	奈川2462
平成26. 7.25	特別名勝	百瀬家庭園	個人	平田西1-277
令和 2. 1.28	特別名勝	城山公園	国	蟻ヶ崎1219の一部、1221-2

カ 特別天然記念物 [40件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
昭和42. 2. 1	特別史跡及び特別天然記念物	槻井泉神社の湧泉とケヤキ	個人	清水1-2他
	特別天然記念物	東方のビャクシン	個人	島内4817-1
	特別天然記念物	西牧家祝殿のビャクシン	個人	新村2342-口
	特別天然記念物	牛伏寺のカラマツ	牛伏寺	内田2573
	特別天然記念物	内田のカキ	個人	内田1015
	特別天然記念物	内田のケヤキ	個人	内田322
	特別天然記念物	中村のカヤ	個人	入山辺2529
昭和44. 7. 4	特別天然記念物	古池氏の屋敷林	個人	今井5953他
昭和50.11.11	特別天然記念物	伊和神社のケヤキ群	伊和神社	惣社539、540
	特別天然記念物	和田萩原家のコウヤマキ	個人	和田330
	特別天然記念物	常楽寺のコウヤマキ	常楽寺	内田2090
昭和51.10.21	特別天然記念物	芳川のタキノジューム	松本市	村井町北1-594-42
昭和62. 4.14	特別天然記念物	岡田神社旧参道のケヤキ	岡田神社	岡田下岡田487他

平成18. 3. 27	特別天然記念物	長命寺跡のモミ	七嵐町会	七嵐1123-ロ
	特別天然記念物	殿野入春日社のスギ	殿野入町会	殿野入941
	特別天然記念物	矢久のアカマツ	個人	中川6076
	特別天然記念物	東北山のイチイ	個人	五常6156-イ
	特別天然記念物	社宮祠のシダレヒガンザクラ	個人	五常7738
	特別天然記念物	赤怒田のフクジュソウ群生地 (令和元. 7. 1一部指定解除)	個人	赤怒田64-1の一部他
平成19. 3. 30	特別天然記念物	入山の御殿桜	松本市	奈川4641-6
	特別天然記念物	入山のトチの群生	松本市	奈川4879-1
	特別天然記念物	追平のシダレグリ	松本市	奈川1921-1
	特別天然記念物	中塔のツガ	個人	梓川梓7215-1
	特別天然記念物	金松寺山のシダレカラマツ	松本市	梓川 市有林18-ろ-1イ
平成20. 12. 22	特別天然記念物	七嵐のカツラ	個人	七嵐540-1
平成23. 3. 22	特別天然記念物	三ツ岩	個人	波田2883-1
	特別天然記念物	安養寺のシダレザクラ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	安養寺の三本スギ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	安養寺のコウヤマキ	安養寺	波田1660
	特別天然記念物	イワテヤマナシ	個人	波田6492
	特別天然記念物	カラカサスギ	諏訪社	波田菖蒲沢
	特別天然記念物	波田小学校のアカマツ林	松本市	波田10286-1
	特別天然記念物	波多神社のコナラ	波多神社	波田4571
平成25. 6. 20	特別天然記念物	奈川のゴマシジミ	無主物	奈川
平成27. 7. 7	特別天然記念物	牛伏寺ブナ林	牛伏寺	内田2574-1
平成28. 3. 23	特別天然記念物	大型鰭脚類の陰茎骨化石	松本市	七嵐85-1 (化石館)
	特別天然記念物	アロデスムス頭骨の化石	松本市	七嵐85-1 (化石館)
平成30. 2. 23	特別天然記念物	廣澤寺参道のケヤキ並木	廣澤寺	里山辺5112-イ他
平成30. 8. 21	特別天然記念物	枇杷の湯のサルスベリ群	個人	浅間温泉3-641-21他4筆
令和3. 12. 27	特別天然記念物	シガウスバハギの化石	松本市	七嵐85-1 (化石館)

キ 登録文化財 [3件]

指定年月日	種別	名称	所有者又は管理者	所在地
令和元. 9. 27	建造物	旧デリー (壺の蔵)	個人	中央2丁目476-6
令和3. 9. 28	建造物	旧今井京染店店舗兼主屋	個人	松本市4丁目1262-イ
令和3. 9. 28	建造物	旧今井京染店土蔵	個人	松本市4丁目1262-イ

※各文化財の詳細については、松本市公式ホームページ内に設置した「松本のたから」をご覧ください。
ホームページアドレス <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/kyoiku/51931.html>

Ⅲ ホームページ・SNS

1 ホームページ

教育委員会内で独自のホームページを開設しているものを紹介します。

(1) 松本市教育委員会

ア 「松本市教育委員会」 <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/>

イ 開設年月 令和4年6月

ウ 主な内容

令和4年6月、松本市ホームページの更新に伴い、松本市教育委員会のサイトを新設しました。松本市の教育行政全般に関する情報発信を行っています。また、松本市の教育行政の動向や話題を「教育長通信」として、定期的に発信しています。



(2) 中央図書館

ア 「松本市図書館」 <https://www.lib.city.matsumoto.lg.jp/>

イ 開設年月 平成24年12月（平成30年4月リニューアル）

ウ 主な内容

図書館イベントの情報発信や利用案内の周知のほか、蔵書検索等を行うものです。パスワード登録することで資料の予約、利用状況の確認、My本棚などの機能を利用することができます。また、美術館、博物館、国立国会図書館などの松本市の地域資料横断検索「まつサーチ」にリンクしています。



(3) 松本城管理課

ア 「国宝 松本城」 <http://www.matsumoto-castle.jp/>

イ 開設年月 平成27年4月

ウ 主な内容

世界遺産を目指す松本城を国内外へ広く周知するものです。

松本城の歴史文化財としての価値や魅力を発信するため、観光面だけでなく文化面の情報も掲載しています。4カ国語表記による情報発信、松本城の歴史や構造、松本城の価値、収蔵品のほか、イベント情報、松本城周辺の街歩きルート、松本城の四季の写真などを掲載しています。



(4) 博物館

ア 「松本まるごと博物館」 <https://www.matsu-haku.com/>

イ リニューアル 平成27年4月

ウ 主な内容

松本のマチ全体を屋根のない博物館として、松本まるごと博物館「まる博」を紹介するホームページです。「まる博・各館案内」では本館及び15分館の企画展などの案内、定期刊行物、収蔵品の紹介をしているほか、「まる博マップ」や「あなたと博物館（定期刊行物）」、ミュージアムショップの情報などを掲載しています。



2 SNS

教育委員会内で情報発信しているSNSについて紹介します。

(1) Facebook

概 要	担当課
松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～ 図書館の新設、事業、イベント情報 図書館所蔵の資料に関する情報 その他図書館に関する周知事項 等	中央図書館
まつもとの文化財 市内の指定・未指定文化財の紹介 文化財課業務（各事業や主催イベント）の紹介 地域住民による文化財活動の紹介	文化財課

(2) Twitter

概 要	担当課
松本市教育文化センター 教育文化センター各種事業の紹介 教育文化センターの施設・周辺環境・関連団体の紹介	松本市教育文化センター
国宝旧開智学校校舎 耐震工事の進捗状況 各種イベント情報 旧開智学校や昔の教育に関する情報	博物館 旧開智学校校舎

(3) Instagram

概 要	担当課
まつもとの文化財 市内の指定・未指定文化財の紹介 文化財課業務（各事業や主催イベント）の紹介 地域住民による文化財活動の紹介	文化財課

(4) YouTube

概 要	担当課
松本市教育委員会公式チャンネル 松本市教育委員会各課の教育動画 松本市教育委員会施設の紹介動画	教育政策課

Ⅳ 定期刊行物

教育委員会内の定期刊行物を紹介します。

1 教育政策課

「松本市教育研修センターだより」

松本市教育研修センターだより No.6 令和4年10月5日

教職員の働き方改革に向けてのプロジェクト始動
～波田小学校の実践に学ぶ～

【9月7日 松本市教育委員会ホームページ 教育長通信より】
(前略)実は、この8月から、波田小学校の教職員の皆さんが、自ら一歩を踏み出そうと、「未来の教室」実証事業に参加してくれています。国が実施するこの事業は、全国で学校の働き方改革のコンサルティングを展開している「先生の幸せ研究所」の支援を受けながら、学校の先生方が自ら状況を改善する成功体験を積み重ねることで、働き方改革とともに向上と進歩の気風あふれる文化をつくりあげていくことを目的としているもので、全国の学校や教育委員会が参加されています。
今回のプロジェクトには、波田小学校の校長先生として、市教委の事務局職員も参加していますが、波田小学校の皆さんの前向きな取組みに大いに刺激を受けています。今後この実証事業の成果が市内の学校にも広げられるよう取り組んでいきたいと思っております。

教育長通信にありますように、波田小学校では「働き方改革プロジェクト」が始動しました。9月14日の職員会後半で行われた「働き方改革のワークショップ」に市教委の事務局職員2名が参加しました。最初にプロジェクトの推進リーダーから「本日のテーマは『一度やめてみる』です。突飛なアイデア大歓迎！どんどん出してください」という言葉があり、ワークショップを開始しました。

「ワークショップ(学年、科、専科領域等別の8グループ)の進め方」
10分間：波田小学校職員のクラスルームの「未来の教室ワークショップ(Googleジャムボード)」を開き、付箋に「一度やめてみる」「これは、すぐには無理だな」「いや、できませんよ」などと素直に意見を述べながら、付箋を移動させていました。波田小学校の先生方が自由にジャムボードを使いこなしている姿や、「働き方改革」という一つの目標に向かってみんなで生き生きと語り合っている姿が心に残りました。市教委も「伴走者」として波田小学校の実践と共に学んでいきたいと思いを新たにしました。

ICT研修も兼ねている」と三輪校長先生が語られたように、先生方はタブレット上の Google ジャムボードを使い、「一度やめてみる」ことを次々に付箋に打ち込んでいきました。その後、グループごと「これはすぐ削減できるな」「これは、すぐには無理だな」「いや、できませんよ」などと素直に意見を述べながら、付箋を移動させていました。波田小学校の先生方が自由にジャムボードを使いこなしている姿や、「働き方改革」という一つの目標に向かってみんなで生き生きと語り合っている姿が心に残りました。市教委も「伴走者」として波田小学校の実践と共に学んでいきたいと思いを新たにしました。

お問合わせ等は教育研修センターへ
0263-87-9909
e-kansyu@city.matsumoto.lg.jp

(1) 発行回数

月1回

(2) ページ数

2ページ

(3) 主な内容

教育研修センター主催の研修に関する情報や研修レポート、研修参加者の声などを掲載しています。

各学校及び市内外の教育機関に配信するとともに、市公式ホームページにも掲載しています。

(4) 創刊年月 令和4年5月

(5) 通算6号(令和4年10月現在)

2 学校教育課

「わたしたちの松本市」

小学校三年四年用社会科学習帳
わたしたちの松本市

松本市教育委員会 編
松本市教育会

(1) 発行回数 年1回

(2) ページ数 138ページ(B5版)

(3) 編集 松本市教育会 社会科資料委員会

(4) 主な内容

小学校3・4年生が松本のまちについて学ぶ副読本です。(主に社会科の授業で使用)

児童が松本のまちについて自分で調べる手助けとなるよう、写真や地図、グラフなどを使って、松本市での暮らしや郷土に伝わる願いなどをわかりやすく掲載しています。

この副読本は、昭和35年に源池小学校で3年生の副読本として発行されました。その後、副読本の普及にともない、松本市教育会が編集し教育委員会が発行し、市内3・4年生全員に無償配布されています

(5) 創刊年月 昭和35年

(6) 通算60号(令和2年5月現在)

3 学校給食課

「給食センターだより」



(1) 発行回数

年3回

(2) ページ数

2ページ

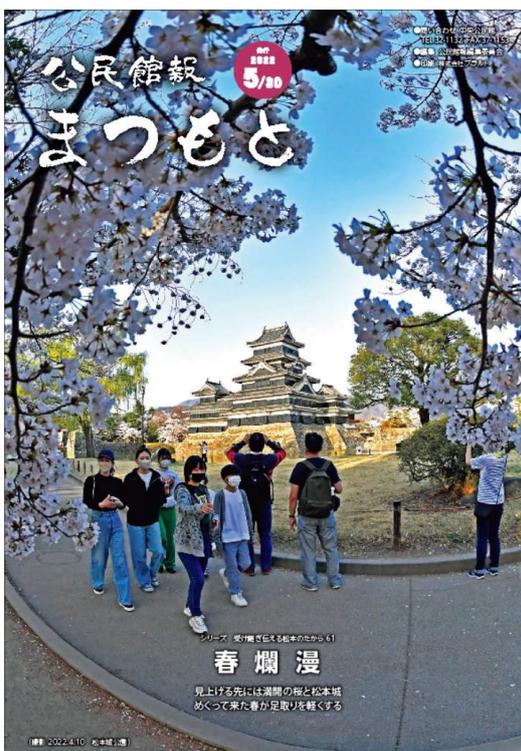
(3) 主な内容等

学校給食や食に関することを周知するものです。地産地消の取組みやレシピ、給食センターの紹介、食の実態調査結果などを掲載しています。市内5センターの受配校の家庭に配布しているほか、市公式ホームページへも掲載しています。

(4) 通算167号（令和4年5月現在）

4 生涯学習課・中央公民館

■ 「公民館報まつもと」



(1) 発行回数

年6回、奇数月末

(2) ページ数

全6ページ

全市版4ページ、地区版（35地区）2ページ

(3) 編集等

35地区の350名を超える公民館報編集委員が、市民の目線で、市民の考えや意見をより多く取り入れて、編集しています。市内全戸配布

(4) 主な内容

公民館や地域の問題を中心に、市民の自由な発想と構想で、公民館が発行する情報紙です。

(5) 創刊年月

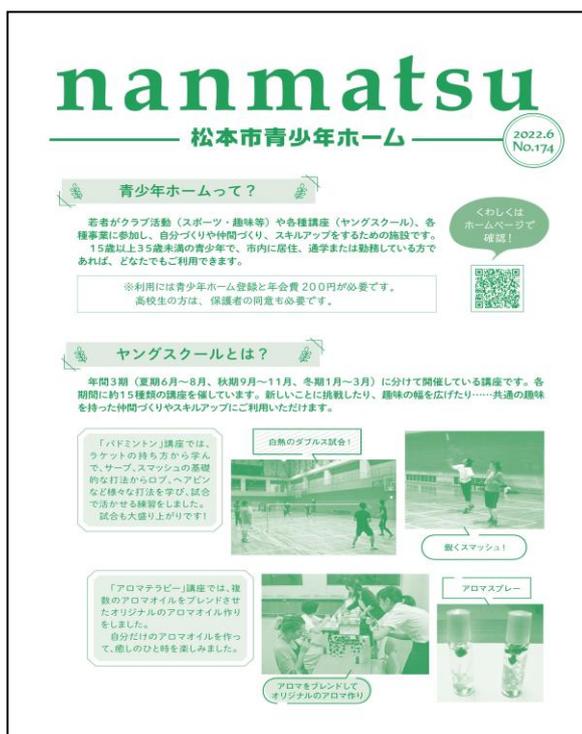
昭和35年3月（全市版）

■ 「学びの森いんふおめーしょん」



- (1) 発行回数
年4回(5月、8月、11月、2月)
- (2) ページ数
6ページ
- (3) 編集等
生涯学習支援登録制度の登録団体及び行政等から生涯学習に関する情報を募集し、掲載しています。隣組回覧
- (4) 主な内容
生涯学習関連のイベント情報、会員募集情報、新規登録団体・新規登録指導者情報
- (5) 創刊年月
平成7年8月
- (6) 9月号(令和4年5月現在)

■ 「nanmatsu」



- (1) 発行回数
年3回
- (2) ページ数
4ページ
- (3) 内容など
青少年ホームのクラブやイベント、連続講座(ヤングスクール)などを紹介する、ホーム利用者の皆さんによる記事のほか、今後のイベントや講座の情報などが掲載されている広報紙です。
市内各事業所や施設などへ配布しています。
- (4) 通算174号(令和4年6月現在)

5 中央図書館

■ 「松本市図書館だより」

編集・発行 松本市 中央図書館
〒390-0861 松本市穂ノ橋 2-4-40
電話/0263(32)0099

松本市図書館 だより
令和4年6月1日発行 6月号 第108号

今年スペインの建築家アントニ・ガウディ生誕170周年です。そして、ガウディの代表作であるサグラダ・ファミリアは今年で竣工140周年を迎えます。永遠に完成しないとまで言われたほど複雑な設計のサグラダ・ファミリアですが、段階で進められて2026年には完成する見込みとなっているそうです。ガウディはこのほかにも、6つの世界遺産を含む多くの建築を残しています。

『ガウディ完全ガイド』ガウディ/作 エクスナレッジ
【520カ 所蔵館：中央、中山、定例】
ガウディの建築を写真付きで紹介しているほか、ガウディの生涯についても解説されており、ガウディに関する入門書となります。

『地球の歩き方 422 パルセロナと遠くの世界』地球の歩き方編集部/編集
ダイヤモンド・ビッグ社 【20チト22 旅ガイド 所蔵館：中央、南郷、遊田】
ガウディの建築やガウディのライバルたちの建築が紹介されている。ボリュームたっぷりのコラムがあります。見学ポイントやアクセスも記載されていて、いつか行きたいと想像しながら読むのも楽しそうです。

面白い建築を集めた本をご紹介します。
街並みに目を留めて歩くと、何気なく歩いている街も新しい気分になるかもしれません。

『一瞥見たら忘れられない奇蹟の建物』エムティエヌコーポレーション
【520イ 所蔵館 中央・南郷】
世界の面白い建築物を集めた本です。ワクワクするドラマチックなホテル、それ自身がアートになっている美術館や博物館。まるで世界を旅行しているような気分になれます。

『奇想遺産』鈴木 博之/著 新潮社
【520キ 所蔵館 中央、中山】
思いつぎもしい「奇想」な建築物を集めた本です。隈研吾など、著名な建築家が解説をつとめ、より深く建築のことを知れる一冊です。

『建築観れなくなるほど面白い建築の感』スタジオワーク/著 日本文化社
【520ス 所蔵館 中央】
日本の建築について楽しく学べる本です。古民家から現代建築まで、暮らしの文化でわかる建築物の見方、楽しみ方を紹介します。

- (1) 発行回数 毎月
- (2) ページ数 2ページ
- (3) 主な内容など

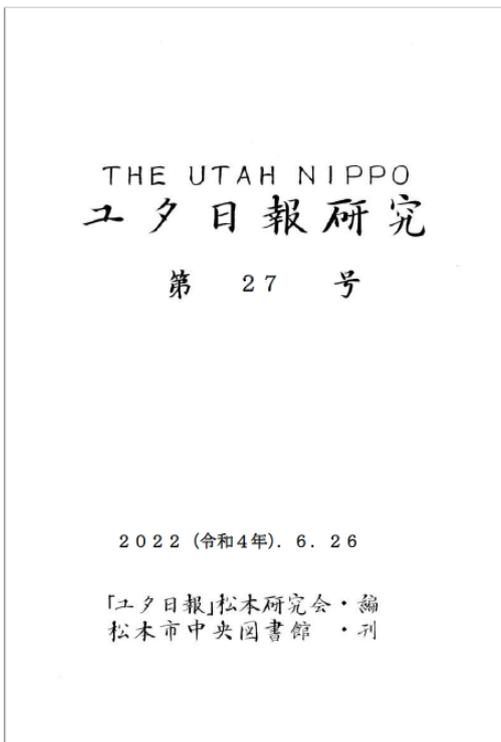
各図書館で行われるイベント情報、新刊の「おすすめ本」紹介、予約本のベスト5、「図書館に聞いてみよう」（市民からの疑問にお答えするコーナー）などを掲載しています。

なお、図書館だよりは、図書館ホームページからもご覧いただけます。

- (4) 創刊年月 平成25年4月
- (5) 通算108号（令和4年6月現在）
- (6) 耳より情報

FMまつもと「まつもと日和」で図書館情報を発信しています（毎月第2木曜日12：30～）。

■ 「ユタ日報研究」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 約300ページ
- (3) 編集：ユタ日報松本研究会
発行：中央図書館
- (4) 由来など

「ユタ日報」とは、信州からアメリカに移民した寺沢夫妻によって発刊された邦字新聞。

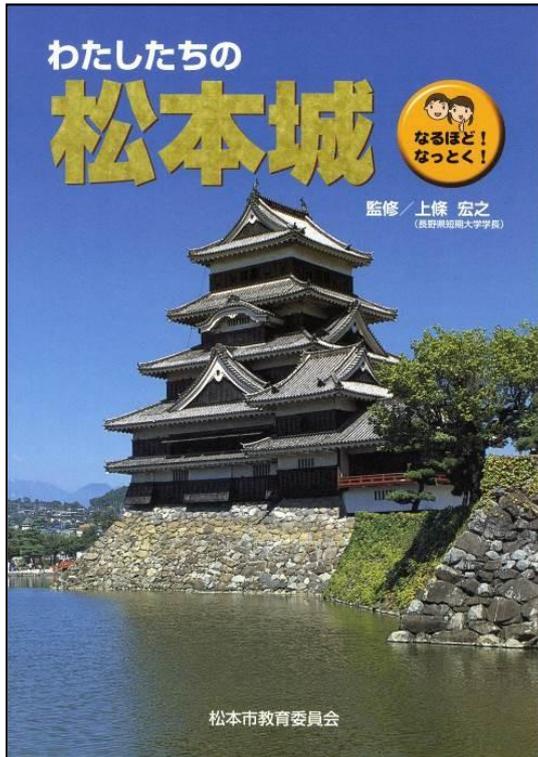
1914（大正3）年から77年間、通算11,876号という歴史を有します。1992年松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会の尽力で、寺沢家遺族より、「ユタ日報」全号と最終号の版組みなどの資料が松本市に寄贈され、中央図書館で保存・活用することになりました。

「ユタ日報研究」は、市民レベルで国際交流について研究するため、「ユタ日報」松本研究会が寄稿などにより編集しているものです。

- (5) 創刊年月 平成6年6月
- (6) 通算27号（令和4年6月現在）

6 文化財課

「わたしたちの松本城」



- (1) 発行回数 年1回
- (2) ページ数 約100ページ (A4版)
- (3) 編集 副読本「わたしたちの松本城」編集委員会
- (4) 主な内容
小学校6年生が松本城について学ぶ教材として、市内6年生全員に無料配布しています。社会科の授業などで使用されています。
児童が松本城について自分で調べる手助けとなるよう、写真や地図、イラストなどを使って、松本城や城下町の歴史、現在の様子などをわかりやすく掲載しています。
- (5) 創刊年月 平成16年3月
- (6) 通算20号 (令和4年7月現在)

7 博物館

「あなたと博物館」



- (1) 発行回数 年6回、奇数月
- (2) ページ数
全8ページ (年2回)
全4ページ (年4回)
- (3) 主な内容
展覧会・イベント情報などを掲載しています。
見どころは、企画展等に合わせて発表される学芸員の紹介記事です。学都松本の歴史や自然をつむぐ「誌上博物館」です。
配布先は、県内外博物館、市内学校・公共施設です。
- (4) 創刊年月 昭和59年8月
- (5) 通算240号 (令和4年6月現在)

8 年報など

(1) 生涯学習課・中央公民館

「松本市の公民館」 （年1回発行）

各公民館の利用状況、事業報告などを掲載

(2) 中央図書館

「図書館概要」 （年1回発行）

図書館の利用実績、貸出状況、事業報告などを掲載

表紙の絵画

「おかいこさんとわたし」

明善小学校 3年 三和 さくらさん（令和3年度当時）

文化・観光交流都市協定を締結している金沢市との交流の一環として、両市の児童生徒の絵画を交換展示しています。

表紙の絵画は、令和2年度の絵画交流展に出展されたものです。

松本市教育要覧

（令和4年度）

令和4年10月発行

編集 松本市教育委員会

発行 松本市教育委員会

松本市大手3丁目8番13号

